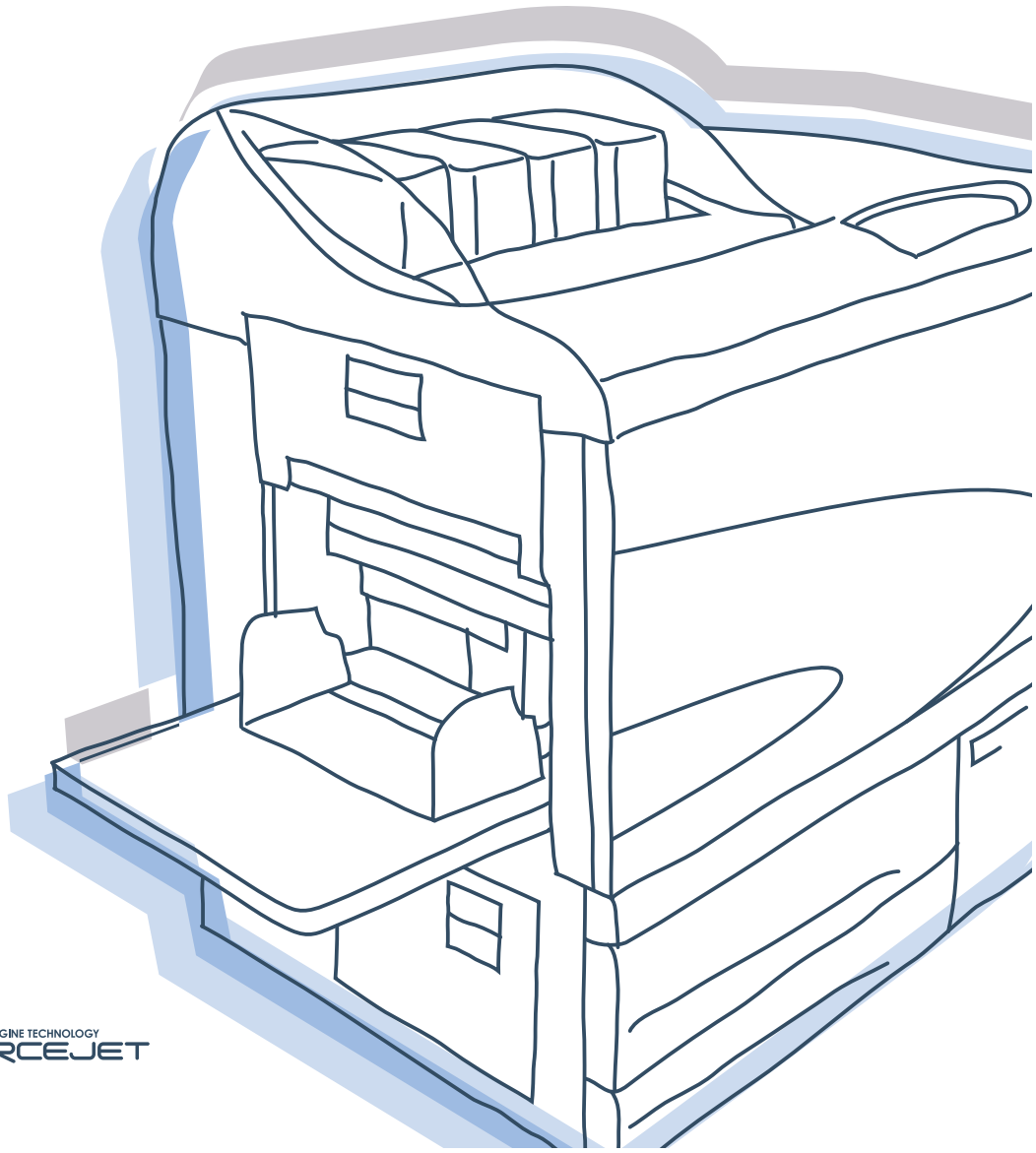
RISO

HC5000シリーズ
ユーザーズマニュアル
本体編



ComuColor.™

ENGINE TECHNOLOGY
FORCEJET

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

⚠ 注意

安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。お読みになったあとは、いつでも取り出せるように所定の場所に保管してください。

ごあいさつ

このたびは、本機をご採用いただき、まことにありがとうございます。
本機はネットワーク対応で高速フルカラー印刷を行うインクジェットプリンタです。Windows や Macintosh から、データの出力やプリンタのモニタリングなどさまざまな機能を利用することができます。

本機の取扱説明書は、次の 4 冊から構成されています。

・ HC5000 シリーズ　ユーザーズマニュアル　本体編（本書）
・ HC5000 シリーズ　ユーザーズマニュアル　プリンタドライバ編
・ HC5000 シリーズ　ユーザーズマニュアル　コンソール編
・ もっときれい　もっと役立つ　HC5000 シリーズ　ナビゲートブック

本機をご使用になる前に、またご使用中わからないことがあったときにそれぞれの説明書をお読みいただき、本機と共に末永くお役立てください。

取扱説明書の記述内容について
ご注意

1) 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは固くお断りいたします。
2) 本書の内容につきましては、商品の改良等のため、将来予告なしに変更する場合がございます。
3) 本書および本機を運用した結果の影響につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について
Adobe ®、Adobe Type Manager ®、AdobePS ®、ATM ®、PostScript ®、PostScript3®、PostScript ロゴ、PageMaker ® は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標または登録商標です。
AppleTalk ®、Macintosh ® および Mac OS ® は、米国およびその他の国で登録された Apple Computer, Inc の登録商標です。
Microsoft ®、Windows ® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Netscape ® および Netscape Navigator ® は、Netscape Communications Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
ColorTune ® は米国の特許商標局で登録される Agfa-Gevaert N.V の登録商標であり、そして他の管轄区域で登録されている場合があります。
ORPHIS、ComuColor™、FORCEJET™ は、理想科学工業株式会社の商標です。
本書に記載されているその他の製品名、会社名は、各社の商標または登録商標です。
© コピーライト 2005　理想科学工業株式会社

取扱説明書について
本機には、以下の取扱説明書が同梱されています。

●「HC5000 シリーズ　ユーザーズマニュアル　本体編」
本書です。本機を操作する前に知っておいていただきたい注意事項、プリンタから実際にプリントする操作や設定について説明しています。消耗品の交換方法やトラブルの対処方法についても記載しています。

●「HC5000 シリーズ　ユーザーズマニュアル　プリンタドライバ編」
プリンタの設置や、ドライバのインストール手順と機能について説明しています。

●「HC5000 シリーズ　ユーザーズマニュアル　コンソール編」
ネットワーク経由で本機の状態を確認する「モニタリング機能」について記載しています。

●「もっときれいもっと役立つ　HC5000 シリーズ　ナビゲートブック」
使いこなすために便利な機能や特長を、カラーでわかりやすく説明しています。

本書の読みかた

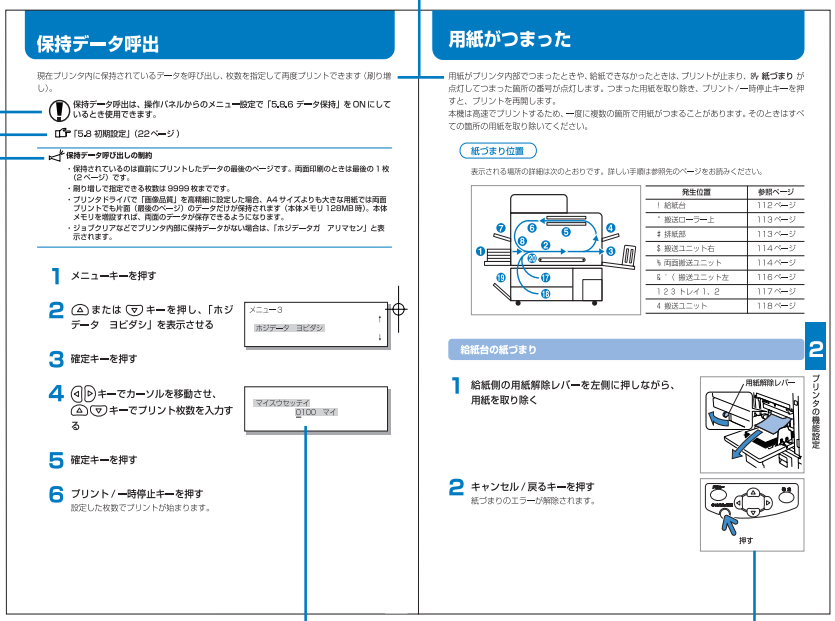
操作説明の表記

操作の説明に入る前に、機能の特長や制限について説明しています。

は、気を付けていただきたいことや禁止していることを記述しています。

は、その項目をよく知る上で、参照していただきたいタイトルとページを示しています。別冊の説明書を参照する場合は書名も記載しています。

は、特に役立つ情報や知っておいていただきたいことについて説明しています。



操作パネルの設定方法を説明するときに使用しています。項目が変化するところを強調して説明します。

操作手順をイラスト付きで説明しています。動かすところや重要な部分は色付きで説明します。

⚠警告、**⚠注意** は安全上の注意です。ご使用前に必ずお読みください。

用紙枚数と種類の表記

本書では、用紙枚数の表記は専用紙（RISO HC 用紙 IJ 85g/m^2）を基準にしています。

例：トレイ 1　1,000 枚

枚数はお使いの用紙によって異なります。

「はがき」とは、郵政公社製はがき（普通紙 / インクジェット用）を示しています。

安全上のご注意

ここでは本機を設置する場所や電源に関する注意など、ご使用前に必ず知っておいていただきたいことを記述しています。必ずお読みください。

警告表示／絵表示

本機を正しくお使いいただき、人体への危害や財産への損害を未然に防止するため、以下のような警告表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を説明しています。

絵表示の例

	⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

設置場所

⚠注意

- **傾いた所や不安定な場所に置かないでください。**
  傾いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- **機械には通気口があります。機械は壁から 100mm 以上離して設置してください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となるおそれがあります。**
- **湿気やほこりの多い場所に置かないでください。**
  火災、感電の原因となることがあります。

電源の接続

⚠警告

- 電源 90 ～ 100V の範囲内で、電流 12A 以上の電源をご使用ください。火災、感電のおそれがあります。
- 分岐コンセントのご使用、タコ足配線はおやめください。延長コードが必要なときは、125V/12A 以上の規格のケーブルを使用し、5m 以上延長しないようにしてください。火災、感電のおそれがあります。

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。

- 同梱されている電源コードは本機専用です。他の電気製品には使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

⚠注意

- プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 連休などで長期間、本機をご使用にならない場合は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

アースの接続

⚠警告

- アース線を必ず接続してください。
  アースの接続は、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から抜いてから行ってください。
  アース接続しないで万一、漏電した場合は、火災や感電のおそれがあります。なお、アース接続できない場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご相談ください。

- 以下のようなところには絶対にアース線を取り付けないでください。火災、感電のおそれがあります。
  - ガス管
  - 電話専用アース線
  - 避雷針
  - 途中がプラスチックになっている水道管や蛇口
- アース線は以下の場所に取り付けてください。
  - 電源コンセントのアース端子
  - 銅片などを 65cm 以上地中に埋めたもの。
  - 接地工事（第 1 種～第 3 種）が行われている接地端子
  - 水道局がアースの対象物として承認した水道管

取り扱い

⚠警告

- 本機の上に水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、本機の内部に入った場合、火災、感電のおそれがあります。
- 本機のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 本機のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
- 本機を分解したり改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。

- 万一、発熱していたり、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。

- 万一、異物が本機の内部に入った場合はまず本機の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

⚠注意

- 給紙台や排紙台まわりのすきまには、絶対に指などを差し込まないでください。けがの原因になることがあります。
- 本機の内部にはインクがついていることがあります。手や衣服などが触れないように注意してください。インクがついた場合は、早めに洗剤で洗い落としてください。
- 本機を移動する場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。無理に移動させると、本機が横転してけがの原因となることがあります。

インクの取り扱い

⚠注意

- インクが眼や皮膚に接触しないようにしてください。目に入った場合はすみやかに多量の水でよく洗い流してください。また、皮膚についた場合は、せっけんなどでよく洗ってください。
- プリント中は充分な換気を行ってください。気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移動してください。
- 万一、異常を感じた場合は、直ちに医師の診断を受けてください。
- プリント以外の用途には使用しないでください。
- カートリッジを持ち運ぶ際は、カートリッジ本体を持ってください。キャップが外れてインクカートリッジが落下し、手や衣服などを汚すおそれがあります。
- 使用済みのインクカートリッジを火の中にいれないでください。インクは可燃性のため炎が大きくなり、火傷のおそれがあります。
- インクカートリッジは、小さなお子さまの手の届かないところに保管してください。
- 可燃性の液体です。
  火災時は、霧状の強化液、泡、粉末、または炭酸ガス消火剤を使用してください。

火気厳禁

ご使用の前に

本機を使用するときに注意していただきたいことを説明します。

設置場所

以下のことに注意してください。

- 設置場所につきましては、納入時にお客様とご相談の上、決定させていただきます。
- 本機を移動される場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。
- 以下のような場所には設置しないでください。誤動作、故障、事故の原因となる場合があります。

  - 直射日光のあたる場所や、窓際などの明るい場所（やむを得ない場合は、窓にカーテンなどを付けてください。）
  - 温度が急激に変化する場所
  - 高温多湿、低温少湿な場所
  - 火気、熱気のある場所や、クーラーなどの冷風、ストーブなどの温風、輻射熱などが直接あたる場所
  - 通気性、換気性の悪い場所
  - ホコリの多い場所
  - 振動の多い場所

使用する環境

- 本機の水平度が以下の範囲内になる場所に設置してください。
  前後：3mm 以下
  左右：3mm 以下

- 適正環境は以下の通りです。
  温度範囲：15 ～ 30 ℃

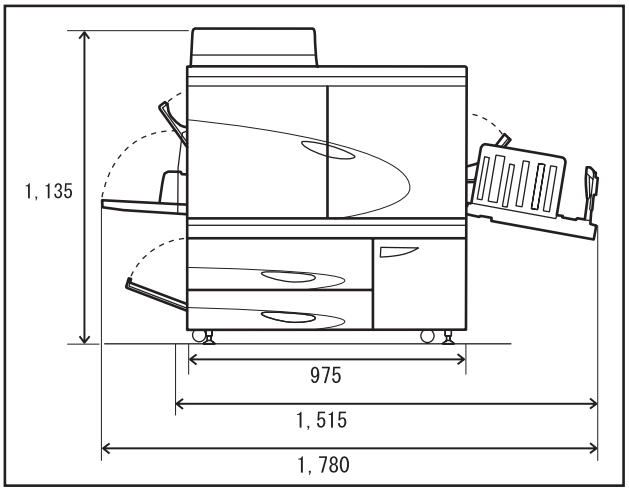
  湿度範囲：40 ～ 70%（結露しないこと）

専有面積

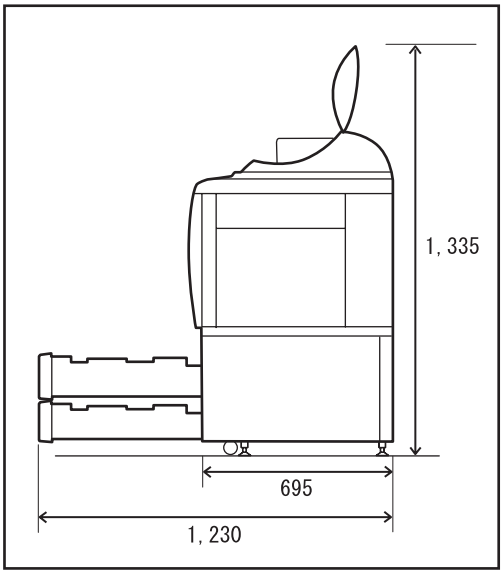
給紙台や排紙台を広げたり、トレイを引き出すための場所が必要になります。

単位は mm です。

● 前から見た図



● 横から見た図



本機の取り扱いについて

- 動作中に主電源を OFF にしたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。
- 動作中に各部のカバーを開けないでください。
- 本機を移動させないでください。
- 内部には精密部品や駆動機構部がありますので、取扱説明書に書かれていること以外は行わないでください。
- 本機の上に重い物を載せたり、本機に強い衝撃を与えたりしないでください。
- 各部のカバーは静かに開け閉めしてください。
- 本機の主電源を切ってから再び主電源を投入するときは、10 秒以上間隔をあけてから行ってください。
- 長期間使用しない場合または使用しなかった場合は、必ずインクヘッドメンテナンス（ノーマル）を行ってください。本体内部のインク送液経路でインクの劣化や乾燥が起こり、ヘッドが目詰まりしてしまいます。これらの障害を防ぐためにも、定期的なご使用をおすすめします。
- 故障や画像劣化の原因となるので、プリントヘッド部は絶対に触らないでください。
- 本機は、常にインクカートリッジ（4 色）をセットした状態で設置してください。ご使用にならない場合でも、インクカートリッジを外した状態で放置しないでください。

インクカートリッジの取り扱いと保管について

- 使用前に振らないでください。気泡が発生し、印字不良の原因となることがあります。
- インクを注ぎ足さないでください。
- 開封後のインクが長期間使い切らずに残っていると、空気中に含まれるさまざまな成分でインクが劣化することがあります。劣化・変質したインクを使用するとプリントヘッドやインク流路の故障の原因となります。
- インクジェットプリンタは、インクの粘度で噴射特性が変わります。特に低温では粘性が高くなり、ヘッドが目詰まりする原因となります。使用環境および保管温度を守り、製造年月日をご確認の上、お早めにご使用ください。
- 本機の適正使用温度は 15 ℃～ 30 ℃です。適正使用温度範囲外での使用は、印字不良（吐出量低下）の原因となることがあります。
- インクカートリッジ内に残ったインクは下水道に流さないでください。
- 保管するときは必ず口を上にしてください。
- 凍結、直射日光を避け、5 ℃以下、35 ℃以上にならない所に保管してください。また、製造年月日をご確認の上、お早めにご使用ください。
- 可燃性の液体です。
  火災時は、霧状の強化液、泡、粉末、または炭酸ガス消火剤を使用してください。

用紙の取り扱いと印刷物について

- 必ず「そり」がない用紙をセットしてください。
- 未使用の用紙は、必ず包装紙に包んで保管してください。
- 両面印刷時に、原稿によっては用紙の端（縁）が汚れる場合があります。
- 印刷物は、空気中に含まれるさまざまな成分や光の影響で退色（変色）してきます。印刷物を十分乾燥させた後、ガラス付き額縁に入れたり、ラミネート加工して保存すると、変色しにくくなります。
- 印刷物をクリアファイルに入れて保管するときは、PET 製のものをお使いください。
- 印刷物は、水ぬれや汗によって脱色します。水滴のかかる場所での保管は避けてください。また、油性ペンで記入すると、にじむことがあります。
- 印刷直後と 24 時間経過後の印刷物では、印字濃度が異なります。時間の経過と共に印字濃度が低下していきますが、ご了承ください。
- 印刷物をレーザープリンタやコピー機などのトナーを使用した印刷物と重ねないでください。トナー印字部分に用紙が貼り付いたり、トナーが印刷物に転写される場合があります。
- 高温、多湿、直射日光を避けて、水平な状態で保管してください。「そり」がある用紙は使用できませんのでご注意ください。

インクカートリッジとクリーニングタンクの回収について

- 使用済みのインクカートリッジは、指定の回収先（販売会社あるいは保守・サービス会社）にご返送ください。
- カートリッジのインク供給口からインクが漏れることがあります。返送時にはキャップを付け、内袋および梱包材に入れてください。
- 使用済みクリーニングインクタンクは、販売会社（あるいは保守・サービス会社）が回収いたします。使用後は容器のふたをしっかり閉めてください。
- クリーニングインクタンクのインクは、プリントには使用できません。故障やトラブルの原因となります。

プリントに関する注意

- 個人が利用する場合でも、自由に何でも複写してよいというわけではありません。特に、単にその印刷物を所有しているだけでも、法律的に罰せられる種類の印刷物がありますので、十分ご注意ください。
  次の文書は、法律で印刷を禁止されています。
  - 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券（たとえ「見本」の印があっても複写することは禁じられています）
  - 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類
  - 未使用郵便切手、官製はがきの類で、政府の模造許可をとっていない場合
  - 政府発行の印紙、酒税法などで規定されている証紙類

関係法律

・通貨及証券模造取締法
・外国ニ於イテ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及ビ模造ニ関スル法律
・郵便切手類模造等取締法
・印紙等模造取締法
・紙幣類似証券取締法

- 次のような複写はおやめください。
  - 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などの、事業会社が業務に使用する最低必要部数以外の複写
  - 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行券、食券などの切符類の複写
  - 書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、写真など著作権の対象となっているものの複写（個人的または家庭内、あるいはこれに準ずる限られた範囲内で使用する場合以外、複写することを禁じられています。）

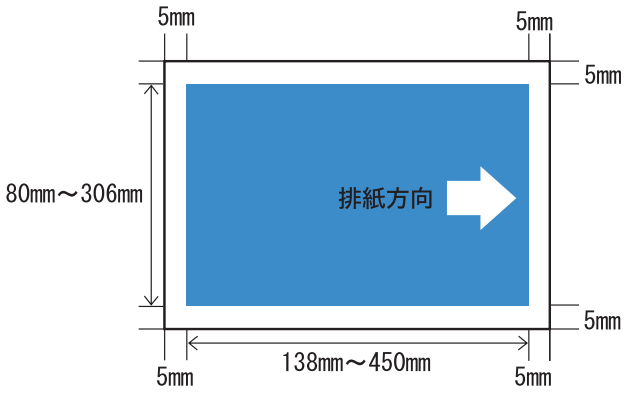
プリント面積について

原稿の用紙サイズにかかわらず、用紙の周囲にはプリントできない部分があります。原稿と同サイズの用紙にプリントする場合でも余白ができるため、用紙一杯にはプリントできません。
原稿の端まで文字や図がある原稿をプリントする際には、原稿全体を縮小してからプリントしてください。

◎ 保証プリント面積

用紙の周囲から 5mm 内側の範囲にプリントできます。

保証プリント面積：80～306mm×138～450mm

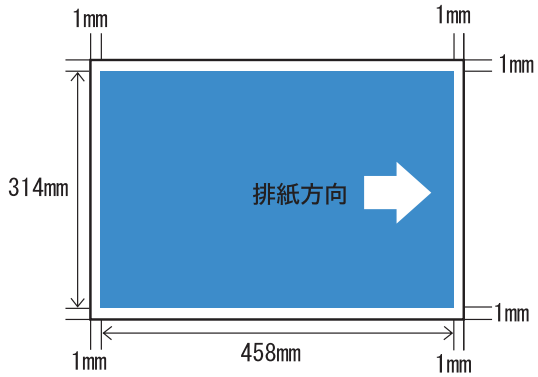


◎ 最大プリント面積

スキャナ（オプション）で原稿を読み取った場合は、用紙の周囲から 1mm 内側の範囲にプリントできますが、原稿の内容によっては文字や図柄の欠けやにじみなど、印刷品質が低下する場合があります。
用紙サイズが 316mm × 460mm 以上の場合でも、実際にプリントが可能な最大の面積は 314mm × 458mm です。

- メニュー設定の「4.10 プリント領域」を設定する必要があります。
  「4.10 プリント領域」☞p.2-28
- 通常、アプリケーションから出力する場合は、用紙の周囲に 5mm の余白が設定されます。

最大プリント面積：314mm×458mm



電源の接続

以下のことに注意してください。

- 電源プラグ部の接触不良がないように、プラグはコンセントに確実に接続してください。
- 本機はコンセントの近くに設置してください。
- 本機のオプション接続用コンセントにオプション機器を接続した場合、オプション機器の電源は本機の主電源と連動して ON/OFF します。

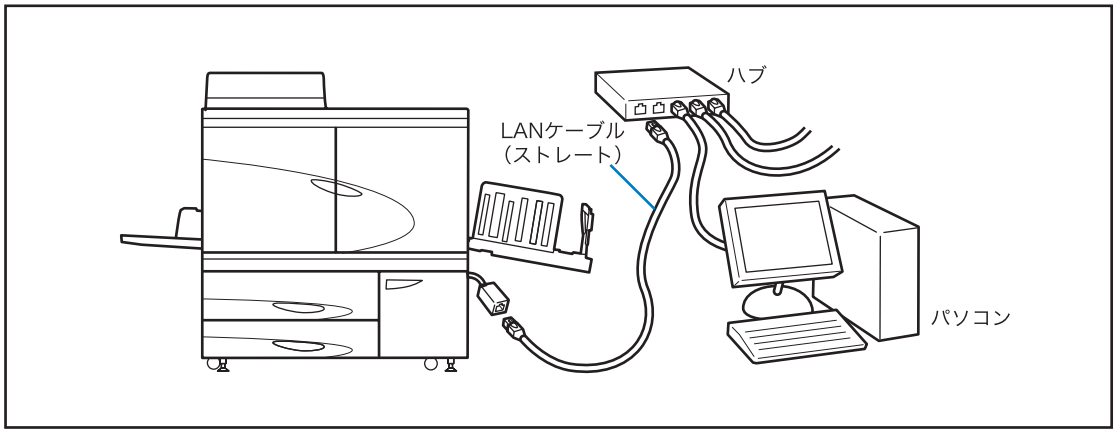
スリープについて

本機には、一定時間、電源が ON で未使用の状態が続いたときに、自動で省電力モード（スリープ）に移行する機能が搭載されています。スリープの状態では消費電力が抑えられます。
スリープに関する設定は、操作パネルの「メニュー 5　管理情報」で行います。
出荷時は、スリープ ON（スリープ有効）、スリープ時間 5 分に設定されています。
「5.8 初期設定」☞p.2-44

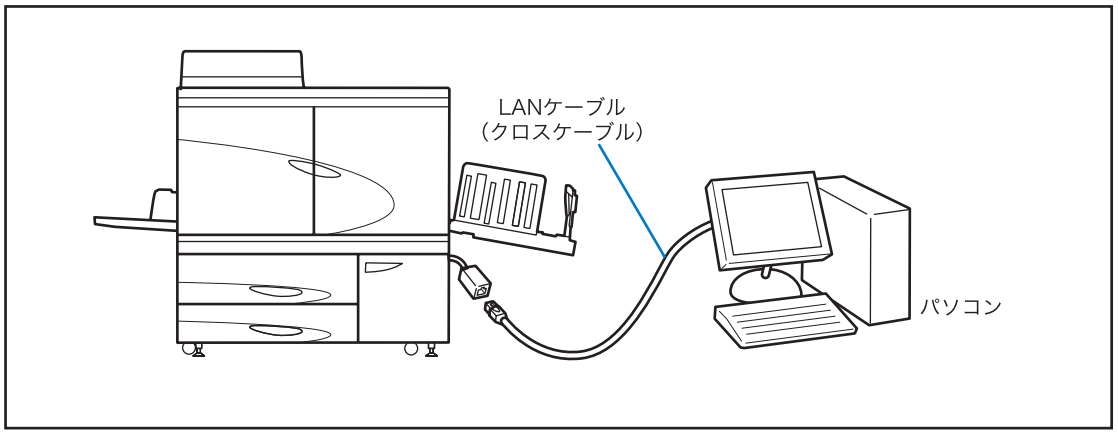
パソコンの接続

本機とパソコンをネットワーク接続します。

● 複数台のパソコンと接続する場合



● 1 台のパソコンと接続する場合



LAN ケーブルは、市販の S/UTP ケーブル（シールド／非シールドツイストペアケーブル）を使用してください。

目次

第 1 章　プリントの基本 1-1

プリンタ各部の名称やはたらき、プリント前の準備とプリントを行うひととおりの操作について説明しています。

各部の名称 1-2

本体 1-2
本体（背面） 1-4
操作パネル 1-5

プリント前の準備 1-6

使用できる用紙 1-6
電源スイッチ 1-9
用紙のセット 1-10
排紙台のセット 1-14

基本的なプリント操作 1-16

プリント操作のながれ 1-16
パソコンからのプリント（Windows） 1-16

第 2 章　プリンタの機能設定 2-1

操作パネルで設定できる機能や操作方法について説明しています。

メッセージディスプレイと操作するキー 2-2

メッセージディスプレイ 2-2
操作するキー 2-4

操作パネルの使いかた 2-5

メニュー設定でできること 2-5
メニュー選択の基本操作 2-9

メニュー 1　プリント位置調整 2-13

メニュー 2　テストプリント 2-15

メニュー 3　保持データ呼出 2-16

メニュー 4　機能設定 2-17

4.1 給紙台設定／ 4.2 トレイ 1 設定／ 4.3 トレイ 2 設定 2-18
4.4 連続給紙 2-20
4.5 給紙台オート選択 2-21
4.6 仕分け 2-22
4.7 プリント濃度 2-23
4.8 排紙設定 2-24
4.9 保持データクリア 2-27
4.10 プリント領域（最大プリント面積） 2-28
4.11 表紙トレイ設定（フィニッシャー接続時のみ） 2-29

メニュー 5　管理情報 2-31

管理情報設定への入りかた 2-31
5.1 用紙サイズ登録 2-32
5.2 用紙種類登録 2-33
5.3 仕分け用紙トレイ 2-36
5.4 カウント表示 2-37
5.5 ヘッドメンテナンス 2-40
5.6 情報プリント 2-42
5.7 ネットワーク設定 2-43
5.8 初期設定 2-44

メニュー 6　トレイ選択 2-49

メニュー 7　ジョブクリア 2-50

第３章　こんなときには 3-1

操作パネルにエラーメッセージが表示されたり、マークが点灯したときの原因や対処方法について説明しています。

セット・エラー表示の説明 3- 2
- 残量予告ランプ 3-3
- FORCEJET™ リンクマーク 3-3
- エラーメッセージとエラー表示 3-4

用紙がつまった 3-10
- ① 給紙台の紙づまり 3-10
- ② 搬送ローラーの紙づまり 3-11
- ③ 排紙部の紙づまり 3-11
- ④ 搬送ユニット右の紙づまり 3-12
- ⑤ 両面搬送ユニットの紙づまり 3-12
- ⑥⑦⑧ 搬送ユニット左の紙づまり 3-13
- ⑰⑱⑲ トレイ 1/ トレイ 2 の紙づまり 3-14
- ⑳ 搬送ユニットの紙づまり 3-15

インクカートリッジの交換 3-16
- インクカートリッジについて 3-16

その他のトラブル 3-18
- プリンタが動かない 3-18
- 設定したとおりに動作しない 3-19
- きれいにプリントできない 3-19
- その他 3-21

第４章　付録 4-1

オプション一覧 4-2
- スキャナ接続キット 4-2
- HC フィニッシャー 4-2
- HC 中とじフィニッシャー 4-2
- HC 紙折りユニット 4-2

消耗品 4-3
- インクカートリッジ 4-3
- 専用紙 4-3

仕様 4-4

索引 4-9

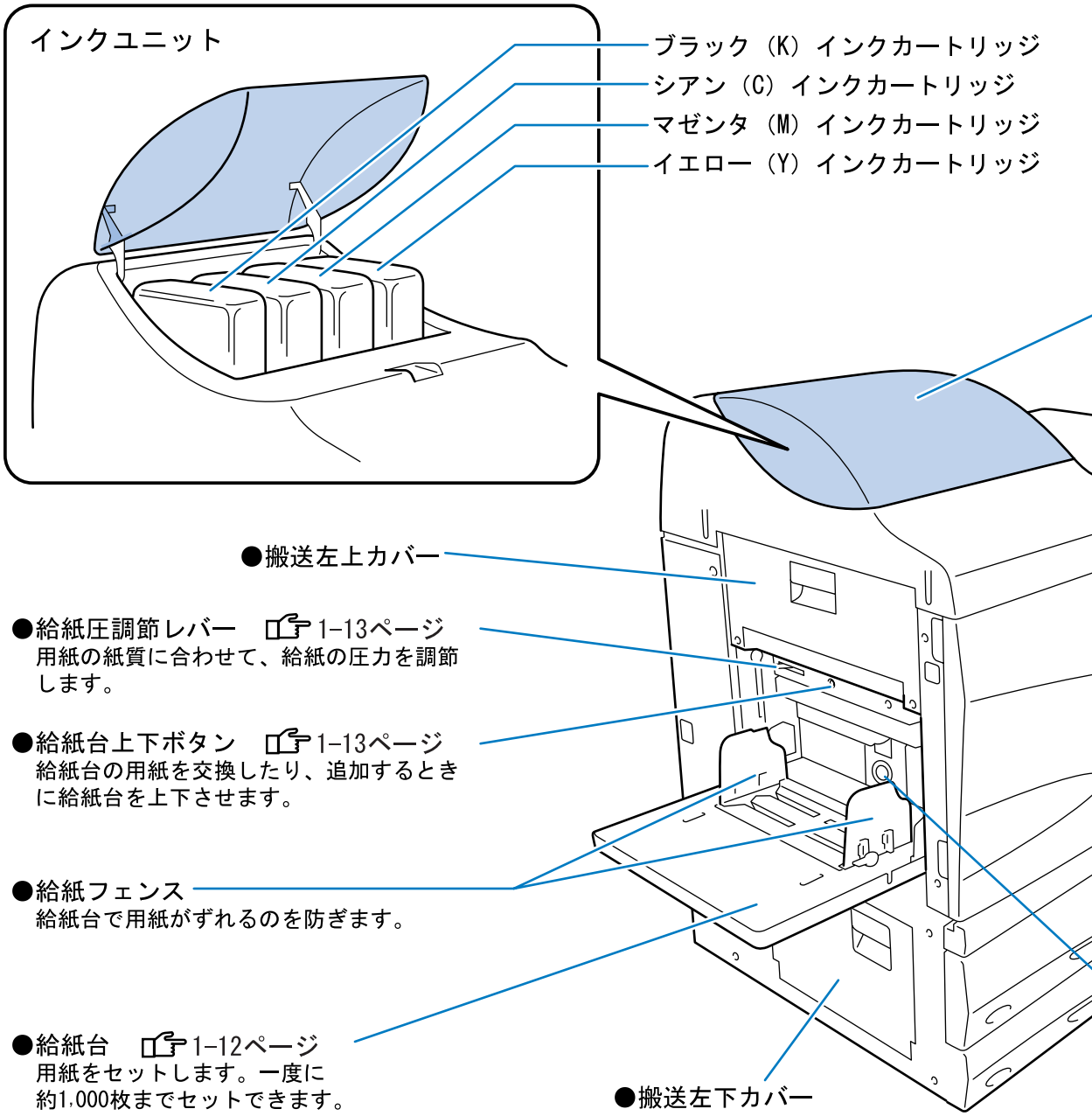
アフターサービスについて 4-12

第１章　プリントの基本

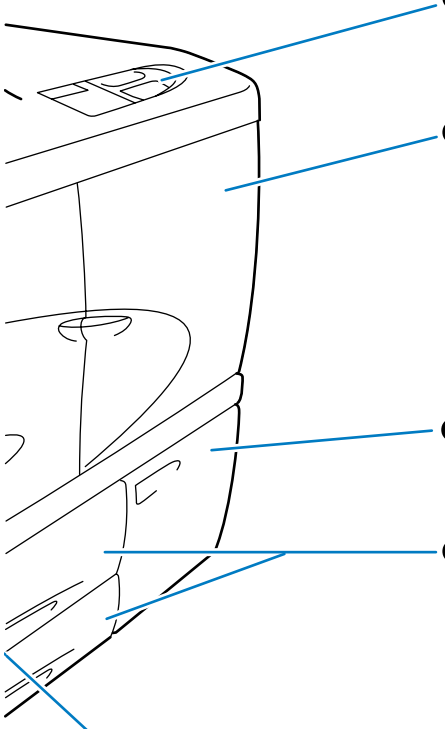
ここでは、プリンタを使うときに知っておいていただきたい各部の名称や操作、ひととおりのプリント操作について説明しています。

各部の名称

本体


インクユニット
ブラック（K）インクカートリッジ
シアン（C）インクカートリッジ
マゼンタ（M）インクカートリッジ
イエロー（Y）インクカートリッジ
●搬送左上カバー
●給紙圧調節レバー　☞1-13ページ
用紙の紙質に合わせて、給紙の圧力を調節します。
●給紙台上下ボタン　☞1-13ページ
給紙台の用紙を交換したり、追加するときに給紙台を上下させます。
●給紙フェンス
給紙台で用紙がずれるのを防ぎます。
●給紙台　☞1-12ページ
用紙をセットします。一度に約1,000枚までセットできます。
●搬送左下カバー

●インクカバー　☞3-16ページ
インクカートリッジの交換をするときに開けます。



●操作パネル　☞1-5ページ
プリンタの設定をしたり、状態の確認ができます。

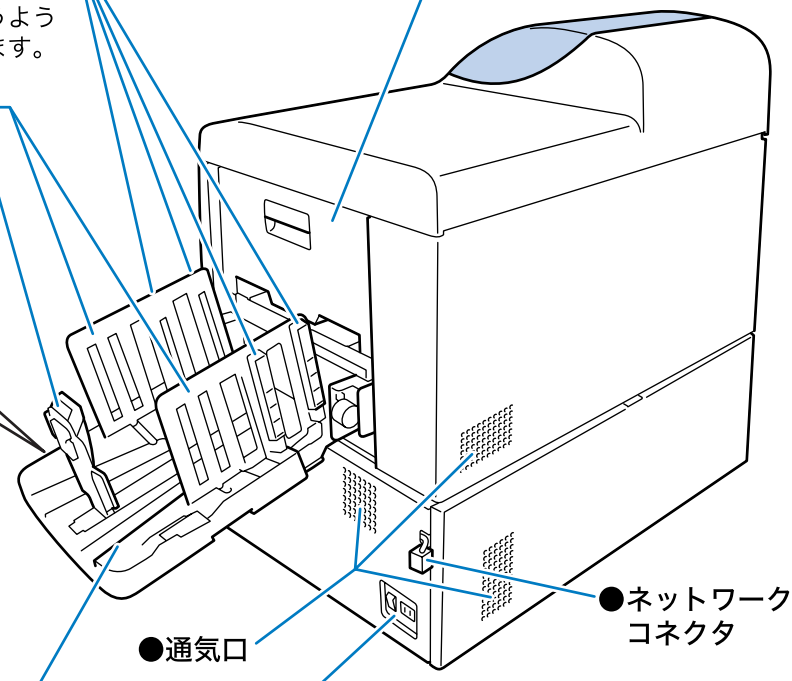
●前カバー
用紙がつまったときに開けます。

●メンテナンスドア
サービス担当者がメンテナンス時に開けます。

●トレイ　☞1-11ページ
用紙をセットします。トレイ1（上段）には約1,000枚、トレイ2（下段）には約500枚までセットできます。

●紙さばき圧調節ダイヤル　☞3-21ページ
用紙が重送されるなど、正しく送られないときに調節します。

本体（背面）



●紙揃えプレートノブ
☞1-14ページ
排紙された用紙がきれいに揃うように、紙質に合わせてセットします。

●排紙フェンス（サイド）
排紙フェンス（エンド）
☞1-14ページ
排紙台で用紙がずれるのを防ぎます。

●排紙フェンス
オープンボタン
☞ 下欄

●搬送右上カバー

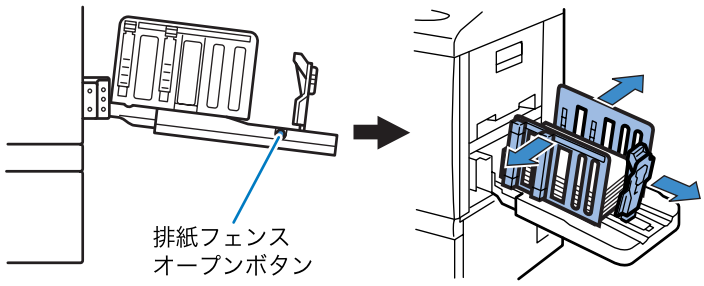
●ネットワーク
コネクタ

●通気口

●オート排紙台　☞1-14ページ
排紙フェンスの位置を用紙サイズに合わせて自動的に調整する排紙台です。約1,000枚収納できます。

●主電源　☞1-9ページ
電源をON/OFFします。ふだんはONのままにしておきます。

排紙フェンスオープンボタンについて



排紙台からプリントした用紙を取り出すときに押すと、排紙フェンスが広がり、取り出しやすくなります。

広げるフェンスを設定できます。詳しくはメニュー設定「4.8.4 排紙フェンス移動位置」☞p.2-26を参照してください。

操作パネル

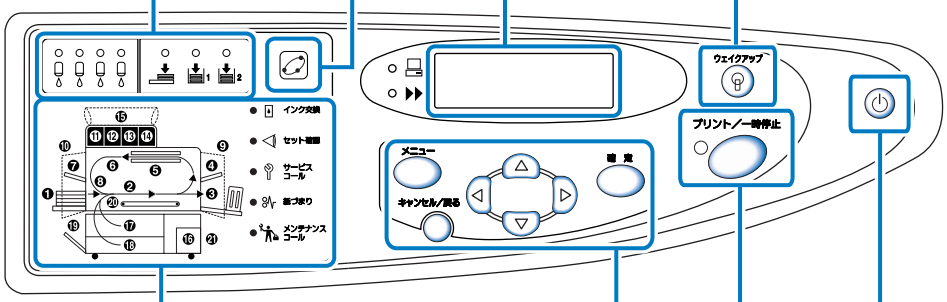
操作パネルには、メッセージディスプレイ、セットやトラブルの表示、操作キーがあります。それぞれの表示の説明や詳しい操作方法は、「第 2 章プリンタの機能設定」☞p.2-1 を参照してください。

●FORCEJET™リンクマーク
☞ 3-3ページ

●メッセージディスプレイ ☞2-2ページ
プリンタの状態やエラーの内容、設定項目などを表示します。

●残量予告ランプ
インクや用紙の残量が少なくなると点灯します。

●ウェイクアップキー ☞1-9ページ
スリープ状態からプリントできる状態にします。



プリンタの設定を行うときに使用します。 ☞2-4ページ

●プリント／一時停止キー
プリント可能な状態（プリントモードON）とプリントできない状態（プリントモードOFF）を切り替えます。

●電源キー
プリンタの電源をON/OFFします。

用紙が内部でつまったり、カバーがきちんとセットされていないときなど、エラーが起きたときにエラー内容と場所を表示します。 ☞3-4ページ

プリント前の準備

プリンタをパソコンやネットワークにつないだら、プリントするために用紙や排紙台の準備をします。

使用できる用紙

使用できる用紙および使用できない用紙について説明します。
プリンタに適さない用紙を使うと、用紙がつまったり、汚れたり、故障の原因となることがあります。
以下の仕様に合った用紙をお使いください。

以下の専用紙（RISO HC 用紙 IJ）の使用をおすすめします。
目的に合わせてお選びください。

- **RISO HC 用紙マット IJ(W)： 高画質の両面プリント可能なコート紙**
- **RISO HC 用紙マット IJ： 高画質の片面プリント可能なコート紙**
- **RISO HC 用紙 IJ： 両面プリント可能な普通紙**

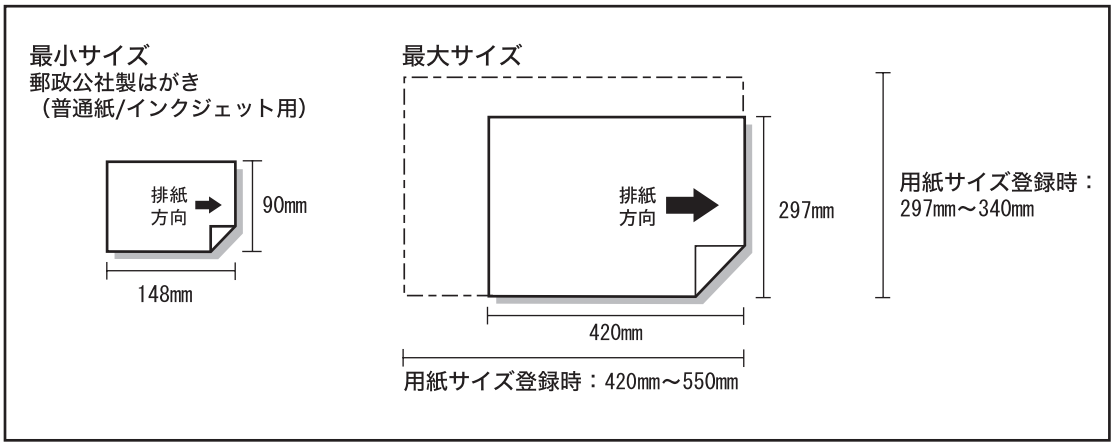
用紙の基本仕様

次の制限の範囲内に相当する用紙にプリントできます。

- **用紙の重さ**

給紙台のとき	46 ～ 157g/m^2（40 ～ 135kg　連量：四六判）
トレイのとき	52 ～ 104g/m^2（45 ～ 90kg　連量：四六判）

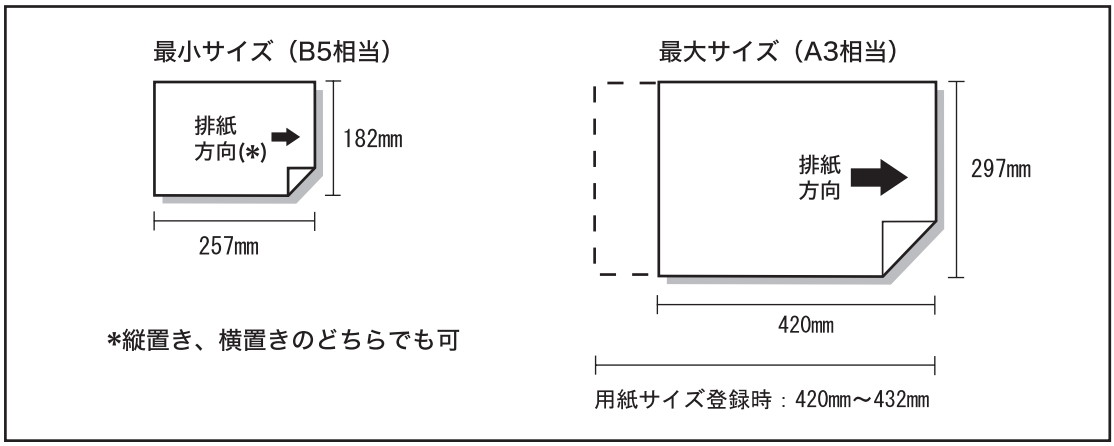
- **給紙台に使用できるサイズ**



用紙サイズ登録および用紙種類登録

給紙台で定形サイズ以外の用紙や A3 サイズ（297mm × 420mm）よりも大きなサイズの用紙を使用する場合は、あらかじめ用紙サイズおよび用紙種類を登録する必要があります。
「5.1 用紙サイズ登録」☞p.2-32
「5.2 用紙種類登録」☞p.2-33
A3 サイズよりも大きなサイズの用紙を使用する場合は、メニュー設定「4.8 排紙設定」の「4.8.2 排紙フェンス」を「OFF」に設定し、排紙フェンスをたたんでプリントします 「4.8.2 排紙フェンス」☞p.2-26

● トレイ 1/ トレイ 2 に使用できるサイズ



1

用紙サイズ登録および用紙種類登録

トレイ 1/ トレイ 2 で定形サイズ以外の用紙を使用する場合は、あらかじめ用紙サイズおよび用紙種類登録する必要があります。
次の手順で登録してください。
「5.1 用紙サイズ登録」☞p.2-32
「5.2 用紙種類登録」☞p.2-33

用紙サイズを登録した用紙がトレイにセットできるサイズに適さない場合には、登録した用紙はメニュー設定の設定内容には表示されません。

**本機仕様内の「用紙サイズ」および「用紙の重さ」であっても、紙質、環境、保管状態などによっては通紙できない場合があります。あらかじめご了承ください。
詳しくは、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご相談ください。**

使用できない用紙

以下のような用紙は、紙づまりや故障などの原因となりますので使用しないでください。

- 基本仕様よりも薄い用紙　☞p.4-4
- 基本仕様よりも厚い用紙
- 感熱紙、カーボン紙など、表面を加工処理した用紙
- そり（カール）のある用紙（2mm 以上）
- しわのある用紙
- 折れ曲がっている用紙
- 破れている用紙
- 波打っている用紙
- アート紙、市販のインクジェットプリンタ専用紙など、表または裏面がコーティングされている用紙
- 先端がぎざぎざになっている用紙
- のり付けされている用紙
- 穴があいている用紙
- 市販のマット紙
- フォト用光沢紙

用紙の扱いについて

- 印刷用紙は、できるだけ専用の用紙を使用してください。機械の性能やインクの特性を十分にいかす「RISO HC 用紙 IJ」シリーズの使用をおすすめします。
- 給紙台にセットするときは、必ず未開封の用紙を使用してください。プリント終了後、給紙台に残った用紙は包装紙に包んで保管してください。給紙台に載せたままにしておくと、「そり（カール）」が生じて紙づまりの原因となることがあります。
- 裁断がよくない紙や表面がざらざらした画用紙などは、よくさばいてから使用してください。
- 用紙は湿気の少ない場所に保管してください。

RISO HC 用紙について

RISO HC 用紙は、ORPHIS HC5000 用に開発された専用紙です。

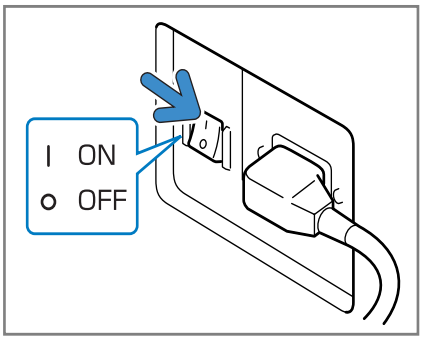
- RISO HC 用紙マット IJ ／ HC 用紙 IJ 専用のカラープロファイルが用意されていますので、専用インクの特長を活かしたカラープリントができます。
- HC5000 独自の給排紙機構に適した通紙性があり、スムーズにプリントできます。

専用紙以外を使用すると、紙づまりや故障の原因となる場合があります。詳しくはお買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。

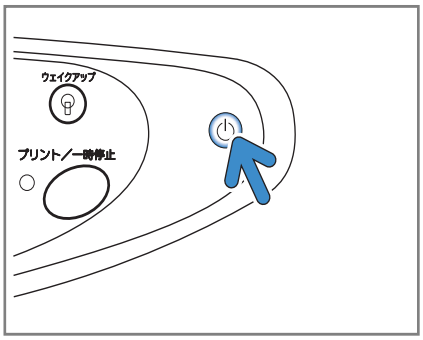
電源スイッチ

本機には、電源スイッチが 2 箇所あります。

◎ 主電源と電源キー



主電源
（本体右下側）



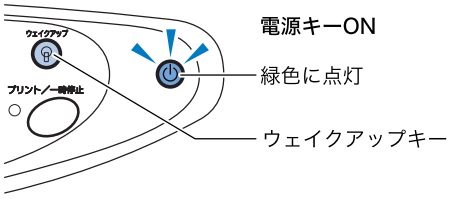
電源キー
（操作パネル）

主電源はプリンタ全体の電源を ON/OFF します。休暇などで長期間使用しないときは、主電源を OFF にしてください。
電源キーは業務の開始 / 終了時などに ON/OFF します。電源キーが ON のままで一定時間使用されないと、消費電力を押さえるために自動でスリープ状態になります。「5.8 初期設定」☞p.2-44

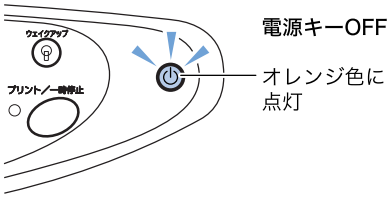
- **電源を入れるとき**
  主電源を ON にしてから電源キーを押します。
- **電源を切るとき**
  電源キーを約 1 秒以上押し、メッセージディスプレイの「シュウリョウチュウ」という表示が消えてから主電源を OFF にします。
  再び主電源を入れるときは、10 秒以上間隔をあけてから行ってください。

● 電源の ON/OFF の状態は、電源キーの色で判断できます。

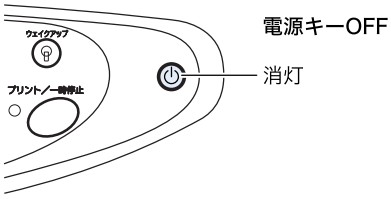
緑色に点灯：使用中
電源キーON/主電源ON
スリープ中はウェイクアップキーも点灯



オレンジ色に点灯：
電源キーOFF/主電源ON



消灯:電源キーOFF/主電源OFF



用紙のセット

トレイ、給紙台への用紙のセット方法について説明します。

◎ セットできる枚数

トレイおよび給紙台へセットできる用紙の枚数 * は以下のとおりです。
用紙の厚さが違うとセットできる枚数は異なります。

トレイ 1	1,000 枚
トレイ 2	500 枚
給紙台	1,000 枚

*RISO HC 用紙 IJ（85g/m^2）使用時

◎ 給紙台にセットする用紙

以下のような用紙にプリントするときは、給紙台にプリントする面を上にしてセットしてください。
給紙台に用紙をセットするときは、必ず未開封の用紙を使用してください。また、プリント後、給紙台に残った用紙は包装紙に包んで保管してください。

- 厚紙など、特殊な用紙
- 裏面がプリント済みの用紙
- A3 サイズよりも大きなサイズの用紙
- 郵政公社製はがき

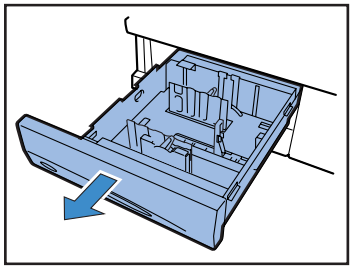
◎ 用紙を登録してください

給紙台 / トレイ 1/ トレイ 2 に用紙をセットしたら、セットした用紙の特徴をプリンタに登録する必要があります。登録は、セットした場所に応じてメニュー設定の「4.1 給紙台設定」/「4.2 トレイ 1 設定」/「4.3 トレイ 2 設定」で行います。
設定内容は以下のとおりです。

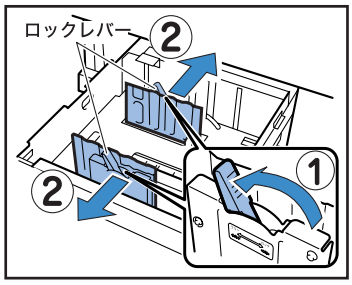
- 用紙サイズ
- 用紙種類
- 重送検知
  裏面がプリント済みの用紙や、地色の濃い用紙をセットするときは、「OFF」に設定してください。

これらが正しく設定されていないと、プリント指示をしても用紙がないと判断されたり、きれいにプリントできないことがあります。必ず設定してください。
「メニュー 4 機能設定」☞p.2-17

1 トレイを手前に引き出す

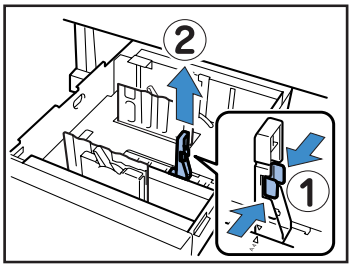


2 2 箇所のロックレバーを「フリー」の位置に倒し、フェンスを外側いっぱいに広げる

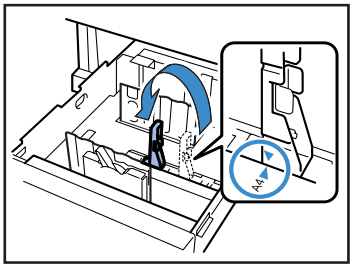


3 セットする用紙のサイズに合わせてストッパーの位置を変更する

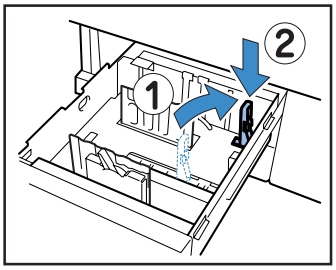
- はじめに、ストッパーを取り外すつまみを矢印の方向に押したままストッパーを真上に外します。



- 次に、ストッパーをセットするつまみを押したまま、ストッパーの▲印をセットする用紙サイズに合わせて差し込みます。

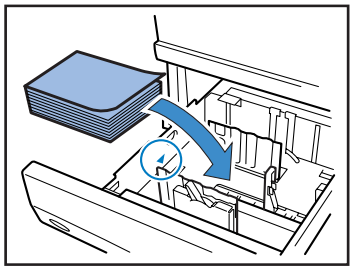


A3 サイズの用紙をセットするときストッパーは使用しません。ストッパーを取り外し、トレイ内のホルダーに差し込みます。



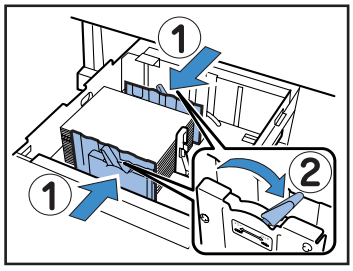
4 トレイ内側のセンターマーク（▼）と用紙の中心を合わせるようにして、用紙をセットする

表と裏の質に差がある用紙は、プリントする面を下にしてセットします。積載高さ上限のシールを超えないようにしてください。
用紙の端がストッパーに当たって折れ曲がらないようにしてください。



5 フェンスを用紙のサイズにぴったりと合わせる

用紙の幅にフェンスをスライドさせてぴったりと合わせ、2 箇所のロックレバーを「ロック」の位置に倒してフェンスを固定します。

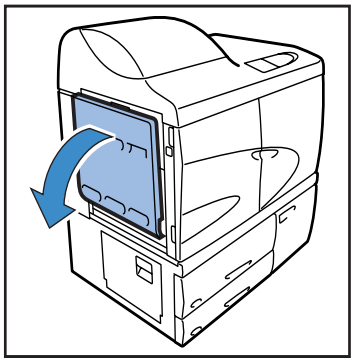


6 **メニュー設定でサイズ、用紙種類、重送検知を設定する**

メニュー 4 の「4.2 トレイ 1 設定」「4.3 トレイ 2 設定」で行います。
「メニュー 4 機能設定」☞p.2-17
地色の濃い用紙をセットするときは「重送検知」を OFF にしてください。

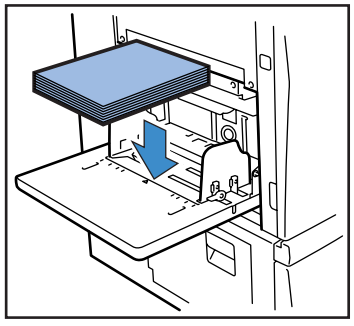
用紙のセット（給紙台）

1 **給紙台を矢印の方向に、止まるまで開く**



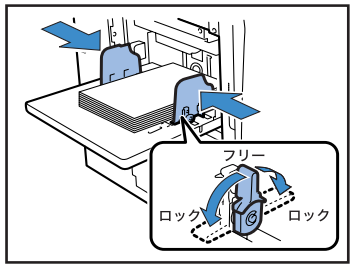
2 **用紙をセットする**

給紙台の表示に合わせて用紙を載せます。
プリントする面を上にしてセットします。



3 **フェンスを用紙のサイズにぴったりと合わせる**

用紙の幅にフェンスをスライドさせてぴったりと合わせ、2 箇所のノブを「ロック」の位置に倒してフェンスを固定します。

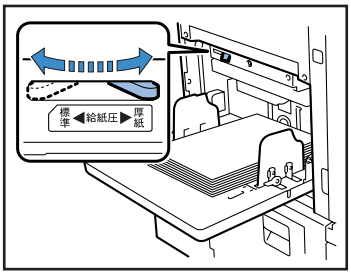


4 **メニュー設定でサイズ、用紙種類、重送検知を設定する**

メニュー 4 の「4.1 給紙台設定」で行います。
「メニュー 4 機能設定」☞p.2-17
裏面にプリント済みの用紙や地色の濃い用紙をセットするときは「重送検知」を OFF にしてください。

給紙台の給紙圧について

給紙台では、セットした用紙に合わせて給紙圧調節レバーで給紙圧を調節することができます。紙質によって［標準］または［厚紙］にセットします。［厚紙］を選択すると、より強い圧力で給紙します。



◎ 給紙圧調節レバーと用紙

対応している紙質は以下のとおりです。

レバーの位置	紙質	対応する印刷用紙
［標準］	標準または薄紙	・ RISO HC 用紙 IJ ・ RISO HC 用紙マット IJ ・ RISO HC 用紙マット IJ(W) ・ 上質紙 ・ 理想用紙 ・ 市販されているコピー用紙など
［厚紙］	厚紙または特殊	・ 画用紙（*） ・ 郵政公社製はがき（*）

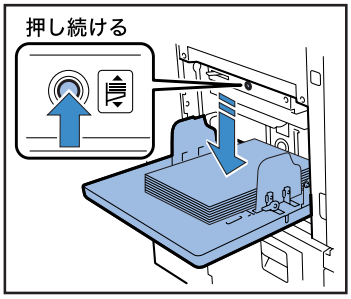
＊ 給紙がうまく行われない場合は、レバーの位置を［標準］にしてください。

給紙台に用紙を追加したり載せ替えるときは

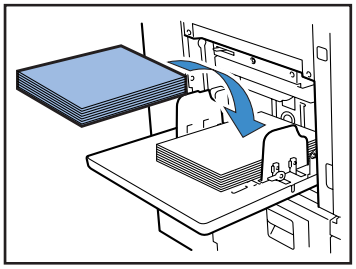
すでにセットされている用紙を追加したり、違うサイズの用紙に載せ替えるときは給紙台上下ボタンを使用します。また、給紙台の用紙をすべて取り除くと自動的に下がります。

1 給紙台上下ボタンを押して給紙台を下げる

下げたい位置までボタンを押し続けます。



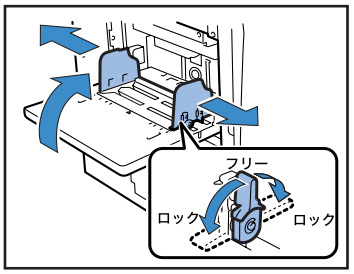
2 用紙を追加、または載せ替える



連続給紙を設定しているとき
本機では、大量の枚数をプリントするとき、トレイ 1、トレイ 2、給紙台に同じサイズの用紙をセットして順に給紙させることができます。
連続給紙を設定しているときは、追加する用紙のサイズ、方向、紙質、種類が同じになるようにしてください。
「4.5 給紙台オート選択」☞p.2-21 「4.4 連続給紙」☞p.2-20
また、用紙を載せ替えたときは、メニュー設定の「4.1 給紙台設定」を変更します。

給紙台の閉じかた

電源が ON の状態でセットされている用紙を取り除き、給紙フェンスを広げて給紙台を閉じます。



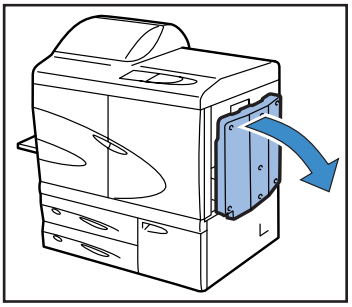
給紙台が最下部まで下がっていることを確認してから閉じてください。

排紙台のセット

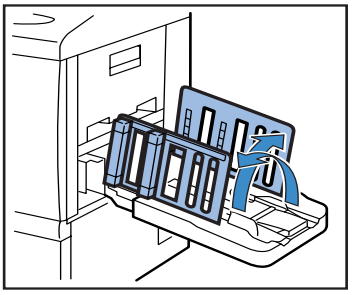
排紙台をセットします。プリントする紙質によって紙揃えプレートの調節も行います。

排紙フェンスの位置調整
排紙フェンスは、プリントする用紙サイズに応じて最適な位置へ自動的に移動します。位置の微妙な調整を操作パネルから行うことができます。詳しくは、メニュー設定の「4.8 排紙設定」☞p.2-24 を参照してください。

1 排紙台を矢印の方向に、止まるまで開く

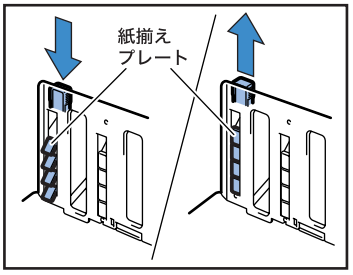


2 排紙フェンス（サイド）を立てる

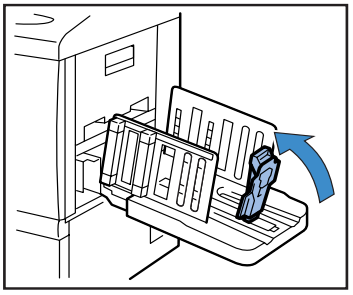


3 紙揃えプレートを調節する

通常は、B4 サイズ以上の用紙へのプリント時に、紙揃えプレートを出して使用します。コシの強さなどによって、用紙は揃う状態が異なりますので、必要に応じて調節してください。

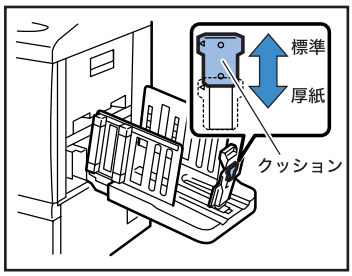


4 排紙フェンス（エンド）を立てる

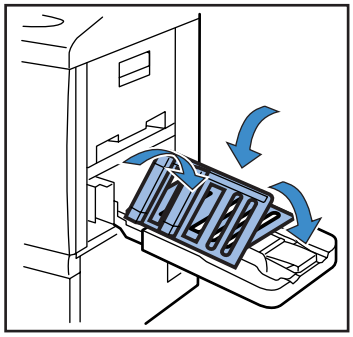


5 **排紙フェンス（エンド）のクッション位置を調節する**

給紙圧調整レバーで調整した紙質に合わせて、［標準］または［厚紙］にセットします。
クッションはクッション台から引き抜かないようにしてください。
「給紙台の給紙圧について」☞p.1-13



320 × 432mm よりも大きなサイズの用紙にプリントするときは排紙フェンスをすべてたたんだ状態で使用します。
このとき、メニュー設定の「4.8 排紙設定」－「4.8.2 排紙フェンス」を「OFF」にします。

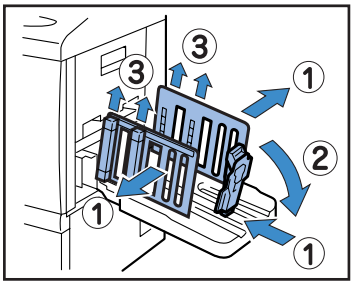


排紙台の閉じかた

以下の手順で排紙台を閉じます。

1 **印刷物がないことを確認し、［排紙フェンスオープンボタン］を押す**

排紙フェンス（サイド）と排紙フェンス（エンド）が収納位置まで移動します。

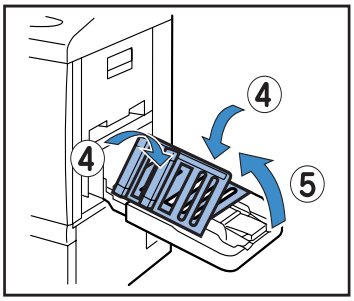


2 **排紙フェンス（エンド）を排紙台外側に倒し、たたむ**

このとき、排紙フェンス（エンド）先端が排紙台からはみ出さないようにしてください。

3 **紙揃えプレートをたたむ**

4 **排紙フェンス（サイド）を内側に倒し、たたむ**



5 **排紙台を閉じる**

基本的なプリント操作

接続や準備が完了したら、試しにプリントしてみます。ここでは、パソコンで作成したデータをすぐに用紙にプリントするダイレクトプリントの基本的な操作方法を説明します。

- あらかじめ、パソコンには必要なソフトウェアがインストールされている必要があります。
  詳しくは、別冊の「HC5000 ユーザーズマニュアル プリンタドライバ編」を参照してください。
- プリンタの電源が入っているか、消耗品がセットされているかをプリント前に確認してください。

プリント操作のながれ

パソコンでプリントするファイルを開く
▼
［印刷］ダイアログボックスで印刷を設定する
▼
プリントする

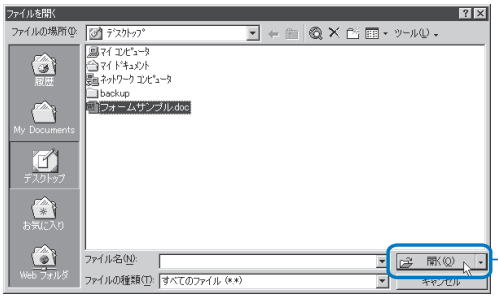
パソコンからのプリント（Windows）

ここでは、Microsoft Word 2000 からプリント指示を行う場合を例に説明します。

1 プリンタとパソコンの電源が入っていることを確認する

2 プリントするファイルを開く

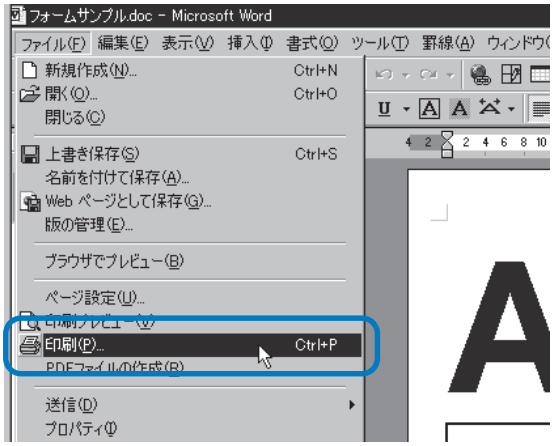
アプリケーションソフトを起動して、プリントする原稿データのファイルを開きます。



データを選択して[開く]をクリック

3 ［印刷］ダイアログボックスを表示させる

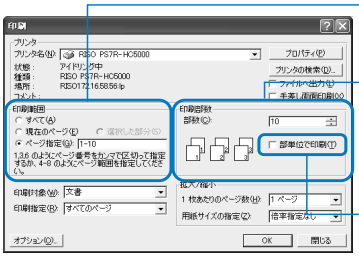
［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。



4 ［プリンタ名］に「RISO ORPHIS HC5000」または「RISO PS7R-HC5000」が選択されていることを確認する

プリンタの名称は、プリンタドライバをインストールした時に設定したものを選択します。

5 以下の項目を確認する



●印刷範囲
プリントするデータのページ範囲を指定します。

●印刷部数
原稿データの印刷部数（枚数）を数字で指定します。

必ずチェックマークをはずしてください。
部ごとにプリントする場合も、この画面の[部単位で印刷]のチェックマークをはずします。

［プロパティ］ボタンをクリックすると、プリンタドライバで各種設定ができます。プリンタドライバの［原稿モード］と［用紙種類］の設定は、プリントの品質に大きく影響します。初期設定以外の条件の場合は、［プロパティ］ボタンをクリックして、プリンタドライバの設定を変更してください。
「HC5000 ユーザーズマニュアル プリンタドライバ編」「第 2 章 プリンタドライバの操作」☞p.2-1

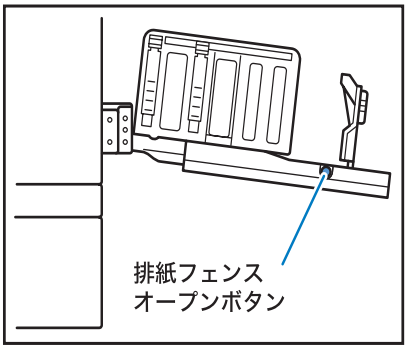
6 [印刷] ダイアログボックスで [OK] ボタンをクリックする

プリンタ側では、パソコンから送信されたデータを受信すると、操作パネルのデータランプが点滅してディスプレイに「データジュシンチュウ」と表示されます。受信が終わると、データランプが点灯して「プリントチュウ」と表示され、プリントを始めます。
「メッセージディスプレイ」☞p.2-2

7 排紙フェンスオープンボタンを押し、排紙台から印刷物を取り出す

プリント終了後、ボタンを押すと排紙フェンスが広がり、印刷物が取り出しやすくなります。

広げる排紙フェンスは選択することができます。
「4.8.4 排紙フェンス移動位置」☞p.2-26

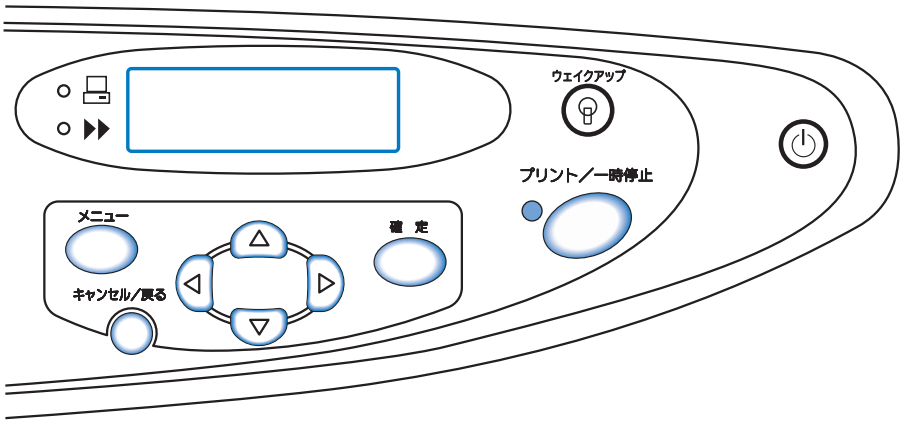


第２章　プリンタの機能設定

ここでは、プリント中に表示される操作パネルの状態について説明します。また、操作パネルを使ったプリンタの設定方法を説明します。プリンタへデータを送信した後にプリント位置の調整、テストプリントなどができます。

メッセージディスプレイと操作するキー

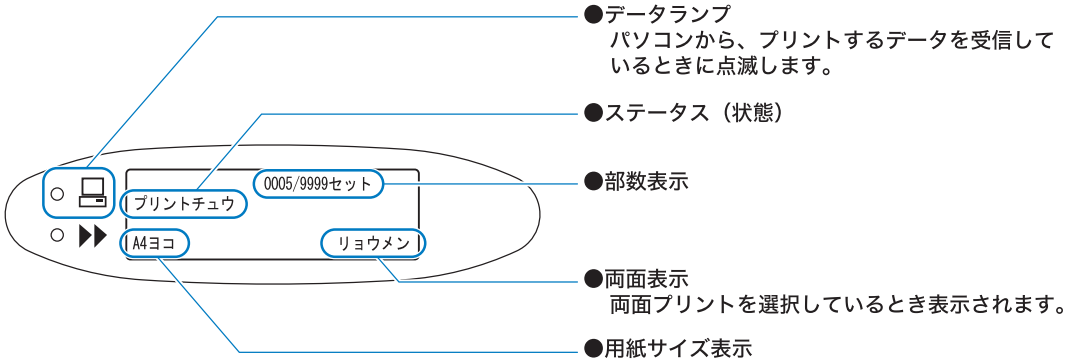
メッセージディスプレイの表示の意味、および操作するキーについて説明します。



メッセージディスプレイ

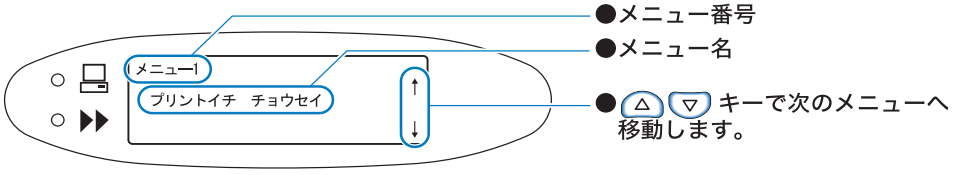
メッセージディスプレイには、プリンタの動作の状態を示すメッセージが表示されます。表示される主な内容と場所は以下のとおりです。

プリント時

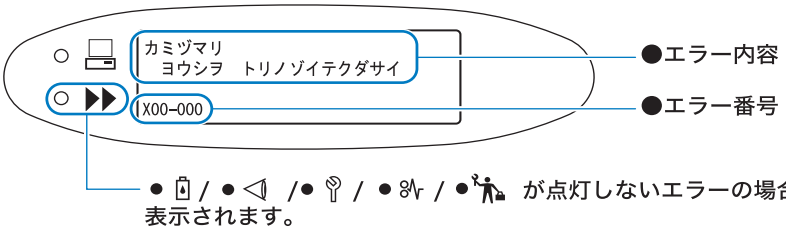


メニュー設定時

「データマチ」またはプリントモードが OFF のとき、メニューキーを押すとメニュー設定画面が表示されます。
詳しくは、「操作パネルの使いかた」☞p.2-5 を参照してください。



エラー発生時
エラーが発生したとき、メッセージディスプレイにエラー番号やその内容が表示されます。エラーの対処方法は「第 3 章こんなときには」☞p.3-1 を参照してください。



2

◎ ステータス（状態）
プリンタがどんな状態にあるのかを表示します。以下のようなメッセージが表示されます。

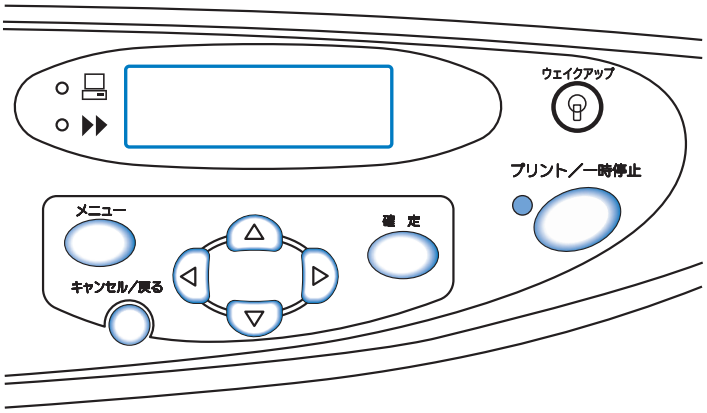
メッセージ	意味
シバラクオマチクダサイ	プリンタがウォーミングアップ中か、エラーからの復帰中です。 プリントはできません。
ウォーミングアップチュウ	プリントヘッドの温度が低いため、ウォーミングアップをしています。
データ　マチ	データを受信できます。
データ　ジュシンチュウ （データランプが点滅）	パソコンからプリントするデータを受信しています。
プリント　シジマチ	操作パネルからのプリントの指示を待っています。
プリントチュウ	プリント中、またはデータを処理しています。
クールダウンチュウ	プリントヘッドの温度が高いため、クールダウンをしています。
シュウリョウチュウ	操作パネルの電源キーを押して電源を切ったとき、プリンタが終了処理をしています。

◎ 部数表示
部単位出力の場合には、プリント済みの部数／設定したプリント部数が［セット］表示されます。ページ単位出力の場合には、プリント済みの枚数／設定したプリント枚数が表示されます。

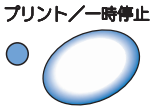
◎ 両面表示
両面プリントを設定しているときに表示されます。

◎ 原稿サイズ表示
選択されているトレイと原稿サイズ、方向が表示されます。
トレイを個別に指定しているときは指定したトレイが表示されます。
トレイを自動的に選択するよう設定しているときは「オート」と表示され、プリント中は用紙サイズを表示します。

操作するキー



キーの機能は以下のとおりです。ひとつのキーで複数の役割を持っているものもあります。

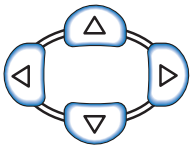


プリント / 一時停止キー

- プリントモードの ON/OFF を切り替えます。
  ON の時にはランプが点灯し、OFF の時は消灯します。
- プリント中に押すと一時停止します。一時停止中はランプが点滅します。もう一度押すとプリントを再開します。
- 「1 部プリントして停止する」を指示した場合は、確認プリント後に一時停止し、ランプが点滅します。必要に応じて調整や設定を行った後、プリント / 一時停止キーを押すとプリントを始めます。

メニューキー

- プリンタの初期設定を変更するときや、設定を終了するときに押します。
- メニュー選択中に押すと、メニュー設定を中断してプリントモード OFF 状態に戻ります。



カーソルキー
目的のメニューを表示させるときや、設定値の変更を行うときに使用します。

（上下キー）... メニューを切り替えたり、選択した数値を変更します。

（左右キー）... 数値を入力する画面で、選択する数字を移動します。

確定キー
設定した内容を確定します。

キャンセル / 戻るキー

- メニュー選択中に押すと、現在の設定を中断してひとつ上の階層に戻ります。
- メニュー設定中の機能をキャンセルするときに押します。

操作パネルの使いかた

操作パネルのメニューキーを使って、プリント位置や用紙種類の登録など、プリンタの環境を設定、変更することができます。

メニュー設定でできること

メニュー設定でできる項目と設定内容は以下のとおりです。
太字は工場出荷時の設定値です。

項目	設定内容（範囲）	参照先
メニュー 1　プリント位置調整 プリント位置を調整します。	上下左右 − 20.0 ～ +20.0mm	☞p.2-13
メニュー 2　テストプリント 設定内容確認するため、1 枚プリントします。	−	☞p.2-15
メニュー 3　保持データ呼出 保持データを呼び出して刷り増しします。	**0000 枚** 1 ～ 9999 枚	☞p.2-16
メニュー 4　機能設定 トレイにセットする用紙の設定、プリント濃度、排紙台の設定を行います。		☞p.2-17
4.1　給紙台設定 給紙台にセットする用紙を設定します。		☞p.2-18
4.1.1　用紙サイズ	**オート** A3/A4/B4/B5/A4 ヨコ /B5 ヨコ / はがき / サイズ登録 1 ～ 5	
4.1.2　用紙種類	**HC 普通紙** /HC マット紙 / 普通紙 / はがき / はがき IJ/ 種類登録 1 ～ 5	
4.1.3　重送検知	**ON** OFF	
4.2　トレイ 1 設定 トレイ 1 にセットする用紙を設定します。		☞p.2-18
4.2.1　用紙サイズ	**オート** A3/A4/B4/B5/A4 ヨコ /B5 ヨコ / サイズ登録 1 ～ 5	
4.2.2　用紙種類	**HC 普通紙** /HC マット紙 / 普通紙 / 種類登録 1 ～ 5	
4.2.3　重送検知	**ON** OFF	
4.3　トレイ 2 設定 トレイ 2 にセットする用紙を設定します。		☞p.2-18
4.3.1　用紙サイズ	**オート** A3/A4/B4/B5/A4 ヨコ /B5 ヨコ / サイズ登録 1 ～ 5	

項目	設定内容（範囲）	参照先
4.3.2　用紙種類	**HC 普通紙** /HC マット紙 / 普通紙 / 種類登録 1 ～ 5	
4.3.3　重送検知	**ON** OFF	
4.4　連続給紙 自動的にトレイを切り替えて連続して給紙するかどうか設定します。	ON **OFF**	☞p.2-20
4.5　給紙台オート選択 給紙台をトレイ選択のオートの対象にするかどうか設定します。	ON **OFF**	☞p.2-21
4.6　仕分け プリントの仕分けを行うかどうか、またその種類を選択します。	**OFF** ジョブごと 区切りごと （プリンタドライバで設定したときは、その種類が表示されます。）	☞p.2-22
4.7　プリント濃度 プリント全体の濃さを調整します。	濃度 1 / 2 /**3**/ 4 / 5 （プリンタドライバで設定したときは、その数値が表示されます。）	☞p.2-23
4.8　排紙設定 排紙台の設定を行います。 フィニッシャー（オプション）接続時は表示されません。		☞p.2-24
4.8.1　排紙ウイング 排紙ウイングの形状を設定します。	**オート** 特殊	
4.8.2　排紙フェンス 排紙フェンスの位置を調整します。	**オート** 微調整 OFF	
4.8.3　排紙フェンス微調整 4.8.2 の微調整の位置を設定します。	サイドフェンス：－ 20 ～＋ 20mm エンドフェンス：－ 20 ～＋ 20mm	
4.8.4　排紙フェンス移動位置 排紙フェンスオープンボタンを押したときの排紙フェンスの移動位置を設定します。	エンドフェンス サイドフェンス **エンド・サイドフェンス**	
4.9　保持データクリア 保持データをクリアします。	－	☞p.2-27
4.10　プリント領域 最大プリント面積を設定します。	**標準**　最大	☞p.2-28
4.11　表紙トレイ設定 フィニッシャー（オプション）の表紙トレイにセットする用紙を設定します。		☞p.2-29
4.11.1　用紙サイズ	**オート** A3/A4/B4/B5/A4 ヨコ /B5 ヨコ	

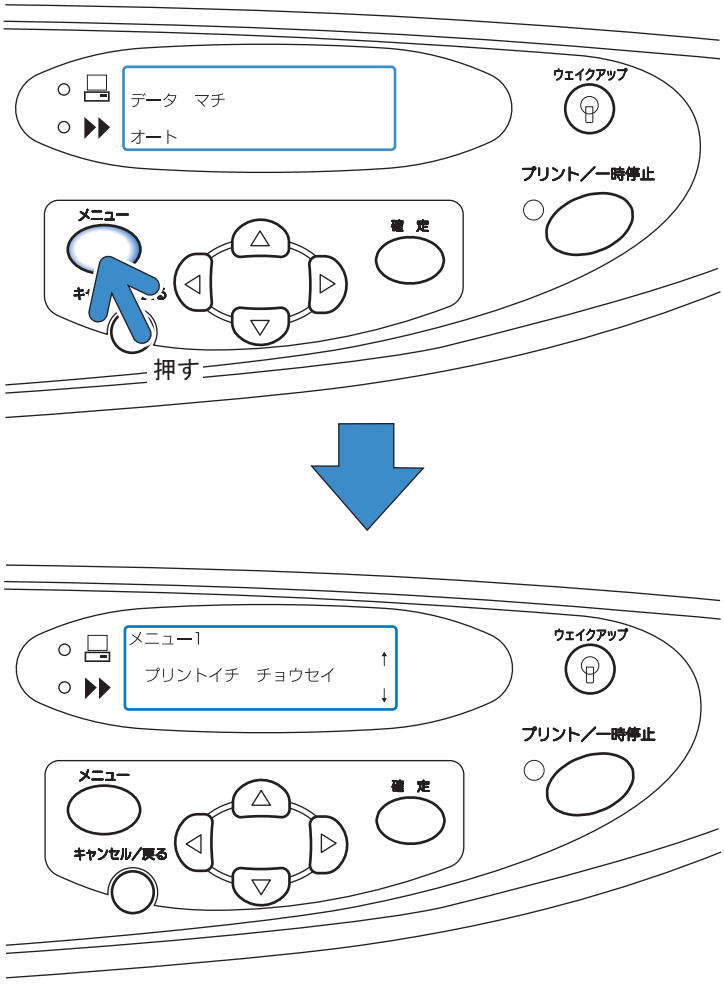
項目	設定内容（範囲）	参照先
4.11.2　用紙種類	**HC 普通紙** /HC マット紙 / 普通紙 / 種類登録 1 ～ 5	
メニュー 5　管理情報 プリンタの基本的な情報を設定します。		☞p.2-31
5.1　用紙サイズ登録 不定形の用紙サイズを登録します。 5 種類まで登録できます。	**000 × 000mm** 90 ～ 340 × 148 ～ 550mm	☞p.2-32
5.2　用紙種類登録 用紙の種類を登録します。5 種類まで登録できます。（5.2.1 ～ 5.2.5） ほかにも、特定の用紙の給紙設定を登録します。（5.2.6 ～ 5.2.12）		☞p.2-33
5.2.1 ～ 5　用紙種類表示 （5.2.1.1 ～ 5.2.5.1）	ON **OFF**	
5.2.1 ～ 5　用紙種類 （5.2.1.2 ～ 5.2.5.2）	**HC 普通紙** /HC マット紙 / 普通紙 / はがき / はがき（IJ）	
5.2.1 ～ 5　給紙設定 （5.2.1.3 ～ 5.2.5.3）（5.2.6.1 ～ 5.2.12.1）	**標準** / 厚紙 / 薄紙 / 特殊用紙 / はがき	
5.3　仕分け用紙トレイ 仕分け用紙トレイを設定します。	**未使用** 給紙台 トレイ 1 トレイ 2	☞p.2-36
5.4　カウント表示 プリント枚数を表示します。		☞p.2-37
5.4.1　トータルカウント プリントした総ページ数を表示します。	－	
5.4.3　詳細カウント サイズ、種類など条件ごとに表示します。	－	
5.5　ヘッドメンテナンス プリントヘッド部分をクリーニングします。		☞p.2-40
5.5.4　ストロングクリーニング ヘッド部分を指定してクリーニングを行います。	K/C/M/Y	
5.5.5　ノーマルクリーニング すべてのヘッドを一括でクリーニングします。	－	
5.5.6　クリーニングサイクル 自動的にノーマルクリーニングするサイクルを設定します。	**500** ページ 100 ～ 3000（100 刻み）ページ	

項目	設定内容（範囲）	参照先
5.6　情報プリント プリンタに関する設定内容などの情報を一覧でプリントします。		☞p.2-42
5.7　ネットワーク設定 ネットワーク上の IP アドレスなどを設定します。		☞p.2-43
5.8　初期設定		☞p.2-44
5.8.1　スリープ スリープをするかしないか設定します。	**ON** OFF	
5.8.2　スリープ時間 スリープ状態になるまでの時間を設定します。	**05 分** 1 ～ 99 分	
5.8.3　キー操作ブザー キーを押した時にブザー音を鳴らすかどうか設定します。	**ON** OFF	
5.8.4　状態ブザー データ受信時やプリント終了時などに音を鳴らすかどうかを設定します。	**ON** OFF	
5.8.5　エラーブザー エラーが起きたときにブザー音を鳴らすかどうか設定します。	**ON** OFF	
5.8.6　データ保持 直前にプリントした最後のページのデータを保持するかどうか設定します。	ON **OFF**	
5.8.7　言語表示 操作パネルに表示する言語を設定します。	**日本語** / 英語 / 米語 / フランス語 / ドイツ語 / イタリア語 / スペイン語	
5.8.8　単位表示 操作パネルに表示する長さの単位や用紙サイズ表示を設定します。電源を入れ直すと、ここで設定した内容が反映されます。	**mm** inch	
5.8.50　ヘッドリカバリー 長期間使用しない場合などに、プリントヘッドのノズルに強力なクリーニングを行い、ノズルを初期状態にします。	－	
メニュー 6　トレイ選択 プリントする時に、複数のトレイから必要な用紙がセットされているトレイを選択します。	**オート**　給紙台 トレイ 1　トレイ 2	☞p.2-49
メニュー 7　ジョブクリア 現在プリント中のジョブをクリアします。	－	☞p.2-50

メニュー選択の基本操作

メニューへの入りかた

メニュー設定はプリント一時停止中やデータ待ちなど、プリンタが動作していないときに行います。
プリント中に設定をするときは、プリント / 一時停止キーを押してプリントを停止させ、メニューキーを押します。



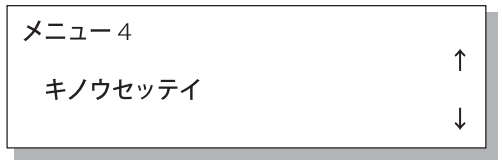
メニューに入ると、メニュー 1 の画面が表示されます。

メニューの選択

メニューはツリー状の階層構造になっています。
△ または ▽ キーを押して目的のメニューを表示させます。

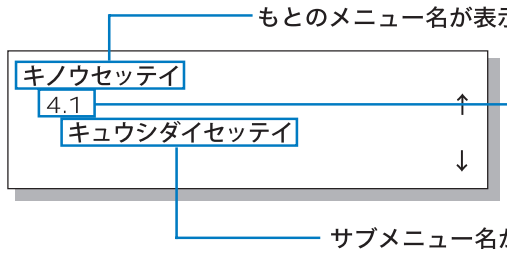
● **サブメニュー**

機能設定、管理情報メニューには、サブメニューが存在しています。

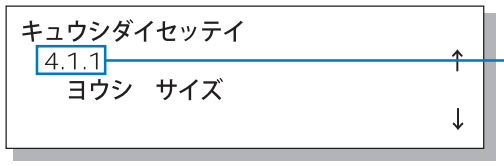


この状態で確定キーを押します。

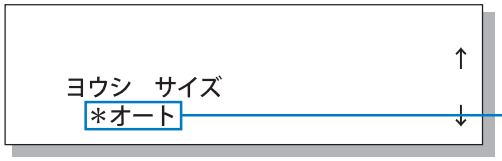
メニューが表示されたときに確定キーを押すと、サブメニューが表示されます。



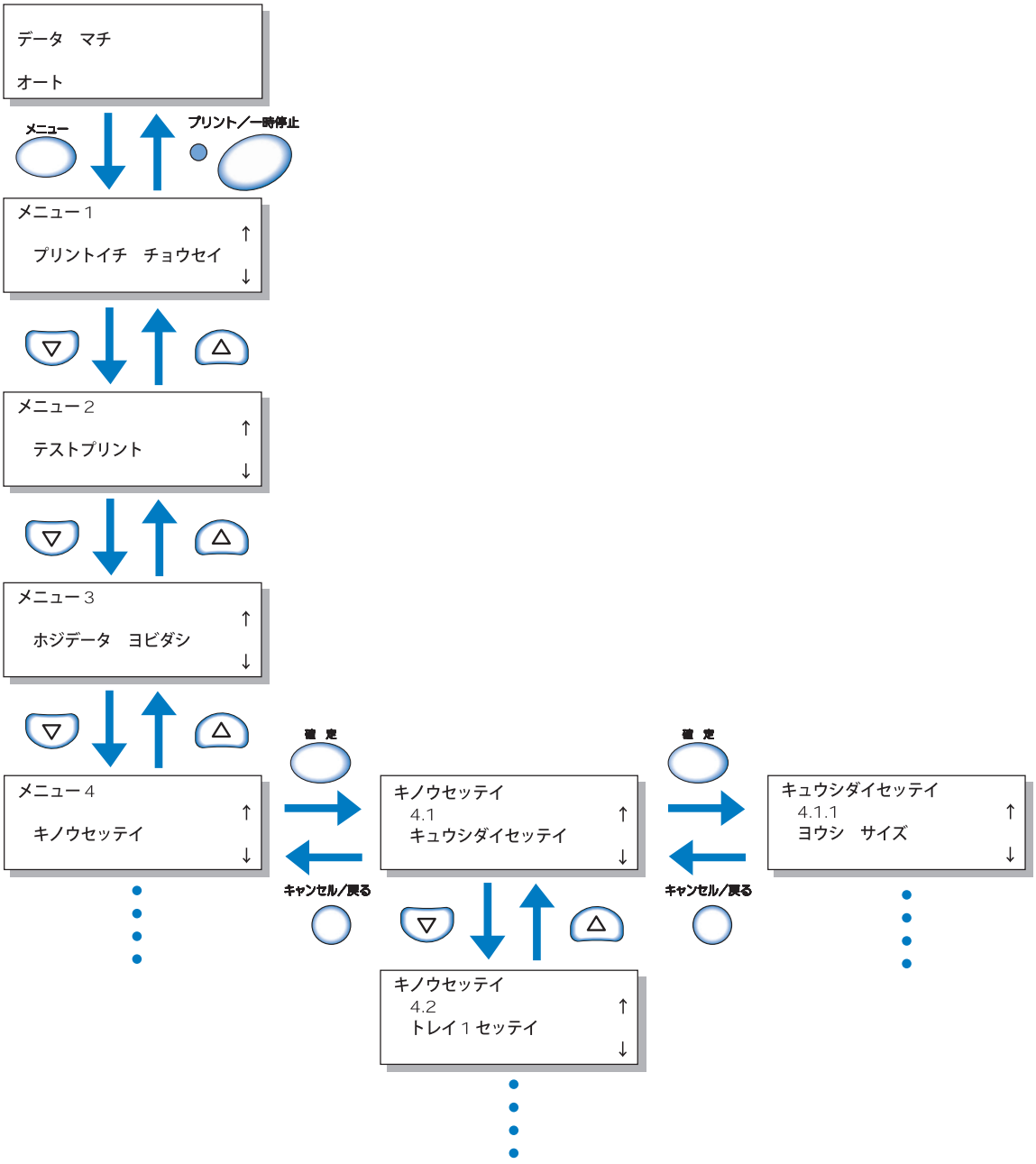
メニューによっては、サブメニューの階層がさらに深くなることがあります。



現在設定されている項目または設定値には、＊印が付いています。



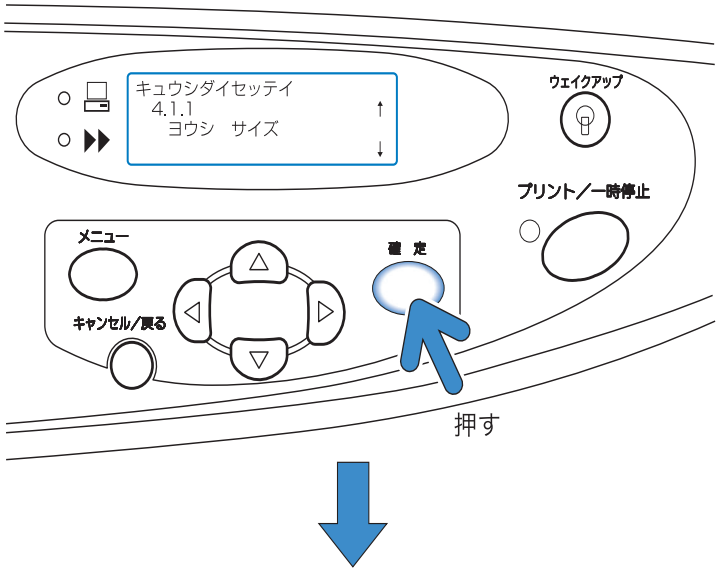
「4.1.1 ヨウシサイズ」を表示させるときは次のように操作します。



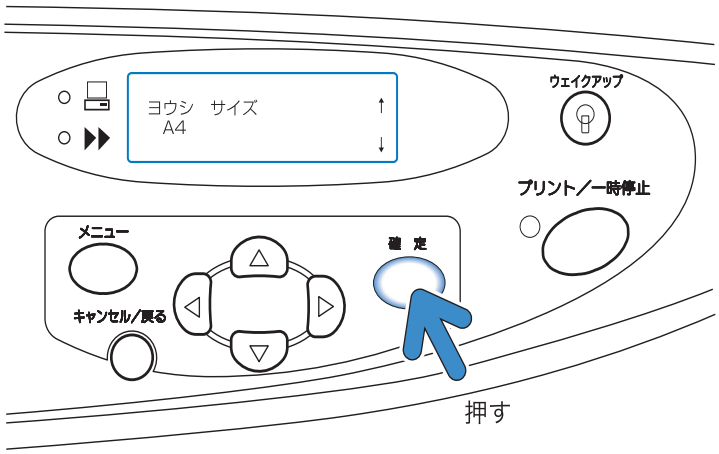
巻末にメニューの階層を一覧にしてまとめてあります。あわせてご活用ください。

メニューの設定

目的のメニューを選択してから確定キーを押します。



メニューの設定ができるようになります。△または▽キーを押して項目を選択し、確定キーを押します。



操作の中断

サブメニューからひとつ上の階層に戻るときは、キャンセル / 戻るキーを押します。
設定を中断して終了するときは、メニューキーを押します。

メニュー設定の終了／プリントの開始

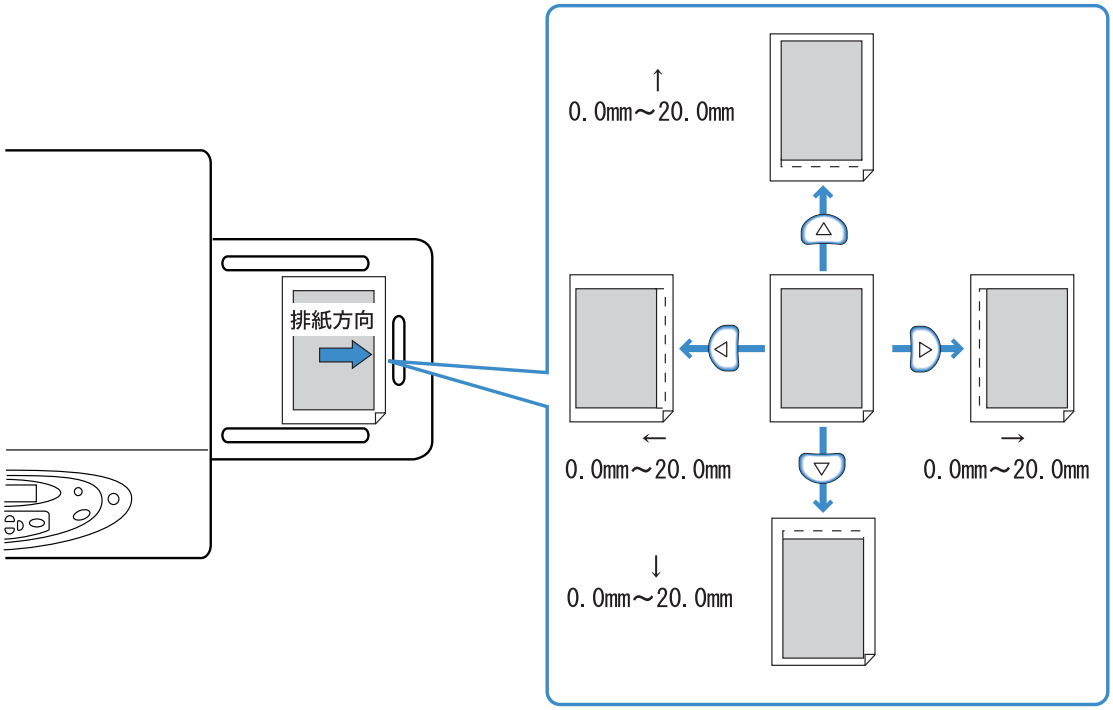
メニュー設定が終わったら、プリント / 一時停止キーを押して、プリントモードを ON にします。

メニュー１　プリント位置調整

プリント位置を調整します。
また、プリント後にパンチ穴をあけたりステープルするために位置を調整することもできます。

◎ 調整できる範囲

プリンタから排紙された用紙を見て、プリント位置をずらしたい場合は、プリンタのカーソルキーで移動させます。

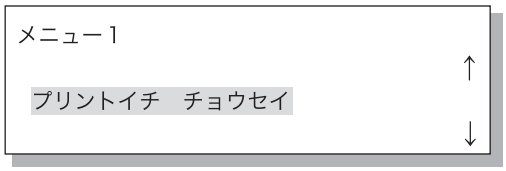


・ 現在プリントされている位置から向かって、上下左右 0 ～ 20mm の間で設定できます。
・ 調整できる単位は 0.5mm です。

・ メニュー設定の「4.9 保持データクリア」を実行した後や、保持データを残さない設定（5.8.6 データ保持：OFF）にしているときは、「ホジデータガ　アリマセン」と表示されます。
・ 両面プリント時は、表面も裏面もそれぞれ同じ調整位置へ移動します。とじしろなどをつける場合に便利です。
・ 設定した内容は「メニュー 3 保持データ呼出」で刷り増しするときにも反映されます。

1 **メニューキーを押す**

2 **「プリントイチ　チョウセイ」が表示されていることを確認する**



3 **確定キーを押す**

4 **キーを押してプリント位置を調整する**

押したキーの方向の矢印だけが表示され、数値が変わります。

5 **設定したら、確定キーを押す**

手順 2 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。メニュー 2 の「テストプリント」で 1 枚プリントし、位置を確認してください。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

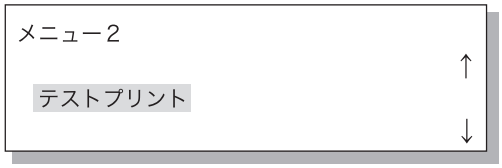
メニュー 2　テストプリント

現在プリンタ内に保持されているデータを、確認のために 1 枚プリントします。
プリント位置調整や濃度調整の設定が正しく反映されているかどうかを確認できます。

- テストプリントでプリントした枚数は、パソコンで設定した「印刷枚数」にはカウントされません。
- メニュー設定の「4.9 保持データクリア」を実行した後や、保持データを残さない設定（5.8.6 データ保持：OFF）をしたときには「ホジデータガ　アリマセン」と表示され、テストプリントできません。
- フィニッシャー（オプション）を接続している場合は、フィニッシャー機能の設定内容にかかわらず、テストプリントした用紙はトップトレイに排紙されます。（ただし、内 3 つ折り、外 3 つ折りの場合を除く）

1　メニューキーを押す

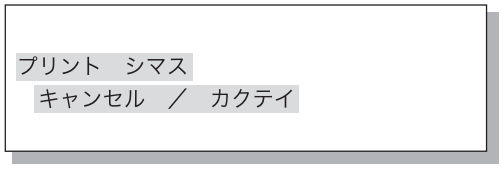
2　△ または ▽ キーを押し、「テストプリント」を表示させる



3　確定キーを押す

4　メッセージを確認し、プリントするときは確定キーを押す

1 枚プリントされます。キャンセルキーを押したときは手順 2 の画面に戻ります。



テストプリントが終了したら引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

メニュー 3　保持データ呼出

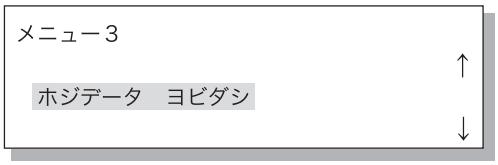
現在プリンタ内に保持されているデータを呼び出し、枚数を指定して再度プリントできます（刷り増し）。

保持データ呼出は、メニュー設定の「5.8.6 データ保持」を「ON」にしているとき使用できます。詳しくは、メニュー設定の「5.8 初期設定」☞p.2-44 を参照してください。

- 保持されているのは直前にプリントしたデータの最後のページです。両面印刷のときは最後の 1 枚（2 ページ）です。
- 刷り増しで指定できる枚数は「9999」枚までです。
- FORCEJET™ エンジンコントローラのメモリが標準（128MB）で、プリンタドライバの「画像品質」を「高精細」に設定した場合は、最後のページは保持されません。保持するにはメモリの増設が必要です。詳しくは、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）へお問い合わせください。
- メニュー設定の「メニュー 4.9　保持データクリア」を実行した後や、保持データを残さない設定（5.8.6 データ保持：OFF）をしたときは、「ホジデータガ　アリマセン」と表示されます。

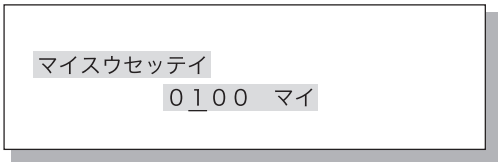
1　メニューキーを押す

2　△ または ▽ キーを押し、「ホジデータ　ヨビダシ」を表示させる



3　確定キーを押す

4　◁ ▷ キーでカーソルを移動させ、△ ▽ キーでプリント枚数を入力する



5　確定キーを押す

6　プリント / 一時停止キーを押す

設定した枚数でプリントが始まります。

メニュー 4　機能設定

トレイにセットする用紙のサイズや種類、仕分け機能など、プリントに関する機能を設定できます。

◎ できること

設定できる機能は次のとおりです。

- 4.1 給紙台設定
  4.2 トレイ 1 設定
  4.3 トレイ 2 設定
  ☞p.2-18
  給紙台およびトレイにセットする用紙のサイズ、種類、重送検知の ON/OFF を設定します。
- 4.4 連続給紙　☞p.2-20
  トレイ 1、トレイ 2 を併用した連続給紙をするかどうかを設定します。「4.5 給紙台オート選択」を「ON」にしていると、給紙台を含めて連続給紙の対象にできます。
- 4.5 給紙台オート選択　☞p.2-21
  プリンタドライバからトレイを指定せずに（オートトレイ選択）プリント指示するときに、給紙台の用紙を選択の対象にするかどうかを設定します。
- 4.6 仕分け　☞p.2-22
  複数プリント時に、ジョブごと、または部数やページなどの区切りごとに仕分け用紙を挿入します。
- 4.7 プリント濃度　☞p.2-23
  プリント濃度を 5 段階から選択できます。
- 4.8 排紙設定　☞p.2-24
  排紙ウイングやオート排紙台の各フェンスの調整内容を設定します。
- 4.9 保持データクリア　☞p.2-27
  プリンタ内部の保持データを消去します。
- 4.10 プリント領域　☞p.2-28
  最大プリント面積を変更できます。
- 4.11 表紙トレイ設定　☞p.2-29
  フィニッシャー（オプション）の表紙トレイにセットする用紙サイズ、種類を設定します。

4.1 給紙台設定／ 4.2 トレイ 1 設定／ 4.3 トレイ 2 設定

給紙台およびトレイにセットする用紙のサイズ、種類、重送検知の ON/OFF を設定します。
用紙の種類やサイズを変えたときは必ず設定してください。

◎ 設定内容

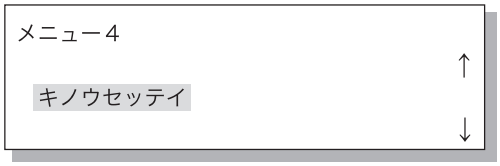
4.1.1/4.2.1/4.3.1 用紙サイズ	給紙台	オート、A3、B4、A4、B5、A4 ヨコ、B5 ヨコ、はがき サイズ登録 1 ～ 5（*1） から選択できます。
	トレイ	オート、A3、B4、A4、B5、A4 ヨコ、B5 ヨコ サイズ登録 1 ～ 5（*1） から選択できます。
4.1.2/4.2.2/4.3.2 用紙種類	給紙台	HC 普通紙、HC マット紙、普通紙、はがき、はがき IJ 種類登録 1 ～ 5（*2） から選択できます。
	トレイ	HC 普通紙、HC マット紙、普通紙 種類登録 1 ～ 5（*2） から選択できます。
4.1.3/4.2.3/4.3.3 重送検知	複数枚の用紙が重なったまま給紙されてしまう「重送」を検知するかどうかを選択します。 裏面がプリント済みの用紙や地色の濃い用紙をセットするときは「OFF」に設定してください。 OFF：重送検知を行いません。 ON：重送検知を行います。	

*1 あらかじめ「5.1 用紙サイズ登録」で登録したサイズが表示されます。
*2 あらかじめ「5.2 用紙種類登録」で登録した種類が表示されます。

以下の手順は給紙台設定の方法を例に説明しています。トレイ 1、トレイ 2 の場合は手順 4 で「トレイ 1」または「トレイ 2」を表示させます。

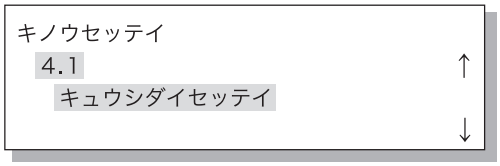
1 メニューキーを押す

2 △または▽キーを押し、「キノウセッテイ」を表示させる



3 確定キーを押す

4 △または▽キーを押し、「キュウシダイセッテイ」を表示させる



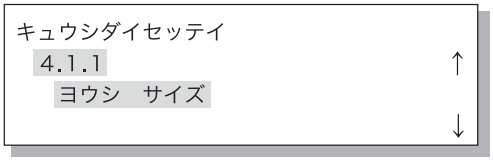
5 確定キーを押す

給紙台（トレイ）設定のサブメニューが表示されます。

用紙サイズ

- 定形サイズ以外の用紙を使用したい場合は、あらかじめメニュー設定の「5.1 用紙サイズ登録」で使用するサイズを登録します。登録すると、そのサイズの用紙が使用できます。
- 用紙サイズ登録をしないで、定形サイズ以外の用紙を使用すると、紙づまりの原因になることがあります。
- 給紙台とトレイ（1 および 2）では、それぞれセットできる用紙サイズが異なります。☞p.2-18
- トレイ 1 ／トレイ 2 設定時、用紙サイズ登録をした用紙がトレイにセットできるサイズに適さない場合には、登録した用紙は表示されません。
- フィニッシャー（オプション）を接続している場合は、使用できなくなる用紙サイズがあります。使用できない用紙サイズはこのメニューでは表示されません。

1 「ヨウシ　サイズ」が表示されていることを確認する



2 確定キーを押す

3 △または▽キーでサイズを選択する

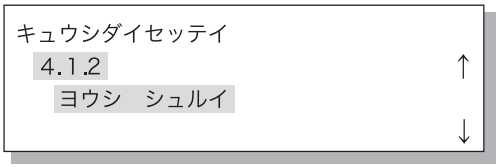
4 確定キーを押す

手順 2 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

用紙種類

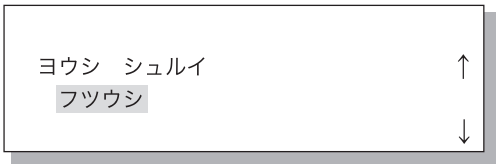
- 給紙台とトレイでは、それぞれセットできる用紙の種類が異なります。☞p.2-18
- 登録した用紙を給紙台で使用するときは、給紙圧も含めた用紙送りをするよう制御しています。用紙の厚さに合わせて給紙圧調整レバーも調整してください。

1 △または▽キーを押し、「ヨウシ シュルイ」を表示させる



2 確定キーを押す

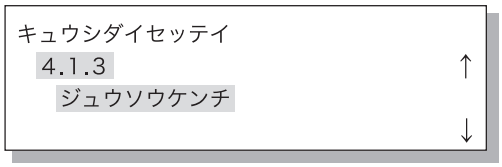
3 △または▽キーで種類を選択する



4 確定キーを押す

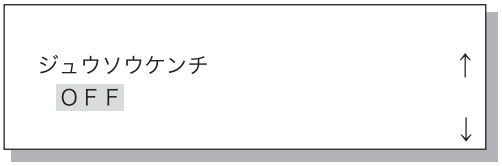
手順 1 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

1 **△または▽キーを押し、「ジュウソウケンチ」を表示させる**



2 **確定キーを押す**

3 **△または▽キーで選択する**



4 **確定キーを押す**

手順 1 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

4.4 連続給紙

トレイ 1、トレイ 2 および給紙台を併用した連続給紙をするかどうか設定します。一回の用紙セットで最大 2500 枚を連続してプリントできます。

便利に使おう！

こんなときに
次のような使い方をするときに連続給紙を設定しておくと便利です。

- いつも同じサイズ、種類の用紙を使う
- 一度に 1000 枚以上プリントする

連続給紙のしくみ
連続給紙を設定しておくと、トレイ 2 の用紙がなくなったとき、自動的にトレイ 1 の用紙を給紙先に選び、プリントを続けます。さらに、「4.5 給紙台オート選択」を ON にしておけば、給紙台の用紙も給紙先として選ぶことができます。
トレイが選択される優先順位は、給紙台→トレイ 2 →トレイ 1 となっています。

「4.5 給紙台オート選択」☞p.2-21

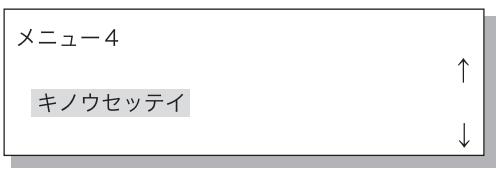
◎ 設定内容

OFF	連続給紙を行いません。
ON	連続給紙を行います。

仕分け用紙トレイ（5.3 仕分け用紙トレイ）に設定されているトレイは、連続給紙および「メニュー 6 トレイ選択」の「オート」の対象になりません。☞p.2-49

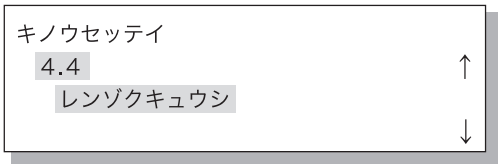
1 **メニューキーを押す**

2 **△または▽キーを押し、「キノウセッテイ」を表示させる**



3 **確定キーを押す**

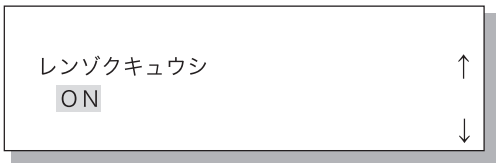
4 **△または▽キーを押し、「レンゾクキュウシ」を表示させる**



5 **確定キーを押す**

連続給紙のサブメニューが表示されます。

6 **△または▽キーでONまたはOFFを選択する**



7 **確定キーを押す**

手順 4 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

2

4.5 給紙台オート選択

プリンタドライバの［給紙トレイ選択］で［オートトレイ選択］を選択してプリントする場合に、給紙台の用紙を選択の対象にするかどうか設定します。

便利に使おう！

ON にするとき

- それぞれのトレイと給紙台に違うサイズの用紙をセットして、使用するデータにあわせて 3 種類の用紙から、自動的にプリントしたいとき
- メニュー設定「4.4 連続給紙」で、給紙台の用紙も使うとき

OFF にするとき

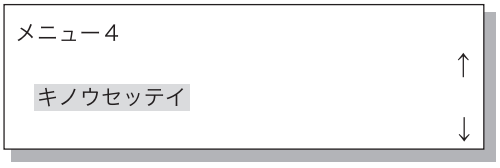
- そのつど、はがきや厚紙など手差し感覚でいろいろな用紙をセットして使用するとき

◎ 設定内容

OFF	給紙台を選択の対象にしません。
ON	給紙台を選択の対象にします。

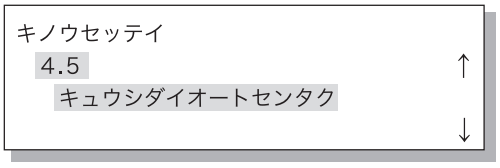
1 **メニューキーを押す**

2 **△または▽キーを押し、「キノウセッテイ」を表示させる**



3 **確定キーを押す**

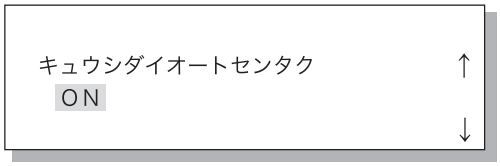
4 **△または▽キーを押し、「キュウシダイオートセンタク」を表示させる**



5 **確定キーを押す**

給紙台オート選択のサブメニューが表示されます。

6 **△または▽キーでONまたはOFFを選択する**



7 **確定キーを押す**

手順 4 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

4.6 仕分け

現在のジョブのプリント途中に、仕分けを手動で設定できます。複数プリント時に、ジョブごと、または部数やページなどの区切りごとに仕分け用紙を挿入します。

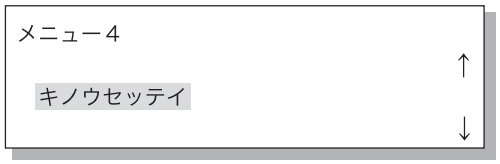
◎ 設定内容

OFF	仕分けを行いません。
ジョブごと	ジョブごとに仕分け用紙を挿入します。
区切りごと	区切りごとに仕分け用紙を挿入します。 プリンタドライバから部単位でプリントしているときは 1 部ごと、ページ単位でプリントしているときはページごとに挿入します。

- 仕分け用紙を挿入するときは、トレイを別途指定します。
「5.3 仕分け用紙トレイ」☞p.2-36
- 「5.3 仕分け用紙トレイ」が「未使用」に設定されているときは、仕分け用紙が入るタイミングで数秒間あけてプリントします。
- 仕分けの設定はプリンタドライバの［オプション設定］タブで行いますが、プリント / 一時停止キーでプリントを一時停止してプリンタ側で変更したり、新しく設定することができます。
- フィニッシャー（オプション）を接続している場合は、フィニッシャーの「Z 折り」、「パンチ」、「表紙付け機能」と組み合わせて設定できます。

1 **メニューキーを押す**

2 **△または▽キーを押し、「キノウセッテイ」を表示させる**



3 **確定キーを押す**

4 **△または▽キーを押し、「シワケ」を表示させる**

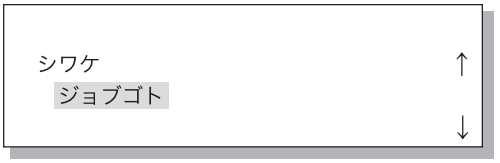
5 **確定キーを押す**

仕分けのサブメニューが表示されます。

6 **△または▽キーで選択する**

7 **確定キーを押す**

手順 4 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。



4.7 プリント濃度

プリント濃度を手動で設定できます。
プリント全体の濃さを設定します。特定の色だけを調整したり、ハーフトーンの再現方法を変更するときは、プリンタドライバの［イメージ処理］タブで調整するか、アプリケーションソフトで画像を加工してください。

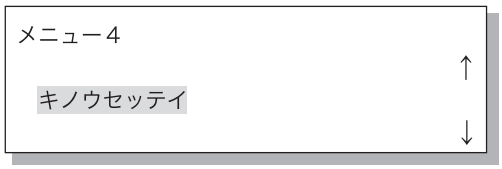
◎ 設定内容

濃度 5	濃く
濃度 4	やや濃く
濃度 3	標準
濃度 2	やや薄く
濃度 1	薄く

プリント濃度の設定はプリンタドライバの［オプション設定］タブで行いますが、プリント / 一時停止キーでプリントを一時停止して、プリンタ側で変更することができます。

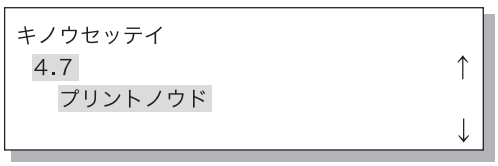
1 **メニューキーを押す**

2 **△ または ▽ キーを押し、「キノウセッテイ」を表示させる**



3 **確定キーを押す**

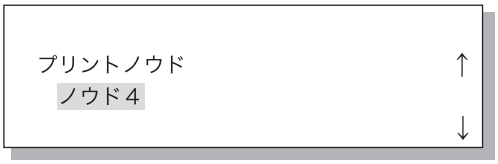
4 **△ または ▽ キーを押し、「プリントノウド」を表示させる**



5 **確定キーを押す**

プリント濃度のサブメニューが表示されます。

6 **△ または ▽ キーで濃度を選択する**



7 **確定キーを押す**

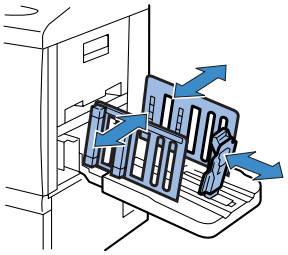
手順 4 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

4.8 排紙設定

排紙ウイングやオート排紙台の各フェンスの位置や調整内容を設定します。

フィニッシャー（オプション）を接続している場合、このメニューは表示されません。

◎ 設定内容

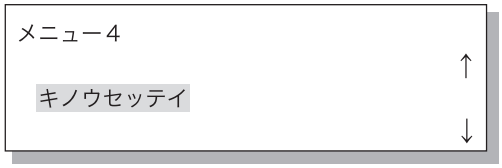
4.8.1 排紙ウイング	プリントされた用紙が排出されるときに、排紙ウイングの形状を変えることによって紙揃えがきれいにできるように調整します。 オート：　用紙の種類、サイズから自動的に排紙ウイングを最適な位置に調整します。 特　殊：　特殊な用紙に合わせて設定できます。詳しくは、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。
4.8.2 排紙フェンス	サイドフェンスとエンドフェンスの位置の調整方法を選択します。 オート：　用紙の種類、方向、サイズから自動的にサイドフェンスとエンドフェンスの位置を調整します。 微調整：　オート排紙台のフェンスは、用紙サイズに合わせて自動的に動くため、手でセット位置を変更することはできません。用紙によっては少し広めに（狭めに）セットした方が揃いが良い場合などに設定します。移動位置は 4.8.3 で設定してください。 OFF：　排紙フェンスの移動を行いません。用紙サイズが 320 × 432mm 以上の用紙にプリントする場合は「OFF」にしてから、排紙フェンスをたたんでください。
4.8.3 排紙フェンス微調整	「4.8.2 排紙フェンス」で「微調整」を選択したときのサイドフェンスとエンドフェンスの位置を 1mm 単位で指定できます。 サイドフェンス：用紙のサイズより－ 20（狭く）～＋ 20（広く）mm エンドフェンス：用紙のサイズより－ 20（左へ）～＋ 20（右へ）mm 
4.8.4 排紙フェンス移動位置	プリント終了後、排紙フェンスオープンボタンを押すと、排紙台の用紙を取り出しやすくするため排紙フェンスが外側へ移動します。このときに動かすフェンスを指定します。 排紙フェンスオープンボタンについては、4 ページを参照してください。 エンドフェンス：エンドフェンスだけを開きます。 サイドフェンス：サイドフェンスだけを開きます。 エンド・サイドフェンス：エンドフェンス、サイドフェンス両方を開きます。

●「4.8.2 排紙フェンス」で「オート」または「OFF」を選択しているときに「4.8.3 排紙フェンス微調整」を設定すると、「4.8.2 排紙フェンス」の設定は「微調整」に変更されます。

●「4.8.3 排紙フェンス微調整」は、以下の場合に設定が解除され、「オート」の設定になります。
・電源を入れ直したとき
・スリープ状態からウェイクアップしたとき
・違うサイズの用紙が選択されたとき
・「4.8.2 排紙フェンス」で「オート」を選択したとき

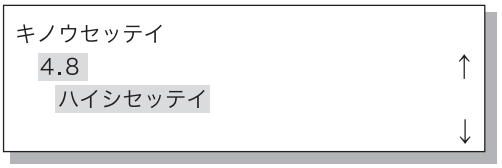
1 メニューキーを押す

2 △ または ▽ キーを押し、「キノウセッテイ」を表示させる



3 確定キーを押す

4 △ または ▽ キーを押し、「ハイシセッテイ」を表示させる

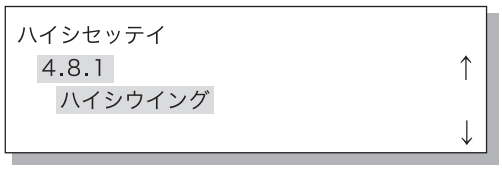


5 確定キーを押す

排紙設定のサブメニューが表示されます。

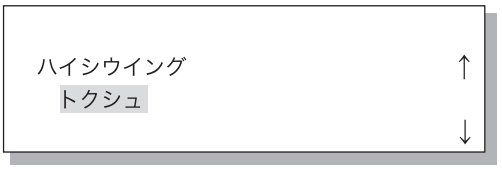
4.8.1 排紙ウイング

1 「ハイシウイング」が表示されていることを確認する



2 確定キーを押す

3 △ または ▽ キーで選択する

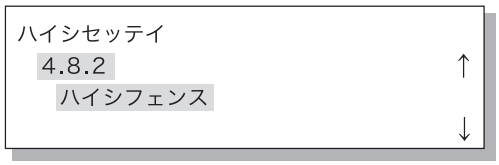


4 確定キーを押す

手順 1 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

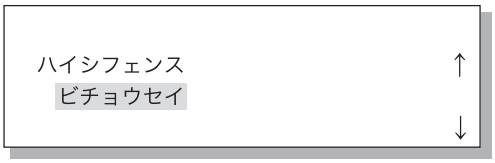
4.8.2 排紙フェンス

1 **△または▽キーを押し、「ハイシフェンス」を表示させる**



2 **確定キーを押す**

3 **△または▽キーで位置の調整方法を選択する**

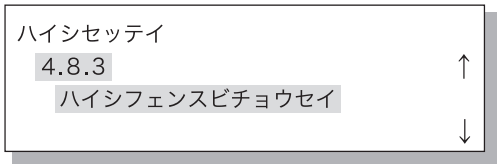


4 **確定キーを押す**

手順 1 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。
「微調整」を選択した場合は、引き続き 4.8.3 で移動量を調整します。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

4.8.3 排紙フェンス微調整

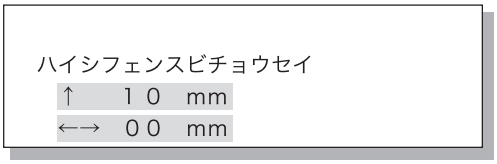
1 **△または▽キーを押し、「ハイシフェンスビチョウセイ」を表示させる**



2 **確定キーを押す**

3 **サイドフェンスの位置を調整するときは△または▽キー、エンドフェンスの位置を調整するときは◁または▷キーを押す**

押したキーの数値が変わります。

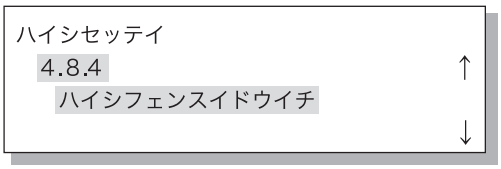


4 **設定したら、確定キーを押す**

手順 1 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

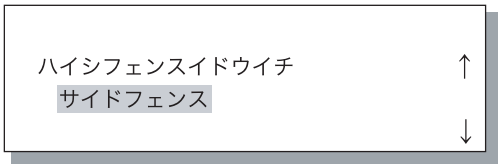
4.8.4 排紙フェンス移動位置

1 **△または▽キーを押し、「ハイシフェンスイドウイチ」を表示させる**



2 **確定キーを押す**

3 **△または▽キーで選択する**



4 **確定キーを押す**

手順 1 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

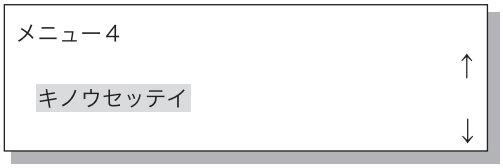
4.9 保持データクリア

メニュー設定「5.8.6 データ保持」が「ON」の場合、プリンタ内部には、直前にプリントした最後の 1 ページ（両面プリントのときは最後の 1 枚）分が保持データとして残されています。機密文書のプリントなどで、プリント終了後に保持データをプリンタに残したくないときは消去することができます。

- メニュー設定「5.8.6 データ保持」が「OFF」の場合は、「ホジデータガ　アリマセン」と表示されます。
- プリントを一時停止しているときに保持データをクリアしたいときは、「メニュー 7　ジョブクリア」をして現在のジョブをクリアしてから保持データをクリアしてください。
「メニュー 7 ジョブクリア」☞p.2-50

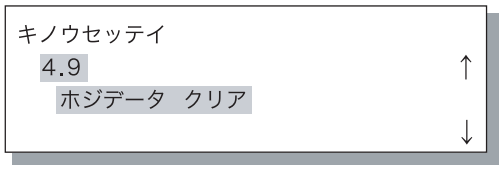
1　メニューキーを押す

2　△ または ▽ キーを押し、「キノウセッテイ」を表示させる



3　確定キーを押す

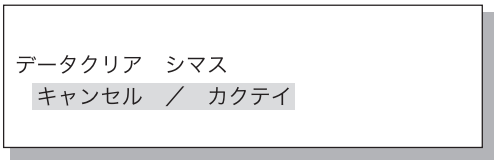
4　△ または ▽ キーを押し、「ホジデータ　クリア」を表示させる



5　確定キーを押す

6　メッセージを確認し、クリアするときは確定キーを押す

「ショリチュウ」と表示され、データがクリアされます。キャンセルキーを押したときは手順 4 の画面に戻ります。



7　確定キーを押す

手順 4 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

4.10 プリント領域（最大プリント面積）

本機では原稿のサイズにかかわらず、用紙の周囲にはプリントできない部分（余白）があります。通常は「標準」でお使いください。画像がプリント面積からはみ出してしまう場合は、その画像部分はプリントされません。（縮小されません）

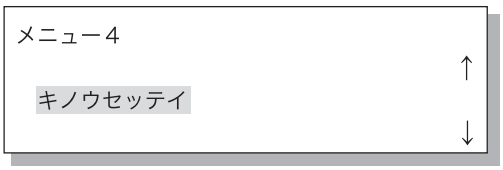
◎ 設定内容

標準	用紙の周囲から 3mm 内側の範囲にプリントします。 プリント面積：310mm×454mm
最大	用紙の周囲から 1mm 内側の範囲にプリントします。 最大プリント面積：314mm×458mm

- 「保証プリント面積」（x ページ）を超える部分は、原稿の内容によっては文字や図柄のにじみなど、印刷品質が低下する場合があります。
- 原稿（データ）を作成したアプリケーションによっては、プリント領域の設定通りの余白にならない場合があります。（アプリンケーションによって、プリントできる最低の余白がプリンタに関係なく設定されているものもあります）
- 用紙サイズが 316mm×460mm 以上の場合でも、実際にプリントが可能な最大の面積は、314mm×458mm です。
- 「最大」に設定すると、本体内部やプリント用紙がインクで汚れる場合があります。

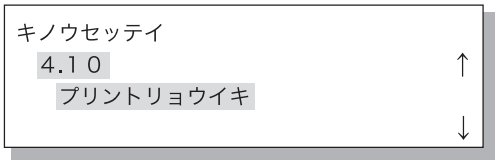
1 **メニューキーを押す**

2 **△または▽キーを押し、「キノウセッテイ」を表示させる**



3 **確定キーを押す**

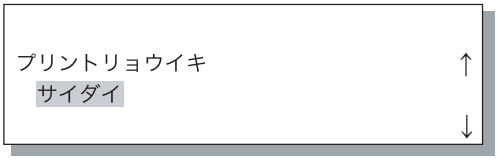
4 **△または▽キーを押し、「プリントリョウイキ」を表示させる**



5 **確定キーを押す**

プリント領域のサブメニューが表示されます。

6 **△または▽キーで選択する**



7 **確定キーを押す**

手順 4 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

4.11 表紙トレイ設定（フィニッシャー接続時のみ）

フィニッシャー（オプション）の表紙トレイにセットする用紙のサイズと種類 を設定します。
用紙の種類やサイズを変えたときは必ず設定してください。

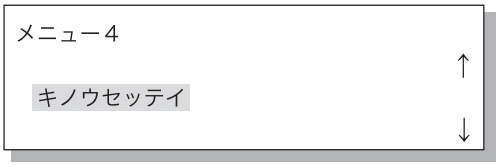
◎ 設定内容

4.11.1 用紙サイズ	オート、A3、B4、A4、B5、A4 ヨコ、B5 ヨコ から選択できます。
4.11.2 用紙種類	HC 普通紙、HC マット紙、普通紙、種類登録 1 ～ 5（*） から選択できます。

* あらかじめ「5.2 用紙種類登録」で登録した種類が表示されます。

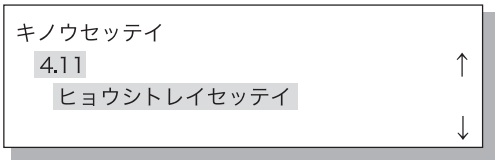
1 **メニューキーを押す**

2 **△ または ▽ キーを押し、「キノウセッテイ」を表示させる**



3 **確定キーを押す**

4 **△ または ▽ キーを押し、「ヒョウシトレイセッテイ」を表示させる**

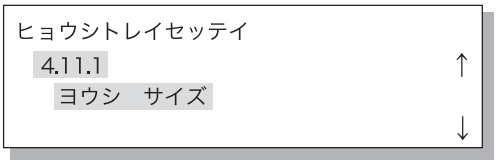


5 **確定キーを押す**

表紙トレイ設定のサブメニューが表示されます。

用紙サイズ

1 **「ヨウシ　サイズ」が表示されていることを確認する**



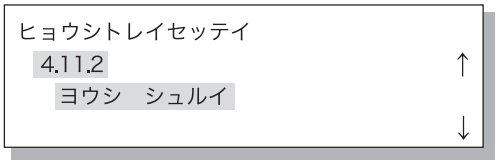
2 **確定キーを押す**

3 **△ または ▽ キーでサイズを選択する**

4 **確定キーを押す**

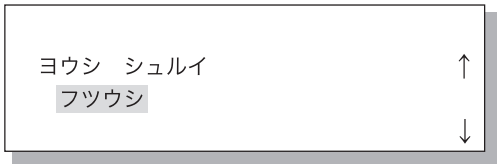
手順 2 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

1 **△または▽キーを押し、「ヨウシ シュルイ」を表示させる**



2 **確定キーを押す**

3 **△または▽キーで種類を選択する**



4 **確定キーを押す**

手順 1 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

メニュー 5　管理情報

用紙種類の登録やメンテナンス、初期設定など、プリンタの基本的な情報を設定します。
ここで設定した内容は、電源の ON/OFF に関係なく、次回設定変更をするまで有効になります。

◎ できること

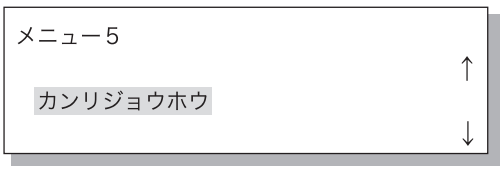
設定できる機能は次のとおりです。

- 5.1 用紙サイズ登録　☞p.2-32
  定形以外のサイズなど、5 種類の用紙サイズを登録できます。
- 5.2 用紙種類登録　☞p.2-33
  プリンタの専用紙、普通紙のほか、任意の用紙など 5 種類の用紙の種類を登録できます。
- 5.3 仕分け用紙トレイ　☞p.2-36
  仕分け用紙の専用トレイを設定します。
- 5.4 カウント表示　☞p.2-37
  今までプリントした枚数を確認できます。
- 5.5 ヘッドメンテナンス　☞p.2-40　「インクカートリッジの交換」☞p.3-16
  以下のような状況のときにインクのヘッド部分のメンテナンスを行います。
  - プリントの一部がカスレる
  - 特定の色が薄いとき
  - 長期間使用しないまたは使用しなかったとき
- 5.6 情報プリント　☞p.2-42
  設定されている内容を一覧でプリントします。
- 5.7 ネットワーク設定　☞p.2-43
  プリンタをネットワークに接続して使用する場合、DHCP、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。
- 5.8 初期設定　☞p.2-44
  スリープの詳細、ブザー音、言語表示、単位表示など、基本的な設定を行います。

管理情報設定への入りかた

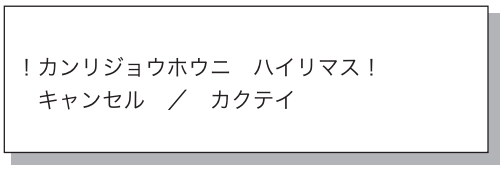
1　メニューキーを押す

2　△ または ▽ キーを押し、「カンリジョウホウ」を表示させる



3　確定キーを押す

確認画面が表示されます。



4　メッセージを確認し、確定キーを押す

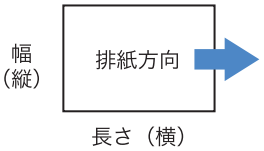
「5.1 用紙サイズ登録」が表示されます。
キャンセルキーを押したときは、手順 2 の画面に戻ります。

5.1 用紙サイズ登録

のし紙など定形以外の 5 種類の用紙サイズを登録できます。
不定形の用紙を使用する場合は、必ず登録してください。
登録された数値は、「4.1.2 給紙台設定」「4.2.2 トレイ 1 設定」「4.3.2 トレイ 2 設定」の用紙サイズに表示されます。
用紙のサイズが登録済みの場合は、登録されている数値が表示されます。

◎ 設定できる用紙サイズの範囲

	幅（縦）	長さ（横）
プリンタ	90 ～ 340mm	148 ～ 550mm
プリンタ（フィニッシャー接続時）	100 ～ 330mm	148 ～ 488mm



- 「4.1.1 給紙台設定」「4.2.1 トレイ 1 設定」「4.3.1 トレイ 2 設定」を行う前に、必ず登録作業をしてください。
- 登録サイズを変更することもできます。
- 登録した用紙サイズを消去するときは、用紙サイズを「000mm× 000mm」に設定します。給紙台またはトレイで登録していた用紙を使用している場合は、「用紙サイズ」の選択項目から削除できません。
- フィニッシャー（オプション）を接続している場合は、使用するフィニッシャーの機能によって使用できる用紙サイズが異なります。詳しくは、「HC5000 ユーザーズマニュアル プリンタドライバ編」を参照してください。

1 **☞p.2-31 の 1 ～ 4 の手順で「カンリジョウホウ」を表示する**

2 **△ または ▽ キーを押し、「ヨウシサイズ　トウロク」が表示されていることを確認する**

```
カンリジョウホウ
  5.1                    ↑
    ヨウシサイズ　トウロク
                         ↓
```

3 **確定キーを押す**

4 **△ または ▽ キーを押し、登録したい番号を表示させる**

```
ヨウシサイズ　トウロク
  5.1.1                  ↑
    サイズ　トウロク１
                         ↓
```

5 **確定キーを押す**

6 **◁ ▷ キーでカーソルを移動させ、△ ▽ キーで用紙サイズを入力する**

```
サイズ　トウロク１                ↑
        タテ×ヨコ
    200 ×  200  mm                ↓
```

7 **確定キーを押す**

設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

5.2 用紙種類登録

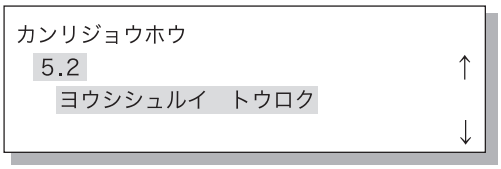
専用紙以外の用紙をお使いで、プリントの品質が悪い、または紙送りがうまくいかない場合に、その用紙に合わせた種類設定と給紙設定を登録します。登録した設定は、「4.2.1 給紙台設定」「4.2.2 トレイ 1 設定」「4.2.3 トレイ 2 設定」の用紙サイズに表示されます。
また、専用紙をお使いの場合でも、使用環境などにより、紙送りがうまくいかない場合などに、設定を変えることができます。
なお、設定を変える場合や、専用紙以外の用紙を登録する際には、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご相談ください。適切な設定内容をアドバイスいたします。

◎ 設定内容

種類登録 1 ～ 5	「5.1 用紙サイズ登録」で新しくサイズを登録した用紙、および専用紙以外の用紙の種類と給紙に必要な情報を登録します。	● 用紙種類表示 「4.1.2」「4.2.2」「4.3.2」の用紙種類を設定するとき、ここで登録した用紙種類を選択できる項目として表示するかどうかを設定します。 ON：項目を表示します。 OFF：項目を表示しません。 ● 用紙種類 用紙の種類を選択することで、画質（カラーマッチング）を決めます。プリントしたい用紙と同等の項目を選択してください。 **プリント時にはプリンタドライバ画面の［メイン設定］タブの［用紙種類］でも同じ項目を指定してください。** ・ HC 普通紙 ・ HC マット紙 ・ 普通紙 ・ はがき（IJ） ・ はがき ● 給紙設定 用紙の厚さを選択します。 ・ はがき ・ 標準 ・ 厚紙 ・ 薄紙 ・ 特殊用紙： あらかじめ設定することができます。詳しくは、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。
HC 普通紙 HC マット紙 普通紙 はがき（IJ） はがき	給紙台やトレイにセットした用紙の給紙がうまくいかない場合、設定している用紙の給紙設定を変更します。	● 給紙設定 用紙の厚さを選択します。 ・ はがき ・ 標準 ・ 厚紙 ・ 薄紙 ・ 特殊用紙： あらかじめ設定することができます。詳しくは、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。

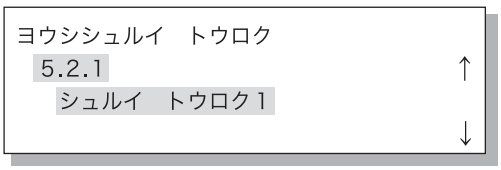
1 **☞p.2-31 の 1 ～ 4 の手順で「カンリジョウホウ」を表示する**

2 **△ または ▽ キーを押し、「ヨウシシュルイ　トウロク」を表示させる**



3 **確定キーを押す**

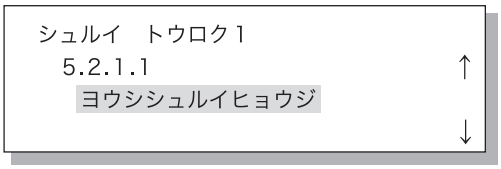
4 **△ または ▽ キーを押し、登録したい番号を表示させる**



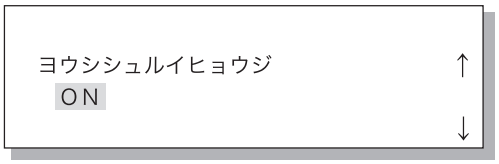
5 **確定キーを押す**

用紙種類表示のサブメニューが表示されます。

6 **「ヨウシシュルイヒョウジ」で確定キーを押す**

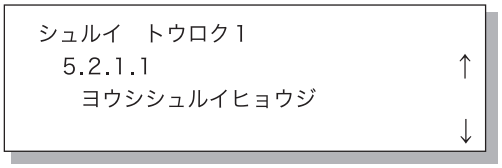


7 **△ または ▽ キーで ON または OFF を選択する**



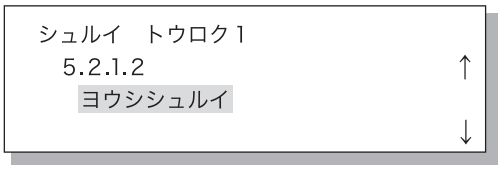
8 **確定キーを押す**

手順 6 の画面に戻ります。



用紙種類を設定します。

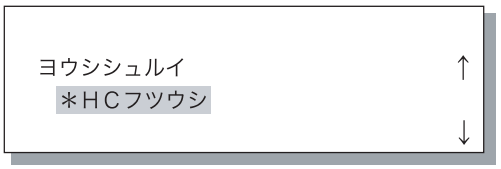
9 **△ または ▽ キーを押し、「ヨウシシュルイ」を表示させる**



10 **確定キーを押す**

用紙種類のサブメニューが表示されます。

11 **△ または ▽ キーで用紙の種類を選択する**

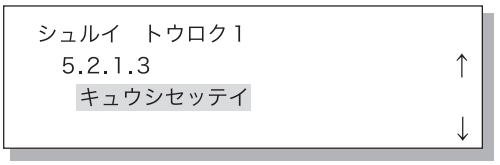


12 **確定キーを押す**

手順 9 の画面に戻ります。

給紙設定を行います。

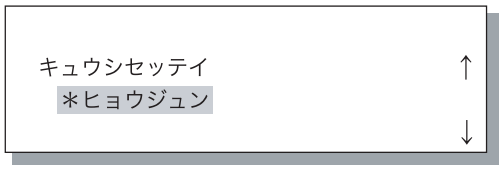
13 **△ または ▽ キーを押し、「キュウシセッテイ」を表示させる**



14 **確定キーを押す**

給紙設定のサブメニューが表示されます。

15 △ または ▽ キーで用紙の種類を選択する



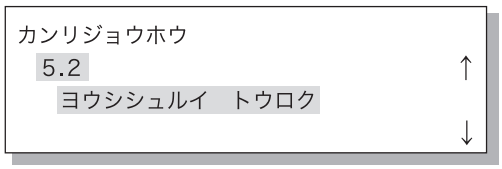
16 確定キーを押す

手順 13 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

HC 普通紙／ HC マット紙／普通紙／はがき（IJ）／はがき

1 ☞p.2-31 の 1 ～ 4 の手順で「カンリジョウホウ」を表示する

2 △ または ▽ キーを押し、「ヨウシシュルイ　トウロク」を表示させる



3 確定キーを押す

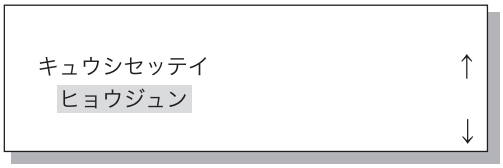
4 △ または ▽ キーを押し、登録したい用紙を表示させる

5 確定キーを押す

給紙設定のサブメニューが表示されます。

給紙設定を行います。

6 確定キーを押す



7 △ または ▽ キーで給紙設定を選択する

8 確定キーを押す

手順 6 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

5.3 仕分け用紙トレイ

仕分けをするとき、仕分け用紙を間に差し込むことができます。どのトレイにセットされた用紙を仕分け用紙として使用するかを指定します。

◎ 設定内容

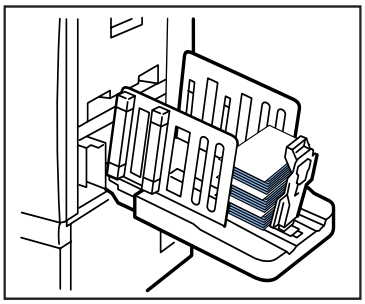
仕分け用紙トレイにセットする用紙は、プリントする用紙とサイズや方向が違っても排出できます。

未使用	仕分け用紙トレイを指定しません。仕分け用紙が入るタイミングで数秒間あけてプリントします。
給紙台	給紙台を仕分け用紙トレイにします。
トレイ 1	トレイ 1 を仕分け用紙トレイにします。
トレイ 2	トレイ 2 を仕分け用紙トレイにします。

- **仕分け用紙トレイは、仕分け専用のトレイです。「メニュー 6　トレイ選択」の「オート」および「メニュー 4.4　連続給紙」が設定されている場合、プリントするトレイの対象にはなりません。**
- **プリント中に仕分け用紙トレイの用紙がなくなると、用紙なしエラーが表示され、プリントは一時停止します。**
- **フィニッシャー（オプション）を接続している場合は、フィニッシャーの「表紙付け機能」を使用して、仕分け用紙トレイにセットした用紙をおもて表紙やうら表紙として付けることができます。その場合は、表紙にする用紙をセットしたトレイを指定してください。「未使用」を指定していると、プリント時にエラーが表示されます。**

こんなときに注意

プリントするサイズよりも大きな用紙、方向が違う用紙のトレイを指定すると、排紙トレイのフェンスが大きな用紙に合わせて開くため、プリントの紙揃えが悪くなることがあります。



1　☞p.2-31 の 1 ～ 4 の手順で「カンリジョウホウ」を表示する

2　△ または ▽ キーを押し、「シワケヨウシトレイ」を表示させる

```
カンリジョウホウ
 5.3                    ↑
  シワケヨウシトレイ
                        ↓
```

3　確定キーを押す

仕分け用紙トレイのサブメニューが表示されます。

4　△ または ▽ キーで設定する

```
シワケヨウシトレイ      ↑
 ＊ミシヨウ
                        ↓
```

5　確定キーを押す

手順 2 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

5.4 カウント表示

今までプリントした枚数を確認できます。

- 排紙台に排出された枚数を表示します。
- トータルカウントの場合は、片面を 1 カウント（1 枚）とし、両面で 2 カウント（2 枚）となります。
- お使いの機能によっては、用紙の搬送経路が異なるため、片面プリントでも 2 カウント（2 枚）となることがあります。
- 詳細カウントの場合は、片面 / 両面にかかわらず 1 カウント（1 枚）となります。

◎ 設定内容

5.4.1 トータルカウント	今までプリントされたすべての枚数を表示します。 仕分け用紙などプリントしない用紙もカウントされます。
5.4.3 ショウサイカウント	用紙サイズ、片面 / 両面、カラー / 白黒などの条件が決まったカウント番号を指定し、その枚数を表示します。 仕分け用紙など、プリントされない用紙はカウントされません。

5.4.2 は表示されません。

詳細カウントでは、以下のような条件の組み合わせでプリント枚数を表示します。
用紙サイズ No. は次の通りです。

NO.1	A3
No.2	A4
No.3	B4
No.4	B5
No.5	はがき
No.6	不定形サイズ（給紙台使用時：320mm 以上、トレイ 1/2 使用時：316mm 以上）
No.7	不定形サイズ（給紙台使用時：320mm 未満、トレイ 1/2 使用時：316mm 未満）

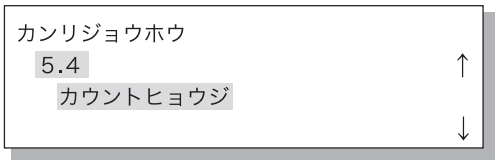
カウント NO	用紙サイズ	片面 / 両面	カラー / 白黒
01	サイズ No.1	片面	カラー
02	サイズ No.2		
03	サイズ No.3		
04	サイズ No.4		
05	サイズ No.5		
06	サイズ No.6		
07	サイズ No.7		
08	サイズ No.1	両面	
09	サイズ No.2		
10	サイズ No.3		
11	サイズ No.4		
12	サイズ No.5		
13	サイズ No.6		
14	サイズ No.7		

カウント NO	用紙サイズ	片面 / 両面	カラー / 白黒
15	サイズ No.1	片面	白黒
16	サイズ No.2		
17	サイズ No.3		
18	サイズ No.4		
19	サイズ No.5		
20	サイズ No.6		
21	サイズ No.7		
22	サイズ No.1	両面	
23	サイズ No.2		
24	サイズ No.3		
25	サイズ No.4		
26	サイズ No.5		
27	サイズ No.6		
28	サイズ No.7		

5.4.1 トータルカウント

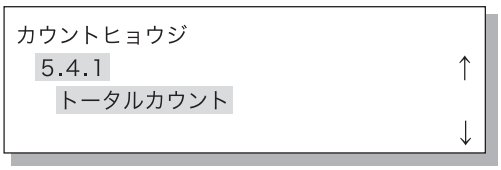
1 **☞p.2-31 の 1 ～ 4 の手順で「カンリジョウホウ」を表示する**

2 **△ または ▽ キーを押し、「カウントヒョウジ」を表示させる**



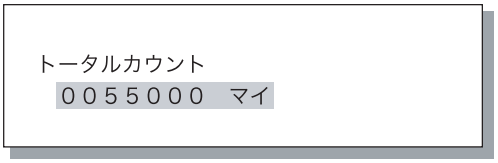
3 **確定キーを押す**

4 **△ または ▽ キーを押し、「トータルカウント」を表示させる**



5 **確定キーを押す**

トータルカウントの枚数が表示されます。

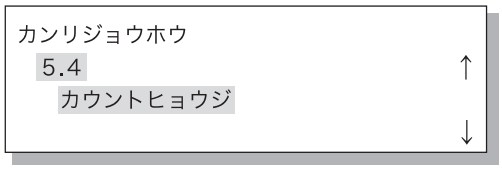


6 **確認したら、確定キーを押す**

手順 4 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

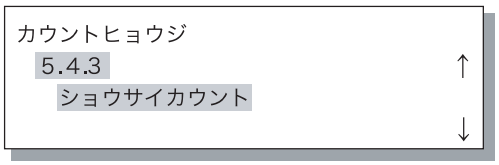
1 **☞p.2-31 の 1 ～ 4 の手順で「カンリジョウホウ」を表示する**

2 **△ または ▽ キーを押し、「カウントヒョウジ」を表示させる**



3 **確定キーを押す**

4 **△ または ▽ キーを押し、「ショウサイカウント」を表示させる**

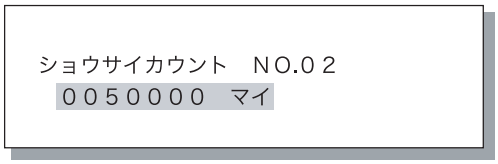


5 **確定キーを押す**

6 **◁ ▷ キーでカーソルを移動させ、△ ▽ キーで詳細カウントのカウント NO を入力する**

7 **入力したら、確定キーを押す**

詳細カウントの枚数が表示されます。



8 **確認したら、確定キーを押す**

手順 4 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

5.5 ヘッドメンテナンス

プリントヘッド部分のメンテナンスを行います。また、クリーニングを自動的に行うクリーニングのサイクルを設定することもできます。プリントの一部がかすれる、白い線が出る、特定の色が薄いなど画質に問題があるときや長期間使用しないまたは使用しなかったときに行います。
工場出荷時はクリーニングサイクルが「500 ページ」に設定されています。

◎ 設定内容

5.5.4 ストロングクリーニング	ワーニングメッセージが表示されたり、実際にヘッド部分がつまったりしたときに行う、ノーマルクリーニングよりも強力なクリーニングです。K（ブラック）、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）のヘッド部分をそれぞれ指定して行います。
5.5.5 ノーマルクリーニング	ヘッド部分のつまりを防ぐためのクリーニングです。K（ブラック）、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）4 色のヘッドクリーニングを同時に行います。
5.5.6 クリーニングサイクル	一定のプリント枚数ごとに自動的にノーマルクリーニングを行うよう設定します。 クリーニングを行うプリント枚数のタイミングを 100 ～ 3000 から 100 枚単位で選択できます。

5.5.1 ～ 5.5.3 は表示されません。

5.5.4 ストロングクリーニング

1 **☞p.2-31 の 1 ～ 4 の手順で「カンリジョウホウ」を表示する**

2 **△ または ▽ キーを押して「ヘッドメンテナンス」を表示させる**

```
カンリジョウホウ
  5.5                    ↑
    ヘッドメンテナンス
                         ↓
```

3 **確定キーを押す**

4 **△ または ▽ キーを押して「ストロング　クリーニング」を表示させる**

```
ヘッドメンテナンス
  5.5.4                  ↑
    ストロング　クリーニング
                         ↓
```

5 **確定キーを押す**

6 **クリーニングを行うヘッドを △ または ▽ キーを押して選択する**

```
  ストロング　クリーニング          ↑
    K
                                   ↓
```

7 **確定キーを押す**

```
クリーニング　シマス
  キャンセル　／　カクテイ
```

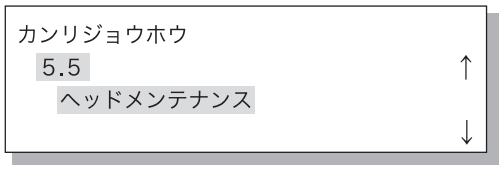
8 **メッセージを確認したら、確定キーを押す**

「クリーニングチュウ（K）」とメッセージが点滅し、クリーニングが行われます。クリーニングが終了すると手順 4 の画面に戻ります。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

5.5.5 ノーマルクリーニング

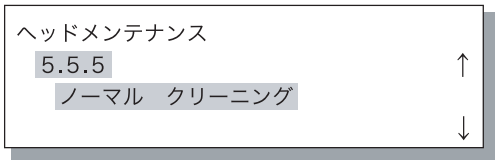
1 ☞p.2-31 の 1 ～ 4 の手順で「カンリジョウホウ」を表示する

2 △ または ▽ キーを押して「ヘッドメンテナンス」を表示させる

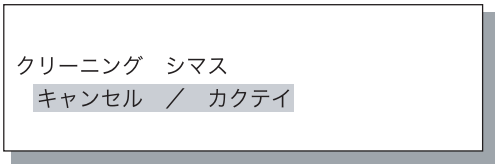


3 確定キーを押す

4 △ または ▽ キーを押して「ノーマル　クリーニング」を表示させる



5 確定キーを押す



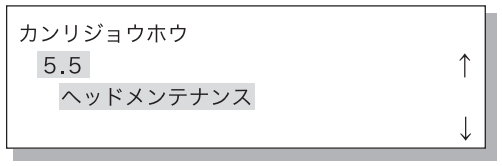
6 メッセージを確認したら、確定キーを押す

「クリーニングチュウ」とメッセージが点滅し、クリーニングが行われます。クリーニングが終了すると手順 4 の画面に戻ります。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

5.5.6 クリーニングサイクル

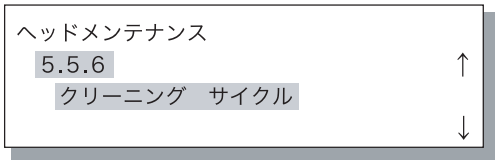
1 ☞p.2-31 の 1 ～ 4 の手順で「カンリジョウホウ」を表示する

2 △ または ▽ キーを押して「ヘッドメンテナンス」を表示させる



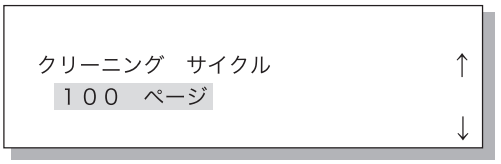
3 確定キーを押す

4 △ または ▽ キーを押して「クリーニング　サイクル」を表示させる



5 確定キーを押す

6 クリーニングを行うサイクルを △ または ▽ キーを押して選択する



7 確定キーを押す

手順 4 の画面に戻ります。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

5.6 情報プリント

設定されている内容を一覧でプリントします。プリンタの現在の設定状況、使用可能メモリー、システムのバージョンなどの情報を確認できます。

情報プリントの制約

- 情報プリントの操作は、「データ　マチ」が表示されているなど必ずプリントをしていない状態で行います。
- 出力用紙サイズは A4 です。給紙台に用紙がセットされている場合は、用紙サイズに関係なく給紙台にセットされた用紙にプリントします。
  「ヨウシナシ」と表示されてプリントできないときは、給紙台に用紙をセットしてください。

1 ☞p.2-31 の 1 ～ 4 の手順で「カンリジョウホウ」を表示する

2 △ または ▽ キーを押し、「ジョウホウ　プリント」を表示させる

```
カンリジョウホウ
  5.6                          ↑
    ジョウホウ　プリント
                               ↓
```

3 確定キーを押す

4 △ または ▽ キーを押し、「システムジョウホウ」を表示させる

```
ジョウホウ　プリント
  5.6.1                        ↑
    システムジョウホウ
                               ↓
```

5 確定キーを押す

6 メッセージを確認したら、確定キーを押す

設定を終了するときはキャンセルキーを押します。

```
プリント　シマス               ↑
  キャンセル　／　カクテイ
                               ↓
```

7 プリント / 一時停止キーを押す

設定されている内容の一覧がプリントされます。

5.7 ネットワーク設定

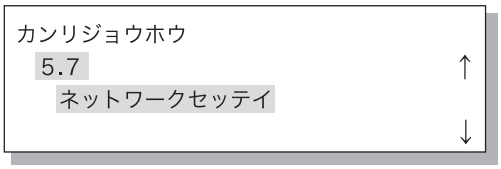
プリンタがネットワークに接続されている場合、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを登録します。設定した内容は電源を入れた後に反映されます。詳しくはネットワーク担当者にご確認ください。

◎ 設定内容

DHCP ON	IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイはプリンタコントローラの設定値をそのまま設定、登録します。	
DHCP OFF	以下の 3 つの設定値を操作パネルから設定します。	
	IP アドレス	プリンタの IP アドレスを入力します。「000.000.000.000」～「255.255.255.255」の範囲で設定します。
	サブネットマスク	サブネットマスクアドレスを入力します。「000.000.000.000」～「255.255.255.255」の範囲で設定します。
	デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイアドレスを入力します。「000.000.000.000」～「255.255.255.255」の範囲で設定します。

1 ☛p.2-31 の 1 ～ 4 の手順で「カンリジョウホウ」を表示する

2 △ または ▽ キーを押し、「ネットワークセッテイ」を表示させる



3 確定キーを押す

DHCP を設定します。

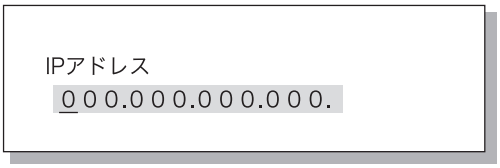
4 △ または ▽ キーで ON または OFF を設定する

5 確定キーを押す

ON を選択した場合は、手順 11 へ進みます。

IP アドレスを入力します。

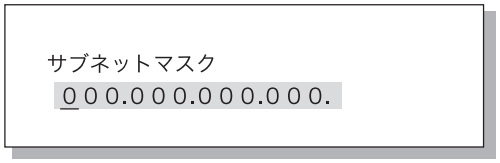
6 ◁ ▷ △ ▽ キーでカーソルを移動させ、△ ▽ キーで数値を入力する



7 確定キーを押す

サブネットマスクアドレスを入力します。

8 ◁ ▷ △ ▽ キーでカーソルを移動させ、△ ▽ キーで数値を入力する



9 確定キーを押す

デフォルトゲートウェイアドレスを入力します。

10 **キーでカーソルを移動させ、キーで数値を入力する**

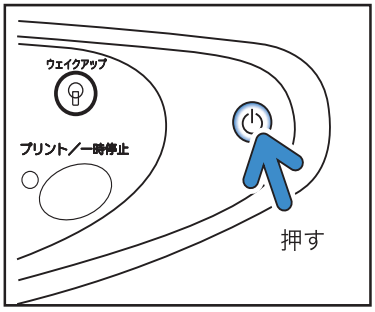
デフォルトゲートウェイ
000.000.000.000.

11 **メッセージを確認したら、確定キーを押す**

トウロク　シマス
キャンセル　／　カクテイ

12 **メッセージを確認したら、電源キーを押して電源を切り、入れ直す**

「シュウリョウチュウ」のメッセージが消えて、電源キーがオレンジ色になってから、再度電源キーを押して電源を「ON」にしてください。



5.8 初期設定

スリープの詳細、ブザー音、言語表示、単位表示、プリントヘッドのノズルの初期化など、基本的な設定を行います。**太字**は、工場出荷時の設定です。

◎ 設定内容

5.8.1 スリープ	プリンタを一定時間使用しないとき、消費電力を抑えるためのスリープ状態にするかしないかを設定します。 **ON**：スリープを設定します。 OFF：スリープを設定しません。
5.8.2 スリープ時間	スリープ機能を「ON」に設定しているとき、スリープ状態になるまでの時間を設定します。 1 ～ 99 分の間で設定できます。 **5**
5.8.3 キー操作　ブザー	操作パネルのキーを押したときなどにブザーを鳴らすかどうかを設定します。 **ON**：ブザーを鳴らします。 OFF：ブザーを鳴らしません。
5.8.4 状態　ブザー	プリントが終了したときなどにブザーを鳴らすかどうかを設定します。 **ON**：ブザーを鳴らします。 OFF：ブザーを鳴らしません。
5.8.5 エラー　ブザー	紙づまりなど、エラーが発生したときにブザーを鳴らすかどうかを設定します。 **ON**：ブザーを鳴らします。 OFF：ブザーを鳴らしません。
5.8.6 データ保持	プリントが終了したあと、次のジョブまで最後の 1 ページ分のデータをメモリー内に保持するかどうかを設定します。 ON：データを保持します。 **OFF**：データを保持しません
5.8.7 言語表示	操作パネルに表示される言語を設定します。 **ニホンゴ**／エイゴ／ベイゴ／フランスゴ／ドイツゴ／イタリアゴ／スペインゴ

5.8.8 単位表示	操作パネルに表示される長さの単位や用紙サイズ表示を設定します。 **mm**：mm 単位で表示します。 inch：インチ単位で表示します。
5.8.50 ヘッドリカバリー	長期間使用しない場合などに、プリントヘッドのノズルを強力にクリーニングし、ノズルを初期状態にします。

5.8.9 ～ 5.8.49 は表示されません。

5.8.1 スリープ

1 **☞p.2-31 の 1 ～ 4 の手順で「カンリジョウホウ」を表示する**

2 **△ または▽ キーを押し、「ショキセッテイ」を表示させる**

```
カンリジョウホウ
  5.8                    ↑
    ショキセッテイ
                         ↓
```

3 **確定キーを押す**

4 **△ または▽ キーを押し、「スリープ」を表示させる**

```
ショキセッテイ
  5.8.1                  ↑
    スリープ
                         ↓
```

5 **確定キーを押す**

6 **△ または▽ キーを押して ON または OFF を選択する**

```
スリープ                 ↑
＊ＯＮ
                         ↓
```

7 **確定キーを押す**

手順 4 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

5.8.2 スリープ時間

1 **「5.8.1 スリープ」☞p.2-45 の 1 ～ 3 の手順で「ショキセッテイ」を表示する**

2 **△ または▽ キーを押し、「スリープジカン」を表示させる**

```
ショキセッテイ
  5.8.2                  ↑
    スリープジカン
                         ↓
```

3 **確定キーを押す**

4 **◁ ▷ キーでカーソルを移動させ、△ ▽ キーでスリープ時間を入力する**

```
スリープジカン
  １０　フン
```

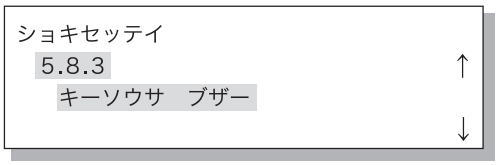
5 **確定キーを押す**

手順 2 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します

5.8.3 キー操作ブザー

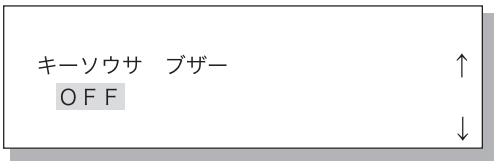
1 **「5.8.1 スリープ」☞p.2-45 の 1 ～ 3 の手順で「ショキセッテイ」を表示する**

2 **△ または▽ キーを押し、「キーソウサ　ブザー」を表示させる**



3 **確定キーを押す**

4 **△ または▽ キーを押して ON または OFF を選択する**



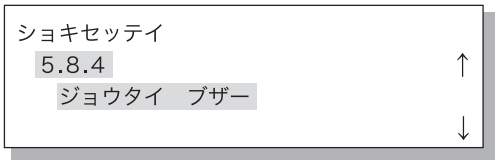
5 **確定キーを押す**

手順 2 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

5.8.4 状態ブザー

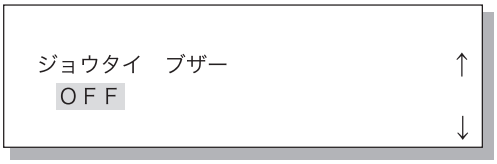
1 **「5.8.1 スリープ」☞p.2-45 の 1 ～ 3 の手順で「ショキセッテイ」を表示する**

2 **△ または▽ キーを押し、「ジョウタイ　ブザー」を表示させる**



3 **確定キーを押す**

4 **△ または▽ キーを押して ON または OFF を選択する**



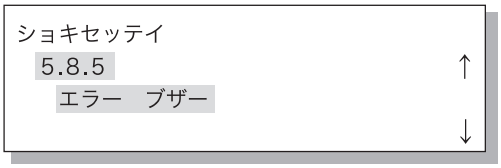
5 **確定キーを押す**

手順 2 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

5.8.5 エラーブザー

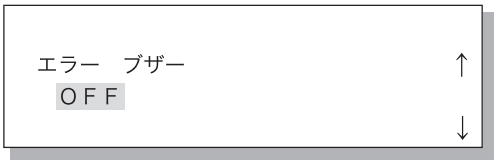
1 **「5.8.1 スリープ」☞p.2-45 の 1 ～ 3 の手順で「ショキセッテイ」を表示する**

2 **△ または▽ キーを押し、「エラーブザー」を表示させる**



3 **確定キーを押す**

4 **△ または▽ キーを押して ON または OFF を選択する**



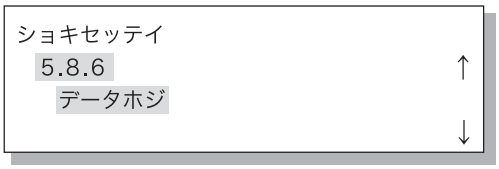
5 **確定キーを押す**

手順 2 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

5.8.6 データ保持

1 「5.8.1 スリープ」☞p.2-45 の 1 ～ 3 の手順で「ショキセッテイ」を表示する

2 △ または ▽ キーを押し、「データホジ」を表示させる



3 確定キーを押す

4 △ または ▽ キーを押して ON または OFF を選択する

5 確定キーを押す

手順 2 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

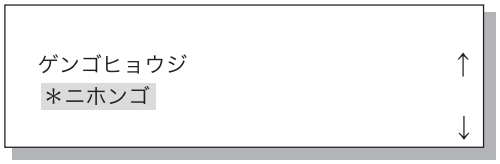
5.8.7 言語表示

1 「5.8.1 スリープ」☞p.2-45 の 1 ～ 3 の手順で「ショキセッテイ」を表示する

2 △ または ▽ キーを押し、「ゲンゴヒョウジ」を表示させる

3 確定キーを押す

4 △ または ▽ キーを押して選択する



5 確定キーを押す

手順 2 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

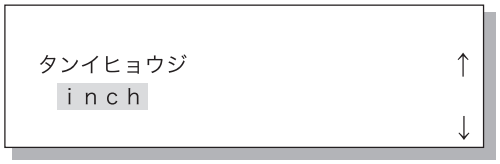
5.8.8 単位表示

1 「5.8.1 スリープ」☞p.2-45 の 1 ～ 3 の手順で「ショキセッテイ」を表示する

2 △ または ▽ キーを押し、「タンイヒョウジ」を表示させる

3 確定キーを押す

4 △ または ▽ キーを押して選択する

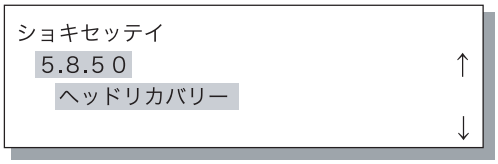


5 確定キーを押す

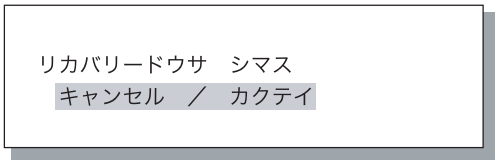
手順 2 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

1 **「5.8.1 スリープ」☞p.2-45 の 1 ～ 3 の手順で「ショキセッテイ」を表示する**

2 **△ または ▽ キーを押し、「ヘッドリカバリー」を表示させる**



3 **確定キーを押す**



4 **メッセージを確認したら、確定キーを押す**

「クリーニングチュウ」とメッセージが点滅し、クリーニングが行われます。クリーニングが終了すると、手順 2 の画面に戻ります。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

メニュー 6　トレイ選択

パソコンから受信したデータの用紙条件と一致した条件の給紙台またはトレイがない場合、プリントは開始されません。その場合に、使用する用紙をセットしてある給紙台またはトレイを指定して、強制的にプリントすることができます。

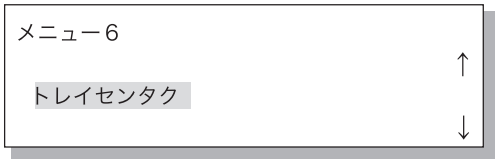
◎ 選択できるトレイ

選択できるトレイは以下のとおりです。

オート	通常は「オート」に設定しておきます。パソコンから受信したデータの条件に合ったトレイを、自動的に選択します。
給紙台	給紙台の用紙にプリントします。
トレイ 1	トレイ 1 の用紙にプリントします。
トレイ 2	トレイ 2 の用紙にプリントします。

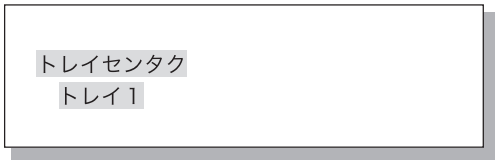
1　メニューキーを押す

2　△または▽キーを押し、「トレイセンタク」を表示させる



3　確定キーを押す

4　△または▽キーを押してトレイを選択する



5　確定キーを押す

手順 2 の画面に戻り、引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。

メニュー 7　ジョブクリア

現在プリントしているジョブを中断して消去します。

ジョブとは

パソコンからプリンタへデータが送られると、プリンタ内のコントローラが画像のデータを処理し、FORCEJET™ エンジンへプリント内容を伝えます。この処理されたデータを「ジョブ」といいます。「ジョブ」は、以下のようなデータを指しています。

- 一時停止中のデータ
- 保持データ呼出で刷り増し設定をしたデータ

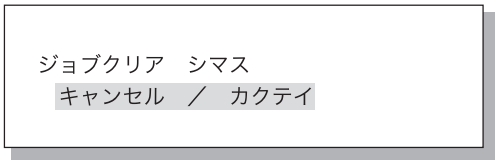
1　メニューキーを押す

2　△ または ▽ キーを押し、「ジョブクリア」を表示させる

3　確定キーを押す

4　メッセージを確認し、クリアするときは確定キーを押す

「ショリチュウ」と表示され、データがクリアされます。キャンセルキーを押したときは手順 2 の画面に戻ります。
手順 2 の画面に戻ったら、引き続き設定を行うことができます。
設定を終了するときはプリント / 一時停止キーを押します。



第３章　こんなときには

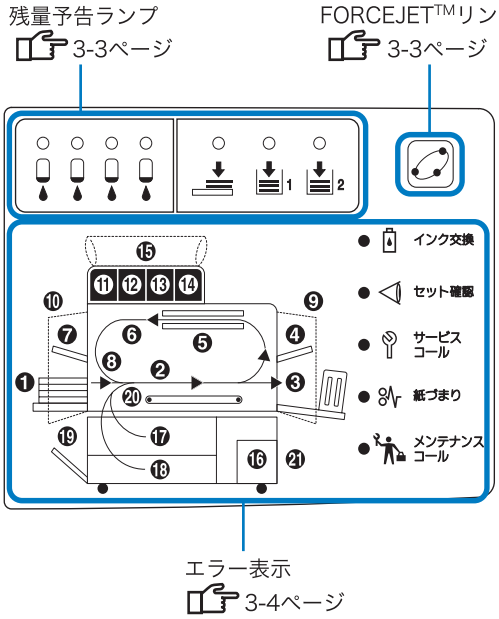
操作パネルにエラーメッセージが表示されたり、マークが点灯したときの原因や対処方法と、つまった用紙の取り除き方やインクカートリッジの交換方法について説明しています。

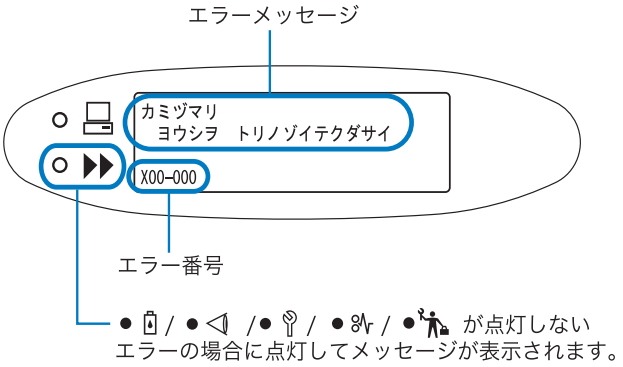
セット・エラー表示の説明

プリント中に何らかのトラブルが起こるとプリントが止まり、操作パネルのマークが点灯したり、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。
マークや番号で場所を確認し、ディスプレイのメッセージで詳しい内容を知ることができます。

本体パネルのマーク表示
該当する部分や種類を示すマークが点灯します。紙づまりやインクカートリッジの交換などがあります。

エラーメッセージ
ディスプレイにエラーの内容と解除方法が表示されます。

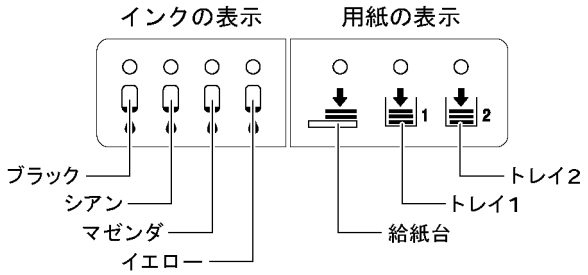




パネルの 21 が点灯した場合は、フィニッシャー（オプション）側でエラーが発生しています。詳しくは、「HC フィニッシャー メンテナンスガイド」を参照してください。

残量予告ランプ

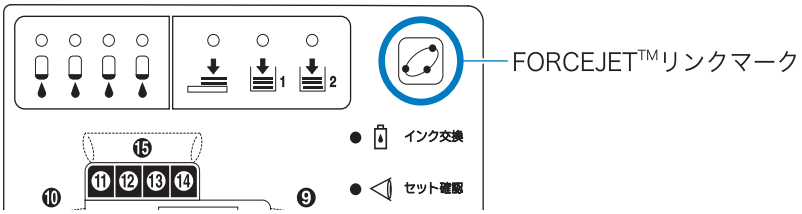
トレイ、給紙台の用紙やインクの量が残り少なくなる（残り約 30%）と、残量予告ランプが点灯します。
点灯したあともそのままプリントを続けることができます。インクがなくなると、インク交換となくなったカートリッジの番号が点灯し、プリントが停止します。用紙がなくなると、メッセージディスプレイに用紙補給のメッセージが表示され、プリントが停止します。表示が点灯したら、いつでも交換できるようインクカートリッジや用紙を準備してください。
「インクカートリッジの交換」☞p.3-16　「用紙のセット」☞p.1-10



インクカートリッジ、用紙は当社の Web サイトからも購入できます。
詳しくは、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）へお問い合わせください。

FORCEJET™ リンクマーク

HC5000 シリーズでは、プリントコントローラで最適なデータ処理とカラーマネジメントを行い、プリントの速さ、用紙のサイズや紙質、インクの量などを総合的に調整して高速でのプリントを実現しています。FORCEJET™ エンジンでこれらプリントに関わる各部が正常に機能しているかどうかを表すのが、FORCEJET™ リンクマークです。



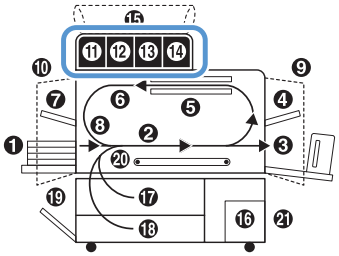
インクカートリッジの未セットなど適正なカラーマネジメントが行えない場合は、FORCEJET™ リンクマークが消灯します。このときは消耗品の状態や設定内容などを確認してください。

◎ エラー番号について

ディスプレイに表示されるメッセージの下には、アルファベットと数字からなるエラー番号が表示されています。エラー番号の頭文字で、エラーの種類を見分けることができます。
エラー番号は、エラーが起きた場所によって桁数が異なります。

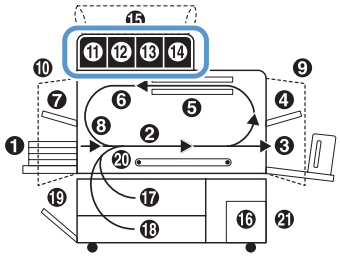
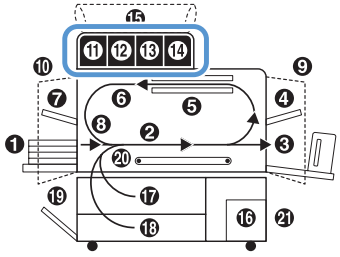
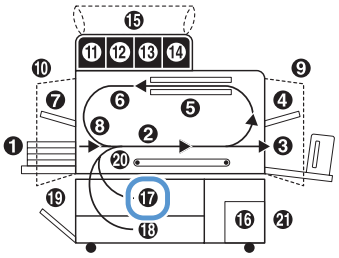
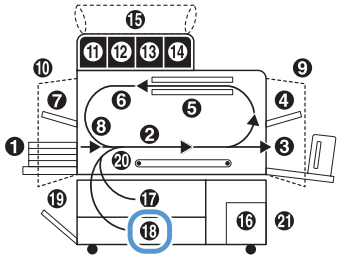
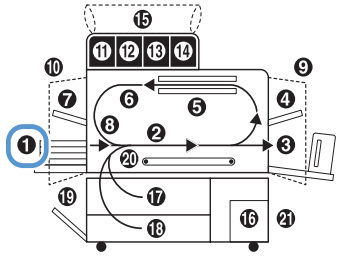
エラー番号の例	内容	
S00-000	サービスコール	サービス担当者による点検または修理が必要なときに表示されます。 お買い求めの販売会社（あるいは保守・サービス会社）に連絡してください。
X00-000 H00	ジャムエラー	プリンタ内で用紙がつまっているときに表示されます。
X00-000 F00	ジャムエラー	フィニッシャー（オプション）内で用紙がつまっているときに表示されます。 詳しくは、「HC フィニッシャー メンテナンスガイド」を参照してください。
Y00-000	インク交換エラー	インクがなくなったときに表示されます。
Z00-000	セット確認エラー	カバーなどがきちんと閉まっていないときに表示されます。
W00-000	ワーニング	各種の警告メッセージが表示されます。
M00-000	メンテナンスコール	本機のメンテナンスが必要なとき表示されます。 お買い求めの販売会社（あるいは保守・サービス会社）に連絡してください。

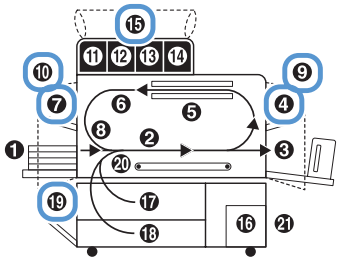
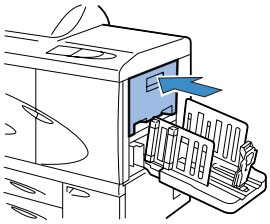
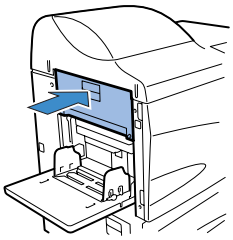
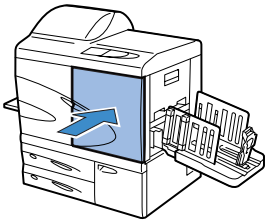
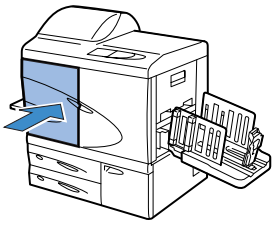
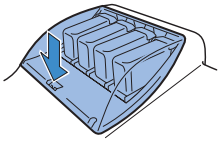
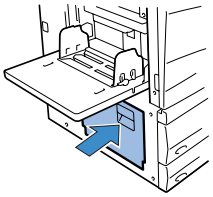
Y00-000： インク交換エラー

点灯場所	メッセージ	対処方法
	インクナシ カートリッジヲ コウカンシテクダサイ	インクカートリッジのインクがなくなりました。新しいインクカートリッジをセットしてください。 ☞p.3-16

Z00-000：セット確認エラー

カバーがきちんと閉まっていません。または、インクカートリッジや給紙トレイが正しくセットされていません。場所を確認して適切な対処を行い、カバーを閉めてください。

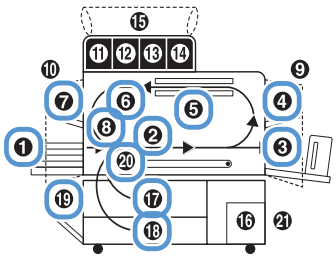
点灯場所	メッセージ	対処方法
	インクカートリッジナシ カートリッジヲ セットシテクダサイ	インクカートリッジが正しくセットされていません。確実に差し込まれているか確認してください。 ☞p.3-16
	インクカートリッジエラー カートリッジヲ カクニンシテクダサイ	インクカートリッジの色が違っているか、形の合わないカートリッジをセットしています。場所を確認して、カートリッジをセットし直してください。 ☞p.3-16
	トレイ１オープン トレイ１ヲ　カクニンシテクダサイ	トレイ 1 がきちんと閉まっていません。確実に閉めてください。
	トレイ２オープン トレイ２ヲ　カクニンシテクダサイ	トレイ 2 がきちんと閉まっていません。確実に閉めてください。
	キュウシダイエラー キュウシダイヲ カクニンシテクダサイ	給紙台がきちんとセットされていません。確認してください。

<table>
<tr><th>点灯場所</th><th>メッセージ</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>  </td><td>カバーオープン
カバーヲ　シメテクダサイ</td><td>カバーがきちんと閉まっていません。ランプが点灯している場所を確認して、確実に閉めてください。</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">④搬送右上カバー
 
⑦搬送左上カバー
 
⑨前カバー（右）
 
⑩前カバー（左）
 
⑮インクカバー
 
⑲搬送左下カバー
  </td></tr>
</table>

S00-000：サービスコール

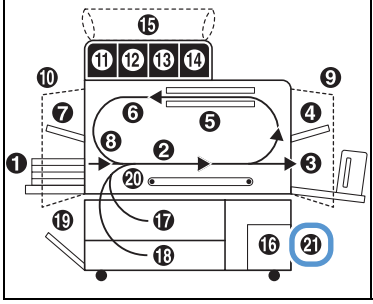
点灯場所	メッセージ	対処方法
（点灯なし）	サービスコール デンゲンヲ　イレナオスカ サービスニ　レンラクシテクダサイ	プリンタでエラーが発生しました。電源を入れ直しても同じ表示が出るときは、販売会社（あるいは保守・サービス会社）に連絡してください。 このとき、メッセージディスプレイに表示されているエラー番号も連絡してください。 ☞p.3-4

X00-000 H00：紙づまりエラー

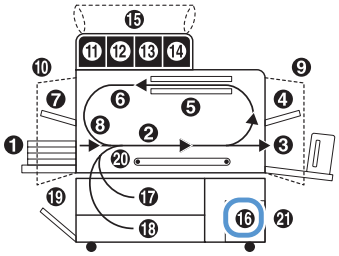
点灯場所	メッセージ	対処方法
	カミヅマリ ヨウシヲ　トリノゾイテクダサイ クウソウ ヨウシヲ　トリノゾイテクダサイ ジュウソウ ヨウシヲ　トリノゾイテクダサイ	プリンタ内部で用紙がつまっているか、空送または重送しています。ランプが点灯している場所を確認して、用紙を取り除いてください。 ☞p.3-10

X00-000 F00：紙づまりエラー

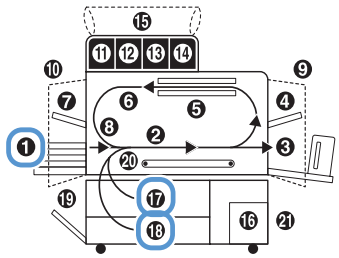
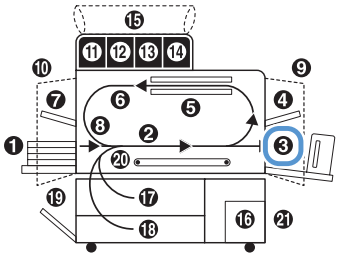
フィニッシャー（オプション）を接続している場合にだけ表示されます。

点灯場所	メッセージ	対処方法
	カミヅマリ ヨウシヲ　トリノゾイテクダサイ	フィニッシャー（オプション）内部で用紙がつまっています。表示されている場所を確認して用紙を取り除いてください。 詳しくは、「HC フィニッシャー メンテナンスガイド」を参照してください。

M00-000：メンテナンスコール

点灯場所	メッセージ	対処方法
	クリーニングインクタンクノ コウカンジキデス	クリーニングインクタンクがほぼ一杯になっています。販売会社（あるいは保守・サービス会社）に連絡してください。
（点灯なし）	（メッセージなし）	メンテナンスコールランプだけが点灯します。メンテナンスの時期がきました。お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）に連絡してください。
（点灯なし）	インクジョウホウノ コウシンガ ヒツヨウデス	セットされているインクに対応したカラープロファイルがありません。販売会社（あるいは保守・サービス会社）に連絡してください。

W00-000：○ ▶▶ ワーニング

点灯場所	メッセージ	対処方法
	ヨウシナシ ヨウシヲ　セットシテクダサイ	用紙、仕分け用紙がなくなりました。用紙を補給してください。「用紙のセット」☞p.1-10
	ヨウシナシ シワケトレイニ　ヨウシヲ セットシテクダサイ	仕分けトレイの用紙が無くなったか、プリンタドライバで指示したときの用紙サイズと一致する用紙がセットされていません。用紙をセットしてください。
	ヨウシナシ（サイズ） シワケトレイニ　ヨウシヲ セットシテクダサイ	
	ハイシダイヲ　カクニンシテクダサイ	オート排紙台のフェンスが正しくセットされていません。 オート排紙台を確認してください。

点灯場所	メッセージ	対処方法
（点灯なし）	コントローラノHDDガ イッパイデス	コントローラ部のハードディスクの容量が一杯です。ハードディスク内のデータ（ホールドデータなど）を確認し、不要なジョブなどを削除してください。
（点灯なし）	クリーニングヲ ジッコウシテクダサイ	システム的にクリーニングが必要な状態です。ノーマルクリーニングを実行してください。
（点灯なし）	ヨウシナシ（サイズ） ガイトウスル　ヨウシヲ セットシテクダサイ ヨウシナシ（シュルイ） ガイトウスル　ヨウシヲ セットシテクダサイ	給紙台またはトレイにプリンタドライバからプリント指示した時の用紙サイズ、種類に一致する用紙がセットされていません。用紙をセットしてから、プリンタのパネルから「メニュー 6 トレイ選択」より、用紙をセットしたトレイを指示してください。 「用紙がセットされているのに「ヨウシナシ」エラーが出る」 ☞p.3-21

用紙がつまった

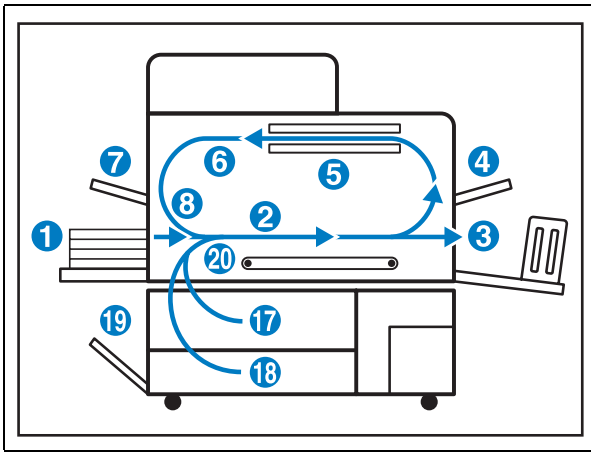
用紙がプリンタ内部でつまったときや、給紙できなかったときは、プリントが止まり、紙づまりが点灯してつまった箇所の番号が点灯します。つまった用紙を取り除き、プリントを再開します。本機は高速でプリントするため、一度に複数の箇所で用紙がつまることがあります。そのときはすべての箇所の用紙を取り除いてください。

フィニッシャー（オプション）を接続していて、フィニッシャー内で紙づまりが発生したとき（パネルの 21 が点灯したとき）は、「HC フィニッシャー メンテナンスガイド」を参照してください。

つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片を残さないようにご注意ください。

◎ 紙づまり位置

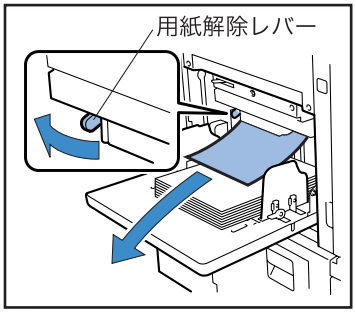
表示される場所の詳細は次のとおりです。詳しい手順は参照先のページをお読みください。



発生位置	参照ページ
①給紙台	☞p.3-10
②搬送ローラー上	☞p.3-11
③排紙部	☞p.3-11
④搬送ユニット右上カバー	☞p.3-12
⑤両面搬送ユニット	☞p.3-12
⑥⑦⑧搬送ユニット左	☞p.3-13
⑰⑱⑲トレイ 1、2	☞p.3-14
⑳搬送ユニット	☞p.3-15

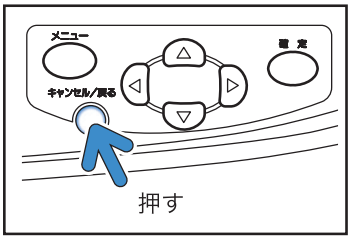
① 給紙台の紙づまり

1 **給紙側の用紙解除レバーを押しながら、用紙を取り除く**



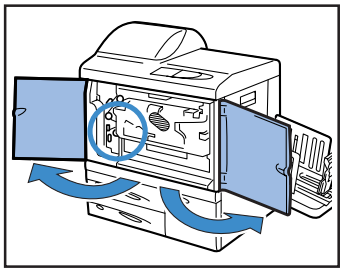
2 **キャンセル / 戻るキーを押す**

紙づまりのエラーが解除されます。

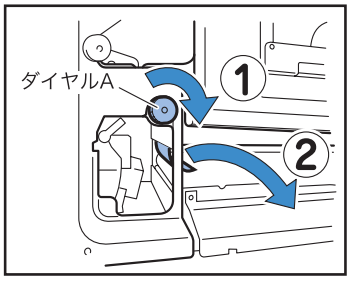


② 搬送ローラーの紙づまり

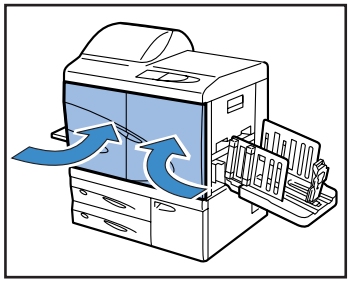
1 **前カバーを開ける**



2 **ダイヤル A を回して、搬送ローラー側から用紙を取り除く**



3 **前カバーを閉める**

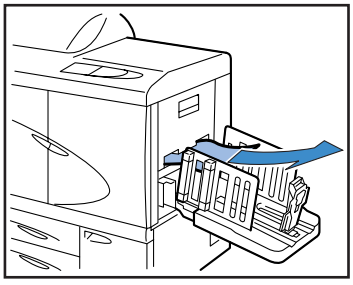


③ 排紙部の紙づまり

1 **つまっている用紙を引き出して取り除く**

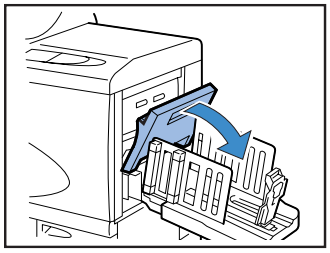
排紙台側からつまっている用紙を引き出します。

引き出しにくい場合は、無理に引き出すと、用紙が破れてしまうため、前カバーを開けて、搬送ローラー側から取り出してください。

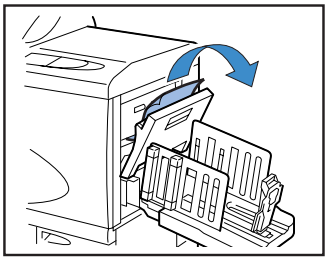


④ 搬送ユニット右上カバーの紙づまり

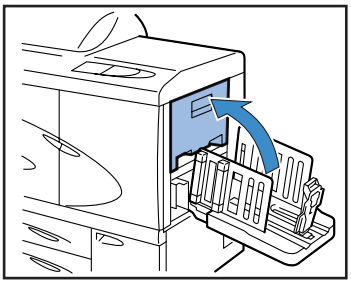
1 **右側のカバーを開ける**



2 **用紙を取り除く**

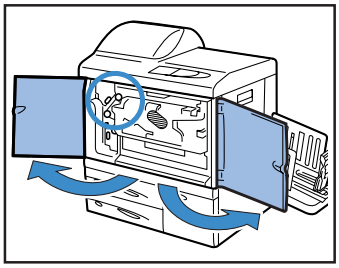


3 **右側のカバーを閉める**

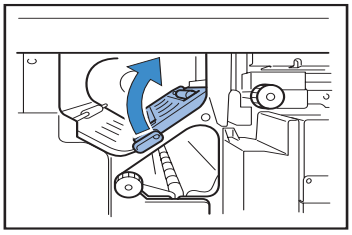


⑤ 両面搬送ユニットの紙づまり

1 **前カバーを開ける**



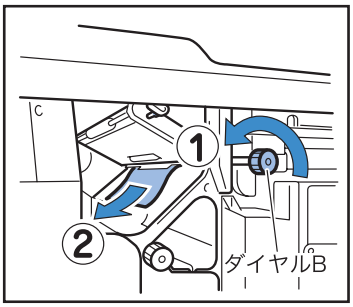
2 **ユニット左側のつまみを持ち上げて固定する**



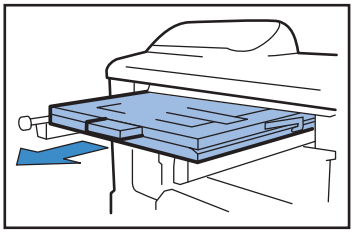
3 **ダイヤル B を回す**

用紙が取り除けたら手順 7 へ進みます。

数回ダイヤル B を回して、用紙が残っていないか確認してください。
詰まっている用紙は 1 枚とは限りません。
用紙が出てこなくなるまで何度も回してください。

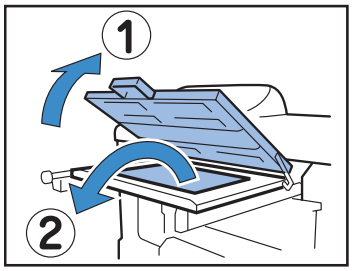


4 **両面搬送ユニットを引き出す**



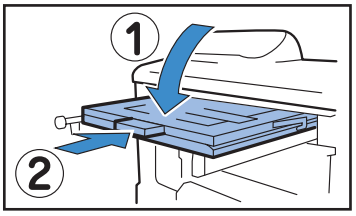
5 **ユニットを開き、確認する**

用紙がある場合は取り除いてください。

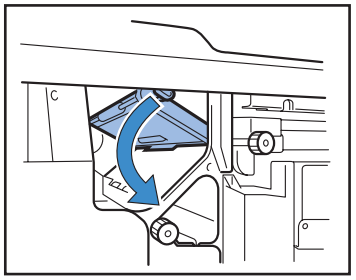


6 **両面搬送ユニットを元に戻す**

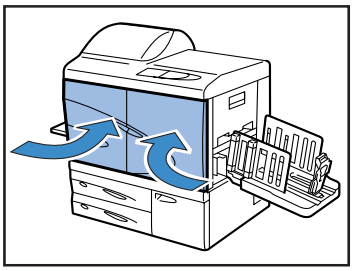
両面搬送ユニットは、カチッと音がするまで確実に奥まで戻してください。



7 **ユニット左側のつまみを元に戻す**

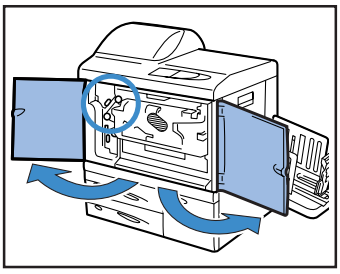


8 **前カバーを閉める**

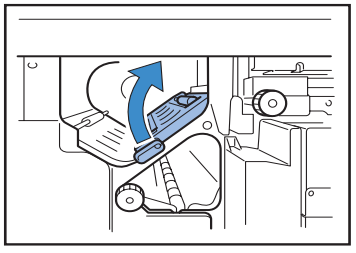


⑥⑦⑧ 搬送ユニット左の紙づまり

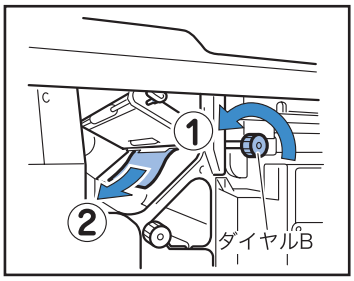
1 **前カバーを開ける**



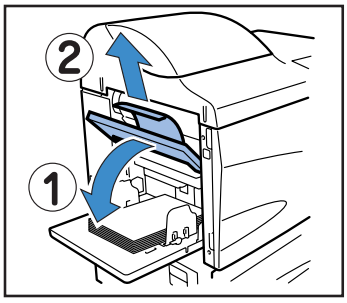
2 **ユニット左側のつまみを持ち上げて固定する**



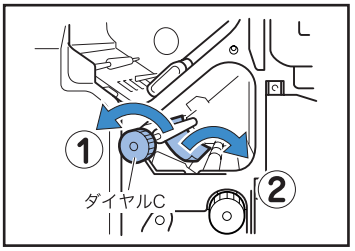
3 ダイヤル B を矢印の方向に回しながら用紙を取り除く



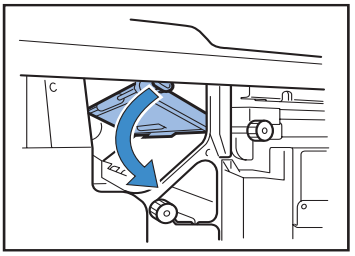
4 用紙が取れないときは、左側のカバーを開けて用紙を取り除く



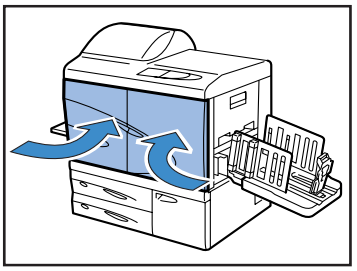
5 用紙が取れないときは、ダイヤル C を矢印の方向に回しながら用紙を取り除く



6 ユニット左側のつまみを元に戻す

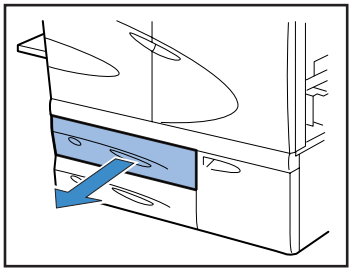


7 前カバーを閉める

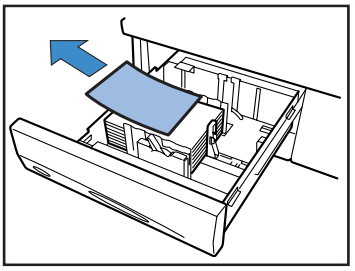


⑰⑱⑲ トレイ 1/ トレイ 2 の紙づまり

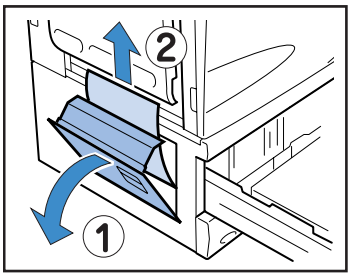
1 トレイを引き出す



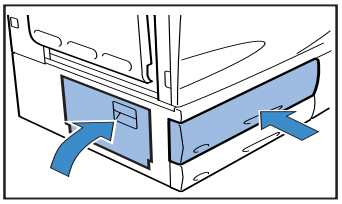
2 つまっている用紙を取り除く



3 用紙が取れないときは、トレイ左側のカバーを開けて用紙を取り除く

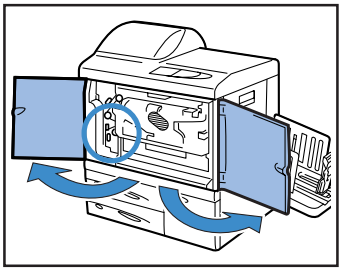


4 カバーを閉め、トレイを元に戻す

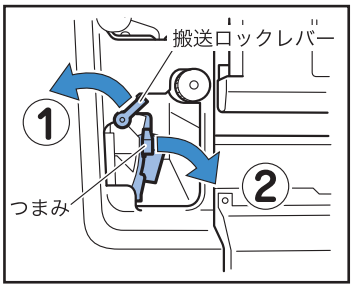


⑳ 搬送ユニットの紙づまり

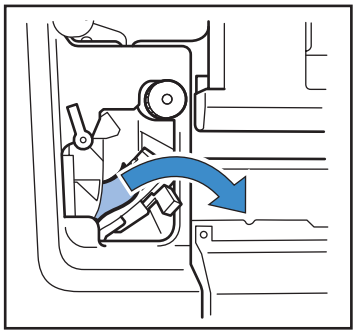
1 前カバーを開ける



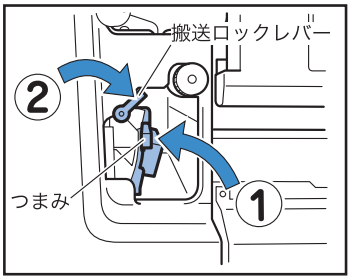
2 搬送ロックレバーを左に回し、つまみを右へ倒す



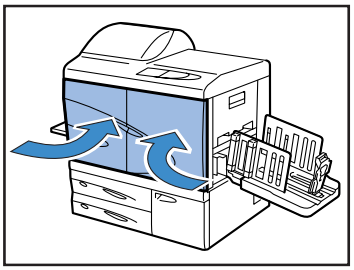
3 つまっている用紙を取り除く



4 つまみを元に戻し、搬送ロックレバーを右に回す



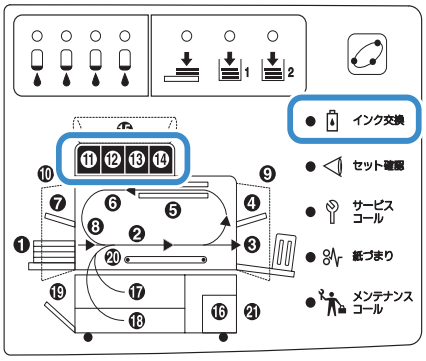
5 前カバーを閉める



インクカートリッジの交換

インクがなくなると、インク交換となくなった色のカートリッジの箇所が点灯し、プリントが止まります。インクカートリッジの色を確認してから交換してください

⑪ブラック（K）
⑫シアン　（C）
⑬マゼンタ（M）
⑭イエロー（Y）



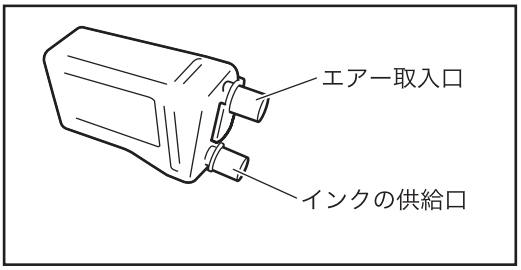
インクカートリッジについて

インクカートリッジの取り扱いについて気を付けていただきたいことを説明しています。なお、「安全上のご注意」iii ページと「ご使用の前に」vi ページでもインクカートリッジの取り扱いについてまとめて記載していますので、そちらもよくお読みください。

⚠注意

インク供給口周辺にはインクが付着していることがあります。手や衣服などが触れないようにしてください。手などにインクが付いた場合は、早めに洗剤で洗い落としてください。また、眼に入った場合は速やかに多量の水でよく洗い流してください。

- インクは、必ず当社指定の専用インクを使用してください。故障やトラブルの原因となります。
- インク交換ランプが点灯するまで、インクカートリッジを取り外さないでください。また、落としたり、供給口を下に向けたりしないでください。インクがこぼれることがあります。
- インクカートリッジを振らないでください。振ると気泡が発生し、気泡でインクが適正に吐出されずプリントがかすれる原因になります。
- インクの供給口およびエアー取入口のキャップは取り外さないでください。
- インクカートリッジへのインクの継ぎ足しは行わないでください。
- 適切なプリント品質を維持するため、製造日をご確認の上、購入後は早めに使用してください。

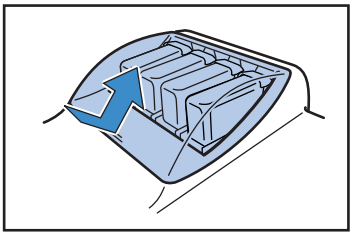


〈使用済みのインクカートリッジ〉

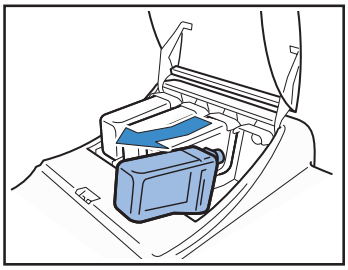
- 残ったインクは、下水道などに流さないでください。
- 使用済みのインクカートリッジは、指定の回収先に返送してください。返送先は販売会社あるいは保守・サービス会社にお問い合わせください。
- インク供給口からインクがもれることがあるため、使用済みカートリッジにはキャップを付け、付属の内袋に入れた上で梱包箱に入れて返送してください。
  キャップの取り付け時や梱包時は、常にキャップ側が上になるようにし、インクカートリッジを倒さないようにしてください。

イエロー (Y) のインクカートリッジ（⑭が点灯）を交換する手順を例に説明します。

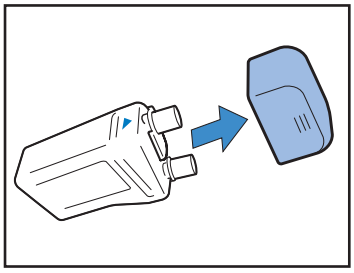
1 **インクカバーを開け**



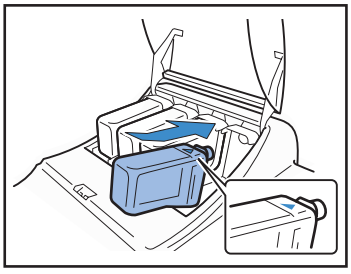
2 **交換するインクカートリッジを上に持ち上げながら手前に引いて取り出す**



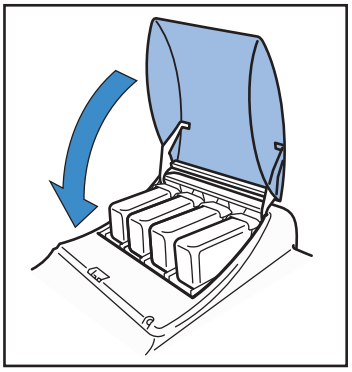
3 **新しいインクカートリッジのキャップをはずす**



4 **インクカートリッジの▲印のある面を上にして、止まるまで差し込む**



5 **インクカバーを閉める**



プリンタが動かない

状況	原因と対処方法
電源を入れてもパネルに何も表示されない	・電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認してください。 ・本体と電源コードが確実に接続されているか確認してください。 ・商用電源のブレーカーが落ちていないか確認してください。 ・主電源が ON になっているか確認してください。なっていないときは主電源を ON にしてから、操作パネルの電源キーを押してください。
テストプリントは正常だがパソコンからのデータが正常にプリントできない	ネットワーク設定、IP アドレス設定を確認し、プリンタドライバをインストールしなおしてください。
	・プログラムやアプリケーションソフトのファイルに問題がある可能性があります。別のファイルやアプリケーションソフトからプリントしてみてください。特定のファイルやアプリケーションソフトからプリントできないときは、アプリケーションソフトのプリント設定を確認してください。 ・最新バージョンのプリンタドライバを使用してください。最新バージョンはにつきましては、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合せください。

さらに、以下の操作もしてみてください。それでもプリンタが動かないときは、お買い上げの販売会社、または当社までご連絡ください。

・プリンタの電源を入れ直してみてください。
・プリンタに接続するパソコンを再起動してください。

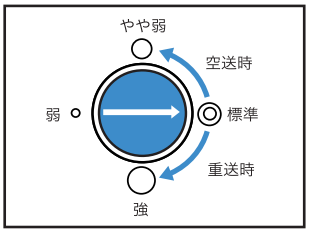
設定したとおりに動作しない

状況	原因と対処方法
プリンタドライバ画面で「仕分け」を ON にしたが、仕分けできない	メニュー設定で「仕分け用紙トレイ」が「未使用」になっている メニュー設定の「5.3 仕分け用紙トレイ」が「ミシヨウ」に設定されていると、仕分けの用紙が入りません。(「ミシヨウ」では区切りごとに数秒間停止する) 仕分け用紙を入れたい場合はメニュー設定の「5.3 仕分け用紙トレイ」でトレイを選択してください。 「4.6 仕分け」☞p.2-22 「5.3 仕分け用紙トレイ」☞p.2-36
給紙台にセットした用紙にプリントできない	給紙台が「オートトレイ選択」の対象になっていない メニュー設定の「4.5 給紙台オート選択」を ON に設定してください。 「4.5 給紙台オート選択」☞p.2-21 または、メニュー設定「6 トレイ選択」で「給紙台」に設定してください。「6 トレイ選択」☞p.2-49
RISO コンソール PS7R の画面が表示されない	プリンタの IP アドレスの設定が間違っている 正しい IP アドレスを確認して、入力し直します。 「5.7 ネットワーク設定」☞p.2-43

きれいにプリントできない

状況	原因と対処方法
プリントが薄い、またはカスレる	トレイ（給紙台）にセットした用紙の用紙種類が正しく設定されていない メニュー設定の［用紙種類］で用紙種類を正しく選択してください。
	プリント濃度の設定が薄い プリンタドライバ画面またはメニュー設定で、全体の濃度を濃くします。 「HC5000 ユーザーズマニュアル プリンタドライバ編」「プリント濃度」☞p.2-27 メニュー設定で設定するとき　☞p.2-23
	ヘッドがつまっている まず、メニュー設定で「ノーマルクリーニング」を行います。 それでも状態が改善されないときは、特に薄い色のヘッドを指定して「ストロングクリーニング」を行います。 「5.5 ヘッドメンテナンス」☞p.2-40
プリントが濃い	トレイ（給紙台）にセットした用紙の用紙種類が正しく設定されていない メニュー設定の［用紙種類］で用紙種類を正しく選択してください。
RISO HC 用紙マット IJ を使用してもきれいにプリントできない	用紙の裏表を逆にセットしている RISO HC 用紙マット IJ は、表と裏があります。マットコーティングされている面（表面）がプリントされるよう、用紙をセットしてください。

状況	原因と対処方法
白いすじが入る	ヘッドがつまっている まず、メニュー設定で「ノーマルクリーニング」を行います。ノーマルクリーニングを数回行っても状況が改善されない場合は、「ヘッドリカバリー」を行います。 「5.5 ヘッドメンテナンス」☞p.2-40 「5.8.50 ヘッドリカバリー」☞p.2-48
用紙が汚れる	使用できない用紙がセットされている 給紙台やトレイにセットできる用紙の種類を確認してください。 「使用できる用紙」☞p.1-6
用紙の端が汚れる	そり（カール）のある用紙を使用している そり（カール）の部分がヘッドに当たり、汚れがついています。ヘッドが傷つくおそれがありますので、そり（カール）のある用紙は使用しないでください。
両面印刷している	原稿により、用紙の端（縁）に汚れが付いてしまうことがあります。ご了承ください。

状況	原因と対処方法
プリント速度が遅い	給紙台のフェンスが用紙の幅に合っていない フェンスの位置で用紙サイズを判断し、プリントの速度が変わります。給紙フェンスを確実に用紙の幅に合わせてください。
プリントするたびに用紙がつまる	給紙台やトレイにセットした用紙が多すぎる 給紙台、トレイの積載枚数を超えています。セットできる枚数については、「用紙のセット」☞p.1-10 を参照してください。
	用紙が正しくセットされていない 給紙フェンスの位置などを確認してください。正しい用紙のセット方法については、「用紙のセット」☞p.1-10 を参照してください。
	使用できない用紙がセットされている 給紙台やトレイにセットできる用紙の種類を確認してください。とくに、しわやカールのある用紙は紙づまりの原因になるので使用しないでください。 「使用できる用紙」☞p.1-6
	不定形サイズの用紙を使用している 不定形サイズの用紙をセットするときは、あらかじめメニュー設定の「5.1 用紙サイズ登録」および「5.2 用紙種類登録」の登録が必要です。 「5.1 用紙サイズ登録」☞p.2-32 「5.2 用紙種類登録」☞p.2-33
・紙粉が多い ・用紙が重送される ・はがきが空送される ・はがきの裏面がめくれる	紙さばき圧が正しく調節されていない 以下の手順で紙さばき圧を調節してください。 **調節を行う前に、必ず給紙台から用紙を取り除き、給紙台が一番下まで下がっていることを確認してください。**  ・紙粉が出やすい用紙や、用紙が空送される場合、はがきの裏面がめくれる場合は、ダイヤルを左（弱方向）に回します。 ・用紙が重送される場合は、ダイヤルを右（強方向）に回します。

状況	原因と対処方法
用紙が全く送られない	給紙圧調節レバーが用紙の厚さに合っていない 厚紙を使用する場合は、給紙圧調節レバーを「厚紙」の位置にセットします。 厚紙以外を使用する場合は、「標準」の位置でプリントしますが、ひんぱんに用紙が送られない時は「厚紙」の位置にセットしてください。 「給紙台の給紙圧について」☞p.1-13
	用紙の給紙設定が合っていない メニュー設定の「5.2 用紙種類登録」で、給紙台やトレイにセットした用紙の給紙設定を変更します。 「5.2 用紙種類登録」☞p.2-33
用紙がセットされているのに「ヨウシナシ」エラーが出る	プリンタドライバ画面の「用紙サイズ」や「用紙種類」が、プリンタ側のメニュー設定の「用紙サイズ」や「用紙種類」と一致していない 実際には、該当する用紙がセットされていても、プリンタ側のメニュー設定の「用紙サイズ」や「用紙種類」の設定と一致していないと、「ヨウシナシ」となってしまいます。セットしてある用紙とトレイの設定の条件を合わせてください。 「機能設定　4.1/4.2/4.3」☞p.2-18 プリンタ側の操作パネルからトレイを指定することでプリントできます。 「メニュー 6 トレイ選択」☞p.2-49
	選択しているトレイが「仕分け用紙トレイ」に設定されている メニュー設定の「5.3 仕分け用紙トレイ」を「未使用」に設定します。 「5.3 仕分け用紙トレイ」☞p.2-36
	給紙台がオートトレイ選択の対象になっていない メニュー設定の「4.5 給紙台オート選択」を設定すると、プリンタドライバの「給紙トレイ選択」で「オートトレイ選択」を選択した場合に、オートトレイ選択の対象になります。 「4.5 給紙台オート設定」☞p.2-21

第４章　付録

オプション一覧

本機をより便利にお使いいただくため、さまざまなオプションを用意しています。お求めの際はお買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）へお問い合わせください。

スキャナ接続キット

プリンタにスキャナとディスプレイモニタ（当社指定品）を接続することにより、コピー機感覚で高速なフルカラープリントが可能になります。

HC フィニッシャー

HC フィニッシャーを本機に接続すると、プリントの後工程としてステープルやパンチなどが、高速かつ自動で処理できます。

HC 中とじフィニッシャー

HC 中とじフィニッシャーを本機に接続すると、ステープルやパンチの他に、小冊子作成、紙折り（2 つ折り）が、高速かつ自動で処理できます。

HC 紙折りユニット

HC 紙折りユニットを HC フィニッシャーまたは HC 中とじフィニッシャーに取り付けると、外 3 つ折り、内 3 つ折り、Z 折りが可能になります。

（2005 年 6 月現在）

消耗品

・消耗品の仕様・種類は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
・価格は本体お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。

インクカートリッジ

インクカートリッジは、当社指定の専用消耗品を使用してください。不適切な消耗品の使用は、故障やトラブルの原因となりますのでおやめください。

商品名	分量	単位
RISO HC インク　シアン	1,000ml	1 個
RISO HC インク　マゼンタ		
RISO HC インク　イエロー		
RISO HC インク　ブラック		

専用紙

種類	サイズ	単位	特長
RISO HC 用紙 IJ	A3	1 包 500 枚× 3 包	重さ 85g/m^2 のプリント用紙です。 両面プリントが可能な普通紙です。
	B4	1 包 500 枚× 5 包	
	A4		
	B5		
RISO HC 用紙マット IJ(W)	A3	1 包 500 枚× 3 包	高品位のプリント向けにマット加工された重さ 85g/m^2 のプリント用紙です。両面プリントに適しています。
	B4		
	A4	1 包 500 枚× 4 包	
RISO HC 用紙マット IJ	A3	1 包 500 枚× 3 包	高品位のプリント向けにマット加工された重さ 99g/m^2 のプリント用紙です。片面のみのプリントに適しています。
	B4		
	A4	1 包 500 枚× 4 包	

仕様

● 本体

プリント方式	ライン型インクジェット方式
解像度	高精細設定時 900dpi 相当／標準設定時 600dpi 相当　（文字スムージング処理時）
印字ヘッド	ピエゾ型　物理解像度 300dpi　最大 8 階調
インク	油性顔料タイプ　C/M/Y/K インク　各色 1,000ml
プリント速度（※ 1）	片面：105 枚 / 分（105ppm）／両面：37 枚 / 分　（74ppm）
両面プリント	標準（※ 2）
電子ソート	標準
用紙サイズ	トレイ：最大　A3（297mm × 432mm） 最小　B5（182mm × 257mm） 給紙台：最大　A3 W 相当（340mm × 550mm） 最小　郵政公社製はがき（90mm × 148mm）
用紙重さ	トレイ：52 ～ 104g/m^2 紙 給紙台：46 ～ 157g/m^2 紙・郵政公社製はがき
プリント可能領域	最大　314mm × 458mm（周囲余白 1mm）
プリント保証領域	最小　80mm × 138mm（周囲余白 5mm） 最大　306mm × 450mm（周囲余白 5mm）
給紙積載枚数（※ 1）	トレイ 1：1,000 枚 トレイ 2：500 枚 給紙台：1,000 枚
排紙台積載枚数（※ 1）	1,000 枚
RISO 拡張プリント機能（※ 3）	確認プリント (ドライバで設定) ／テストプリント (本体）／ プリント位置調整 (天地左右 20mm ／本体一時保持データに対して調整が可能) ／刷り増し（保持データ呼び出し）
本体メモリ	128MB（640MB まで増設可能）（※ 4）
電源	AC100-120/220-240V・50/60Hz・12.0/6.0A 以上
消費電力（コントローラ部含む）	最大：700W 以下 待機時：約 300W 以下 スリープ時：約 70W 以下 約 150W 以下（RISO コントローラ PS7R-9000 接続時）
稼働音	動作時 68dB 以下
使用環境	温度：15 ℃ ～ 30 ℃　湿度：40% ～ 70%（非結露）
質量	約 251kg（架台含む）（※ 5）
寸法	使用時：1,780(W) × 695(D) × 1,135(H)mm 排紙台、給紙台収納時：1,180(W) × 695(D) × 1,135(H)mm

● **コントローラ部（RISO コントローラ PS7R）**

主要仕様	接続可能プリンタ	RISO ORPHIS HC5000
	CPU	Intel Celeron 1.2GHz
	メモリ容量	128MB（増設 512MB まで可能）
	HDD	40GB（ユーザー使用領域：30GB） ※ユーザー領域：ジョブ受信エリア、ホールド・フォーム保存
	OS	Linux
	インターフェイス	Ethernet ／ 100Base-TX、10Base-T
	形式	外置き型（本体架台内部に設置）
	電源／最大消費電力	AC100-120/220-240V・50/60Hz・3.0/1.5A 以上・約 45W（※ 6）
	大きさ／質量	310mm(奥行き） × 75mm(幅) × 350mm(高さ) ／約 5.5kg
	PDL（ページ記述言語）	Adobe® PostScript®3™
	対応プロトコル	TCP/IP、Apple Talk®
	搭載フォント	和文／ 2 書体（リュウミンライト -KL、中ゴシック BBB） 欧文／ 139 書体
	フォントダウンロード	●（フォント付属のインストーラによる）
	対応 OS	WindowsMe/2000（SP2 以降）／ XP（SP1 以降）、 MacOS9（9.2.2）、MacOSX（10.2.6 以降）
主要機能	カラー管理	「ComuColor™Standard」カラーマネジメント搭載 ※出力設定と用紙設定による、オートカラーマッチング機能
	対応カラープロファイル	ComuColor™ Standard
	面付け処理	連写（2,4,8,16 面）／ N アップ（2,4,8,16 面）／小冊子／折丁
	イメージ処理	ガンマ調整：コントラスト 5 段階／濃度 5 段階 文字スムージング処理 スクリーニング：誤差拡散処理／網点 70 線／網点 100 線
	画像位置調整	表面／裏面それぞれ、上下左右に画像位置を -20 ～ 20mm 調整可能
	フォーム機能	フォーム登録、合成機能（一面合成／両面合成）
	給排紙処理	オートトレイ選択、両面印刷、仕分け機能、電子ソート
	クラスタリング機能	分散処理（HC5000 シリーズを 4 台まで登録可能） ジョブ分割処理（分割基準数：ページ数／印刷部数）

Web コンソール機能	モニタリング機能	エンジンステータス表示、残量表示、用紙情報表示
	ジョブマネージャー機能	ジョブ処理状況表示：処理状況表示、終了ジョブの再出力 ホールド管理：プレビュー、出力指示（出力条件変更可能） フォーム管理：プレビュー、出力指示（出力条件変更可能）
	履歴管理	アカウンティング情報表示（表示／ファイル保存／消去）
	管理者設定機能	ネットワーク設定、セキュリティ設定、フォントダウンロード、ダイレクト出力設定登録、ホールドフォルダ設定
	対応ブラウザ	Windows：Internet Explorer Ver.6.0SP1 以上／ SUN JAVA Plug-in 1.4.1-07 以上 MacOS9：Internet Explorer Ver.5.1.6 for Mac 以上／ MRJ2.2.6 以上 MacOSX：Internet Explorer Ver.5.2.3 for Mac 以上

● **コントローラ部（RISO コントローラ PS7R-9000）**

主要仕様	接続可能プリンタ	RISO ORPHIS HC5000
	CPU	Intel Pentium4 3.4GHz
	メモリ容量	512MB × 2
	HDD	160GB（ユーザー使用領域：150GB） ※ユーザー領域：ジョブ受信エリア、ホールド・アーカイブ・フォーム保存
	OS	Linux
	インターフェイス	Ethernet ／ 1000Base-T、100Base-TX、10Base-T
	形式	外部ユニット方式
	電源／最大消費電力	AC100-240V・50/60Hz・2.5/1.8A 以上・約 300W 待機時：120W 以下
	大きさ／質量	405mm(奥行き） × 180mm(幅) × 359mm(高さ) ／約 12kg
	PDL（ページ記述言語）	Adobe® PostScript®3™
	対応プロトコル	TCP/IP、Apple Talk®
	搭載フォント	和文／ 2 書体（リュウミンライト -KL、中ゴシック BBB） 欧文／ 139 書体
	フォントダウンロード	●（フォント付属のインストーラによる）
	対応 OS	Windows2000（SP2 以降）／ XP（SP1 以降） MacOS9（9.2.2）、MacOSX（10.2.6 以降）
主要機能	カラー管理	「ComuColor™Standard」カラーマネジメント搭載 ※出力設定と用紙設定による、オートカラーマッチング機能
	対応カラープロファイル	ComuColor™ Standard
	面付け処理	連写（2,4,8,16 面）／ N アップ（2,4,8,16 面）／小冊子／折丁
	イメージ処理	ガンマ調整：コントラスト 5 段階／濃度 5 段階 文字スムージング処理 スクリーニング：誤差拡散処理／網点 70 線／網点 100 線
	画像位置調整	表面／裏面それぞれ、上下左右に画像位置を -20 ～ 20mm 調整可能
	フォーム機能	フォーム登録、合成機能（一面合成／両面合成）
	給排紙処理	オートトレイ選択、両面印刷、仕分け機能、電子ソート、HC フィニッシャー（オプション）対応、プリント順設定（オート／フェイスダウン）
	クラスタリング機能	分散処理（HC5000 シリーズを 4 台まで登録可能） ジョブ分割処理（分割基準数：ページ数／印刷部数）

Web コンソール機能	モニタリング機能	エンジンステータス表示、残量表示、用紙情報表示
	ジョブマネージャー機能	ジョブ処理状況表示：処理状況表示、終了ジョブの再出力 ホールド管理：プレビュー、出力指示（出力条件変更可能） アーカイブ管理：プレビュー、出力指示（出力条件変更不可） フォーム管理：プレビュー、出力指示（出力条件変更可能）
	履歴管理	アカウンティング情報表示（表示／ファイル保存／消去）、履歴保存（月ごと／日ごと）
	管理者設定機能	ネットワーク設定、セキュリティ設定、フォントダウンロード、ダイレクト出力設定登録、ホールドフォルダ設定、用紙サイズ登録
	対応ブラウザ	Windows：Internet Explorer Ver.6.0SP1 以上／ SUN JAVA Plug-in 1.4.1-07 以上 MacOS9：Internet Explorer Ver.5.1.6 for Mac 以上／ MRJ2.2.6 以上 MacOSX：Internet Explorer Ver.5.2.3 for Mac 以上

※1 RISO HC 用紙 IJ（85g/m^2）使用時
※2 高精細設定時の両面プリントは本体メモリの増設が必要です。
※3 本体部とコントローラ部による機能です。
※4 当社の指定する装置、メモリ・部品等については、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。
※5 消耗品を除いた質量
※6 100V/200V の切り替えは、スイッチによるマニュアル切り替え

● **付属品**

- 保証書 . . . . . 1 部
- 取扱説明書 . . . . . 1 式
- 使用許諾契約書 . . . . . 1 部
- RISO コントローラ PS7R ソフトウェア CD-ROM . . . . . 1 式
- 電源コード . . . . . 1 本

索引

D
DHCP 2-43

F
FORCEJET™リンクマーク 1-5, 3-2, 3-3

H
HC普通紙/HC用紙/HC用紙IJ
..... 1-6, 1-8, 1-13, 2-5, 2-33, 2-35
HCマット紙/HC用紙マット/HC用紙マットIJ
.....1-6, 1-13, 2-5, 2-33, 2-35

I
IPアドレス 2-43

L
LANケーブル xii

R
RISO HC用紙マットIJ(W) 1-13

Z

イ
イエロー（Y）インクカートリッジ 1-2
インクカートリッジ .....viii, 3-16, 4-3
インクカートリッジの交換 3-16
インクカバー 1-2, 3-6, 3-17
インクユニット 1-2
インク交換エラー 3-4
印刷範囲 1-17
印刷部数 1-17

ウ
ウェイクアップキー 1-5, 1-9

エ
エラー 3-4
エラー内容 2-3
エラー番号 2-3, 3-2, 3-4
エラー表示 3-2, 3-4
エラーブザー 2-8, 2-47
エラーメッセージ 3-2, 3-4

オ
オート排紙台 1-4
オプション一覧 4-2

カ
カーソルキー 2-4
カウント表示 2-7, 2-37
確定キー 2-4
紙さばき圧調節ダイヤル 1-2
紙づまり 3-10
紙づまりエラー 3-7
紙揃えプレート 1-14
紙揃えプレートノブ 1-4
管理情報 2-7, 2-31

キ
キー操作ブザー 2-8, 2-46
基本的なプリント操作 1-16
機能設定 2-1, 2-5, 2-17
キャンセル／戻るキー 2-4
給紙圧 1-13
給紙圧調節レバー 21-, 1-13
給紙設定 2-7
給紙台 1-2, 1-12, 2-49, 3-10
給紙台オート選択 2-6, 2-21
給紙台上下ボタン 1-2, 1-13
給紙台設定 2-5, 2-18
給紙台の閉じかた 1-14
給紙フェンス 1-2

ク
区切りごと 2-22
クリーニングインクタンク ..... ix, 3-8
クリーニングサイクル 2-7, 2-40, 2-41

ケ
原稿サイズ表示 2-3
言語表示 2-8, 2-47

サ
サービスコール 3-7
最大プリント面積 x
サブネットマスク 2-43
サブメニュー 2-10

残量予告ランプ 1-5, 3-2, 3-3

シ

シアン（C）インクカートリッジ 1-2
重送検知 2-5, 2-20
主電源 1-4, 1-9
仕様 4-4
詳細カウント 2-7, 2-39
使用する環境 vi
状態ブザー 2-8, 2-46
使用できない用紙 1-7
使用できる用紙 1-6
情報プリント 2-8, 2-42
消耗品 4-3
初期設定 2-8, 2-44
ジョブクリア 2-8, 2-50
ジョブごと 2-22
仕分け 2-6, 2-22
仕分け用紙トレイ 2-7, 2-36

ス

スキャナ接続キット 4-2
ステータス（状態） 2-2, 2-3
ストッパー 1-11
ストロングクリーニング 2-7, 2-41
スリープ . . . . . xi, 1-9, 2-8, 2-45
スリープ時間 2-8, 2-45

セ

設置場所 . . . . . iii, vi
セット確認エラー 3-5
専有面積 vii
専用紙 4-3

ソ

操作パネル 1-2, 1-5

タ

単位表示 2-8, 2-47

ツ

通気口 1-4

テ

テストプリント 2-5, 2-15
データ保持 2-8, 2-47
データランプ 2-2
デフォルトゲートウェイ 2-43
電源キー 1-5, 1-9
電源スイッチ 1-9

ト

トータルカウント 2-7, 2-38
トレイ 1-2, 1-11
トレイ1 . . . . . 2-49, 3-14
トレイ1設定 2-5, 2-18
トレイ2 . . . . . 2-49, 3-14
トレイ2設定 2-5, 2-18
トレイ選択 2-8, 2-49

ネ

ネットワークコネクタ 1-4
ネットワーク設定 2-8, 2-43

ノ

ノーマルクリーニング 2-7, 2-40, 2-41

ハ

排紙ウィング 2-6, 2-25
排紙設定 2-6, 2-24
排紙台 1-14, 1-18
排紙部 3-11
排紙フェンス 1-14, 2-6, 2-26
排紙フェンス移動位置 2-6, 2-26
排紙フェンス（エンド） 1-4, 1-14
排紙フェンスオープンボタン 1-4, 1-15, 1-18
排紙フェンス（サイド） 1-4, 1-14
排紙フェンス微調整 2-6, 2-26
はがき（IJ） 2-33, 2-35
搬送左下カバー 1-2, 3-6
搬送左上カバー 1-2, 3-6
搬送右上カバー 3-6
搬送ユニット 3-15
搬送ユニット右上カバー 3-12
搬送ユニット左 3-13
搬送ローラー 3-11

ヒ

表紙トレイ設定 2-6, 2-29

フ

部数表示 2-2, 2-3
普通紙 2-33, 2-35
ブラック（K）インクカートリッジ 1-2
プリント／一時停止キー 1-5, 2-4
プリント位置調整 2-5, 2-13

プリント濃度 2-6, 2-23
プリント領域 2-6
プリント領域（最大プリント面積）. 2-28

へ

ヘッドメンテナンス 2-7, 2-40
ヘッドリカバリー 2-48

ホ

保持データクリア 2-6, 2-27
保持データ呼出 2-5, 2-16
保証プリント面積 x

マ

前カバー 1-2, 3-6
マゼンタ（M）インクカートリッジ 1-2

メ

メッセージディスプレイ 1-5, 2-2
メニューキー 2-4
メニュー設定 2-5
メニュー番号 2-2
メニュー名 2-2
メンテナンスコール 3-8
メンテナンスドア 1-2

ヨ

用紙サイズ 2-5, 2-6, 2-19, 2-29
用紙サイズ登録 2-7, 2-32
用紙サイズ表示 2-2
用紙種類 2-5, 2-7, 2-19, 2-30, 2-34
用紙種類登録 2-7, 2-33
用紙種類表示 2-7

リ

両面搬送ユニット 3-12
両面表示 2-2, 2-3

レ

連続給紙 1-13, 2-6, 2-20

ロ

ロックレバー 1-11

ワ

ワーニング 3-8

アフターサービスについて

この製品には保証書を別途添付しています。保証書の記載内容をご確認いただいた上、大切に保管してください。保証期間中の修理の場合は、必ず保証書をご提示ください。

保証期間

商品購入日より 6 カ月以内またはトータルカウントが 50 万カウント（50 万枚）に早期に達した場合

* 保証期間中の修理の場合は、必ず保証書をご提示ください。期間中において本書に従った正常な使用状態で故障した場合には、保証書に記載されている保証規定に則り無償修理をいたします。

有償修理

保証期間を過ぎた場合は有償となります。また、以下の場合は保証期間内であっても有償となりますので、ご了承ください。

・保証書の提示がない場合
・保証書の所定事項の無記入、または記載内容が書き換えられている場合
・本機取扱説明書に従った正常な使用が行われていない場合の故障や損傷
・当社認定の ORPHIS テクニカルスタッフ以外の者による修理に起因した故障
・当社が推奨した推奨消耗品や推奨部品以外の消耗品や部品の使用に起因した故障や損傷
・有償部品の交換
・お客様による輸送、移動による落下および衝撃に起因する故障や損傷
・火災、地震、風水害、落雷その他の天災事変、公害、異常電圧等に起因する故障や損傷

有償部品

・給紙ローラー
・サバキ板
・排紙ローラー
・搬送ベルト
・反転ベルト
・ベルト清掃ローラー
・クリーニングインクタンク

推奨消耗品

・RISO HC インク（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック）
・RISO HC 用紙 IJ ／ RISO HC 用紙マット IJ(W) ／ RISO HC 用紙マット IJ

修理不能の場合

天災または強度の衝撃その他で破損がひどく、正常の性能に復元できない場合および部品の入手が困難な場合など、修理ができない場合があります。その際は、お買い上げの販売会社（あるいは、保守・サービス会社）にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、本製品の製造終了後、最低 7 年間保有しています。

修理ご依頼に際しての注意事項

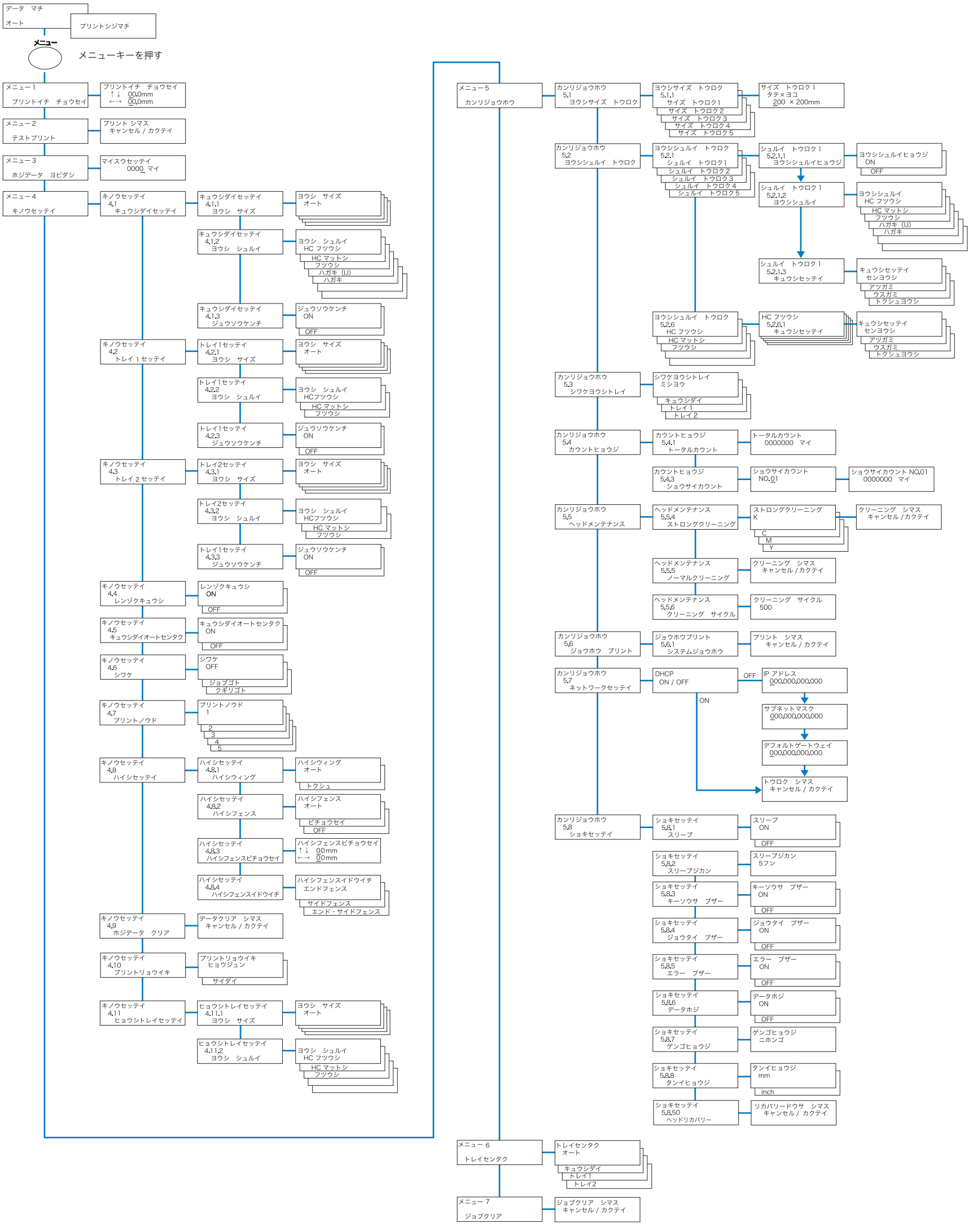
- 本機では、当社の定める研修を受講し、ORPHIS テクニカルスタッフと認定された者がメンテナンスを行うシステムを採用しております。修理を依頼される際には必ず ORPHIS テクニカルスタッフ認定証の提示を求め、該当する ORPHIS テクニカルスタッフであることをご確認ください。また、保証規定による修理には、必ず保証書を添付してください。
- 万一故障と思われる事態が生じた場合は、まず本書に記載されている処置（操作手順、トラブル処理、警告表示の処理、ご注意）をご確認ください。完全に処置できない場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。ご連絡の際には、故障箇所、内容などをできるだけ詳しくご説明ください。
- 修理完了後は修理伝票にご捺印ください。
- アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。

RISO サービス＆サポートシステム

ご愛用の機種を経済的に安心してお使いいただくために、RISO サービス＆サポートシステムをおすすめいたします。
詳しくはお買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご相談ください。

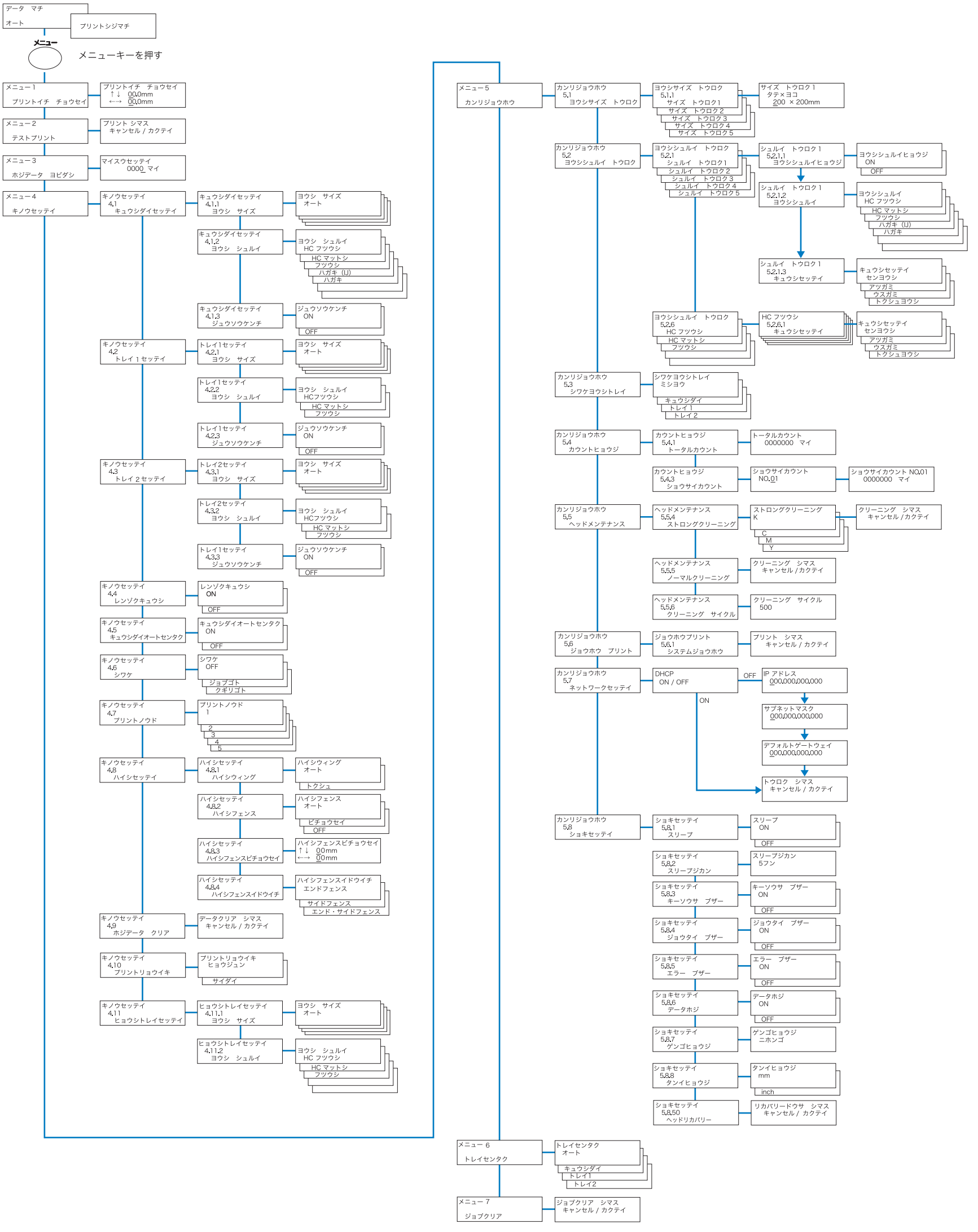
HC5000 メニュー階層一覧

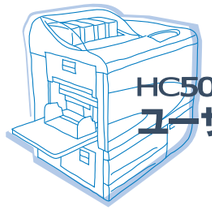
プリンタ本体のメニュー設定の設定項目を、一覧でご紹介しています。本書の「第2章 プリンタの機能設定」とあわせてご活用ください。



HC5000 メニュー階層一覧

プリンタ本体のメニュー設定の設定項目を、一覧でご紹介しています。本書の「第2章 プリンタの機能設定」とあわせてご活用ください。





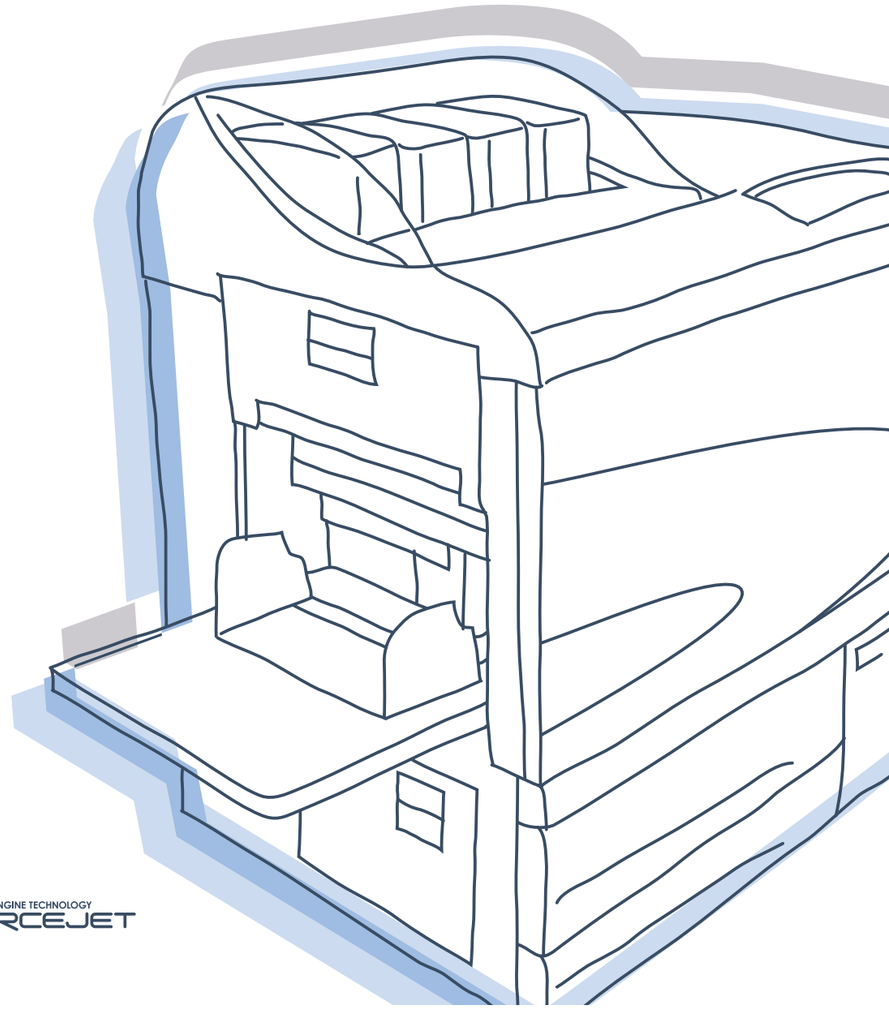
HC5000シリーズ
ユーザーズマニュアル 本体編

HC5000シリーズ

ユーザーズマニュアル

本体編

HC5000シリーズ
ユーザーズマニュアル
本体編



理想科学工業株式会社

〒108-8385 東京都港区芝5-34-7 田町センタービル 電話(03)5441-6112
お客様相談室／ 0120-534-881
サポートセンター／ 0120-229-330
受付時間(月～金 10:00～12:00,13:00～17:00 土･日･祝日･当社休業日を除く)

ホームページ　http://www.riso.co.jp/

© 2005 理想科学工業株式会社

この冊子はHC5000で印刷しました。
033-03008

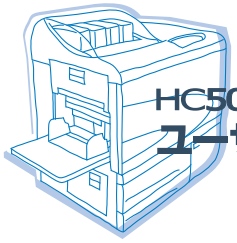
ComuColor.™

ENGINE TECHNOLOGY
FORCEJET

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

⚠ 注意

安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。お読みになったあとは、いつでも取り出せるように所定の場所に保管してください。



HC5000シリーズ

ユーザーズマニュアル 本体編

理想科学工業株式会社

〒108-8385 東京都港区芝5-34-7 田町センタービル 電話(03)5441-6112
お客様相談室／ 0120-534-881
サポートセンター／ 0120-229-330
受付時間(月～金 10:00～12:00,13:00～17:00 土･日･祝日･当社休業日を除く)

ホームページ　http://www.riso.co.jp/

© 2005 理想科学工業株式会社

033-03008